

令和元年度

保健衛生の動向

三条市

目 次

第Ⅰ章 保健衛生の背景	1
1 人口と世帯	3
(1) 人口及び世帯数	3
(2) 小学校区別人口及び世帯数	4
(3) 人口動態総覧	6
(4) 死因順位・死亡数・死亡率(人口10万対)	8
2 医療施設及び医療関係者の状況	9
(1) 市内医療施設状況	9
(2) 市内医療関係者数	9
3 保健行政の組織	10
(1) 福祉保健部健康づくり課の組織	10
(2) 教育委員会子育て支援課の組織	11
第Ⅱ章 保健予防事業	13
1 健康推進事業	15
(1) 三条市健康づくり推進協議会	15
(2) 働き盛りからの筋力トレーニング推進事業	15
(3) 健康運動教室事業	19
(4) 学校食育推進事業	20
2 母子保健事業	22
(1) 母子保健の推移	22
(2) 母子保健活動体系	23
(3) 三条っ子発達応援事業	24
(4) 妊産婦の健康状況及び保健指導	29
(5) 乳幼児の健康状況	35
(6) 育児に関するアンケート集計結果	54
3 歯科保健事業	56
(1) 歯科保健活動体系	57
(2) むし歯有病者率	58
(3) 歯科保健活動状況	60
4 成人保健事業	61
(1) 成人保健活動体系	61
ア 各種健康診査・がん検診等	62
イ 健康教育	64
ウ 健康相談	65
エ 訪問指導	65
オ 早期介入保健指導	65
カ 特定保健指導	66
(2) 成人保健事業の実績	68
ア 健康診査(健康診査・がん検診・歯周病検診等)	68
イ 健康教育・健康相談	91
ウ 訪問指導事業	94
エ 特定保健指導	96
オ 生活習慣病重症化予防の取組	97
カ 早期介入保健指導	97
(3) 脳卒中情報システム事業	98

5	食育推進事業	101
(1)	食育推進活動体系	101
(2)	栄養摂取・食生活の状況	102
6	予防接種	104
(1)	集団予防接種実施状況	104
(2)	個別予防接種実施状況	106
(3)	予防接種別実施方法	110
7	結核予防事業	113
(1)	結核管理体系	113
(2)	B C G接種	114
(3)	結核住民検診	115
(4)	結核登録患者の状況	116
8	精神保健及び自殺対策	118
(1)	こころのゲートキーパー養成研修会	118
(2)	自殺対策計画策定に関する検討	118
(3)	うつスクリーニング	119
9	地区組織活動	120
(1)	健康推進員協議会活動状況	120
(2)	食生活改善推進委員協議会活動状況	123
10	献血事業	125
第Ⅲ章 保健師・栄養士活動 他		127
1	保健師活動状況	129
2	栄養士活動状況	131
3	保健センター使用状況	132
(1)	保健センター（総合福祉センター内）	132
(2)	栄保健センター	133
(3)	下田保健センター	134
第Ⅳ章 保健衛生のうごき		135

〔注〕「保健衛生の動向」は旧三条市において作成していたものであるため、平成16年度以前の数値は旧三条市における統計データや保健活動実施状況を記載

第Ⅰ章 保 健 衛 生 の 背 景

1 人口と世帯

(1) 人口及び世帯数

	平成28年3月31日現在	平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在	平成31年3月31日現在	令和2年3月31日現在
人口	100,501	99,727	98,791	97,813	96,517
男	48,924	48,611	48,144	47,668	47,075
女	51,577	51,116	50,647	50,145	49,442
世帯	35,612	35,851	36,060	36,290	36,502
自然動態	出生	649	649	631	562
	死亡	1,229	1,196	1,218	1,279
	増減	△ 536	△ 547	△ 569	△ 648
社会動態	転入	1,899	1,878	1,735	1,955
	転出	2,201	2,105	2,102	2,285
	その他				
増減	△ 302	△ 227	△ 367	△ 330	△ 541

※ 外国人含む。
市民窓口課 住民基本台帳人口より

(2) 小学校区別人口及び世帯数

〔三条地区〕

小学校区 名称	人口数			世帯数
		男	女	
嵐南	17,996	8,722	9,274	7,225
一ノ木戸	11,020	5,279	5,741	4,604
裏館	8,373	3,970	4,403	3,467
上林	3,168	1,562	1,606	1,193
井栗	6,879	3,387	3,492	2,571
旭	1,136	557	579	354
保内	2,785	1,349	1,436	994
西鱒田	5,076	2,535	2,541	1,837
月岡	4,804	2,369	2,435	1,772
大崎	11,894	5,792	6,102	4,684
須頃	2,713	1,373	1,340	1,180
大島	1,460	736	724	489
計	77,304	37,631	39,673	30,370

〔栄地区〕

小学校区 名称	人口数			世帯数
		男	女	
栄中央	4,634	2,302	2,332	1,462
栄北	2,363	1,173	1,190	701
大面	3,461	1,699	1,762	1,072
計	10,458	5,174	5,284	3,235

〔下田地区〕

小学校区 名称	人口数			世帯数 (世帯)
		男	女	
笹岡	1,044	515	529	349
長沢	2,169	1,068	1,101	705
大浦	1,148	568	580	376
森町	2,292	1,098	1,194	822
飯田	2,102	1,021	1,081	645
計	8,755	4,270	4,485	2,897

〔全地区〕

	人口数			世帯数
		男	女	
合計	96,517	47,075	49,442	36,502

市民窓口課 住民基本台帳人口より

(令和2年3月31日現在)

(3) 人口動態総覧

区分 年	出生				2,500g未満 (再掲)		死亡				乳児死亡(1歳未満)			
	実数	率 (人口千対)	男	女	実数	率 (出生百対)	実数	率 (人口千対)	男	女	実数	率 (出生千対)	男	女
26	701	7.1	374	327	63	9.0	1,218	12.3	605	613	4	5.7	2	2
27	672	6.8	353	319	70	10.4	1,216	12.3	615	601	1	1.5	1	—
28	662	6.7	316	346	57	8.6	1,212	12.3	629	583	1	1.5	1	—
29	659	6.8	328	331	72	10.9	1,184	12.1	604	580	2	3.0	—	2
30	612	6.3	301	311	68	11.1	1,290	13.4	649	641	2	3.3	2	—

新潟県

30	14,509	6.5	7,419	7,090	1,290	8.8	30,068	13.5	14,870	15,198	27	1.9	16	11
----	--------	-----	-------	-------	-------	-----	--------	------	--------	--------	----	-----	----	----

全 国

30	918,400	7.4	470,851	447,549	—	—	1,362,470	11.0	699,138	663,332	1,748	1.9	932	816
----	---------	-----	---------	---------	---	---	-----------	------	---------	---------	-------	-----	-----	-----

新生児死亡 (生後28日未満)		死産				周産期死亡				婚姻		離婚	
実数	率 (出生千対)	総数		自然	人工	実数	率 (出生千対)	妊娠22週以後産	生後1週未満の 早期新生児死亡	件数	率 (人口千対)	件数	率 (人口千対)
		件数	率 (出生千対)	件数	件数								
2	2.9	13	18.2	8	5	2	2.9	—	2	398	4.0	115	1.16
—	—	14	20.4	9	5	2	3.0	2	—	345	3.5	140	1.41
1	1.5	12	17.8	8	4	3	4.5	3	—	420	4.3	114	1.16
2	3.0	14	20.8	8	6	5	7.5	4	1	344	3.5	135	1.38
1	1.6	9	14.5	4	5	3	4.9	2	1	349	3.6	92	0.95

資料：令和元年福祉保健年報（新潟県福祉保健部）

17	1.2	296	20.0	147	149	50	3.4	38	12	8,612	3.9	2,814	1.26
----	-----	-----	------	-----	-----	----	-----	----	----	-------	-----	-------	------

資料：令和元年福祉保健年報（新潟県福祉保健部）

801	0.9	19,614	20.9	9,252	10,362	2,999	3.3	2,385	614	586,481	4.7	208,333	1.68
-----	-----	--------	------	-------	--------	-------	-----	-------	-----	---------	-----	---------	------

資料：平成30年人口動態調査 人口動態統計（確定数）の概況（厚生労働省）

(4) 死因順位・死亡数・死亡率（人口10万対）

年	人 口（注1）	全死亡数・率	順位		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
			区分	順位					
平成26	99,285	1,218	死 因		悪 性 新 生 物	老 衰	心 疾 患	脳 血 管 疾 患	肺 炎
			死亡数		345	171	160	141	84
			死亡率		347.5	172.2	161.2	142.0	84.6
27	99,192	1,216	死 因		悪 性 新 生 物	心 疾 患	老 衰	脳 血 管 疾 患	肺 炎
			死亡数		345	174	152	135	85
			死亡率		347.8	175.4	153.2	136.1	85.7
28	98,294	1,212	死 因		悪 性 新 生 物	心 疾 患	老 衰	脳 血 管 疾 患	肺 炎
			死亡数		355	171	150	132	85
			死亡率		361.2	174.0	152.6	134.3	86.5
29	97,480	1,184	死 因		悪 性 新 生 物	心 疾 患	脳 血 管 疾 患	老 衰	肺 炎
			死亡数		315	165	140	140	63
			死亡率		323.1	169.3	143.6	143.6	64.6
30	96,482	1,290	死 因		悪 性 新 生 物	心 疾 患	老 衰	脳 血 管 疾 患	肺 炎
			死亡数		340	188	149	127	59
			死亡率		352.4	194.9	154.4	131.6	61.2

資料：令和元年福祉保健年報（新潟県福祉保健部）

(注1) 各年の人口は新潟県推計人口（平成30年10月1日現在）より出典

国勢調査のある年(平成27年)は「国勢調査 年齢・国籍不詳をあん分した人口」より出典

新潟県

平成30	2,230,000	30,068	死 因	悪 性 新 生 物	心 疾 患	老 衰	脳 血 管 疾 患	肺 炎
			死亡数	7,838	4,309	3,170	2,939	1,626
			死亡率	351.5	193.2	142.2	131.8	72.9

資料：令和元年福祉保健年報（新潟県福祉保健部）

全 国

平成30	124,218,285	1,362,470	死 因	悪 性 新 生 物	心 疾 患	老 衰	脳 血 管 疾 患	肺 炎
			死亡数	373,584	208,221	109,605	108,186	94,661
			死亡率	300.7	167.6	88.2	87.1	76.2

資料：平成30年人口動態調査 人口動態統計（確定数）の概況（厚生労働省）

2 医療施設及び医療関係者の状況

(1) 市内医療施設状況

区分 年度	病 院		一 般 診 療 所				歯 科 診 療 所 数	歯 科 技 工 所 数	施 術 所				助 産 所 数
	施 設 数	病 床 数	施 設 数	有 床		無床							
				施 設 数	病 床 数				施 設 数				
26	7	1,464	69	4	54	65	50	21	25	24	22	17	6
27	7	1,464	67	4	54	63	51	21	26	25	23	18	5
28	7	1,464	66	4	54	62	52	20	26	25	23	18	6
29	7	1,404	66	4	54	62	53	19	29	29	27	21	6
30	7	1,404	66	4	54	62	53	19	27	29	27	24	6

資料：健康福祉環境の現況 平成30年度版（新潟県三条地域振興局）

※平成31年3月31日現在

(2) 市内医療関係者数

関係者 年度	医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	歯 科 衛 生 士	歯 科 技 工 士	栄 養 士	看 護 従 事 者			
							保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師
22	158	73	152	103	37	109	53	46	720	422
24	160	70	154	103	32	99	39	44	789	373
26	158	72	173	112	31	108	43	41	840	364
28	153	77	175	116	30	—	45	44	858	328
30	150	79	178	120	31	—	43	39	880	313

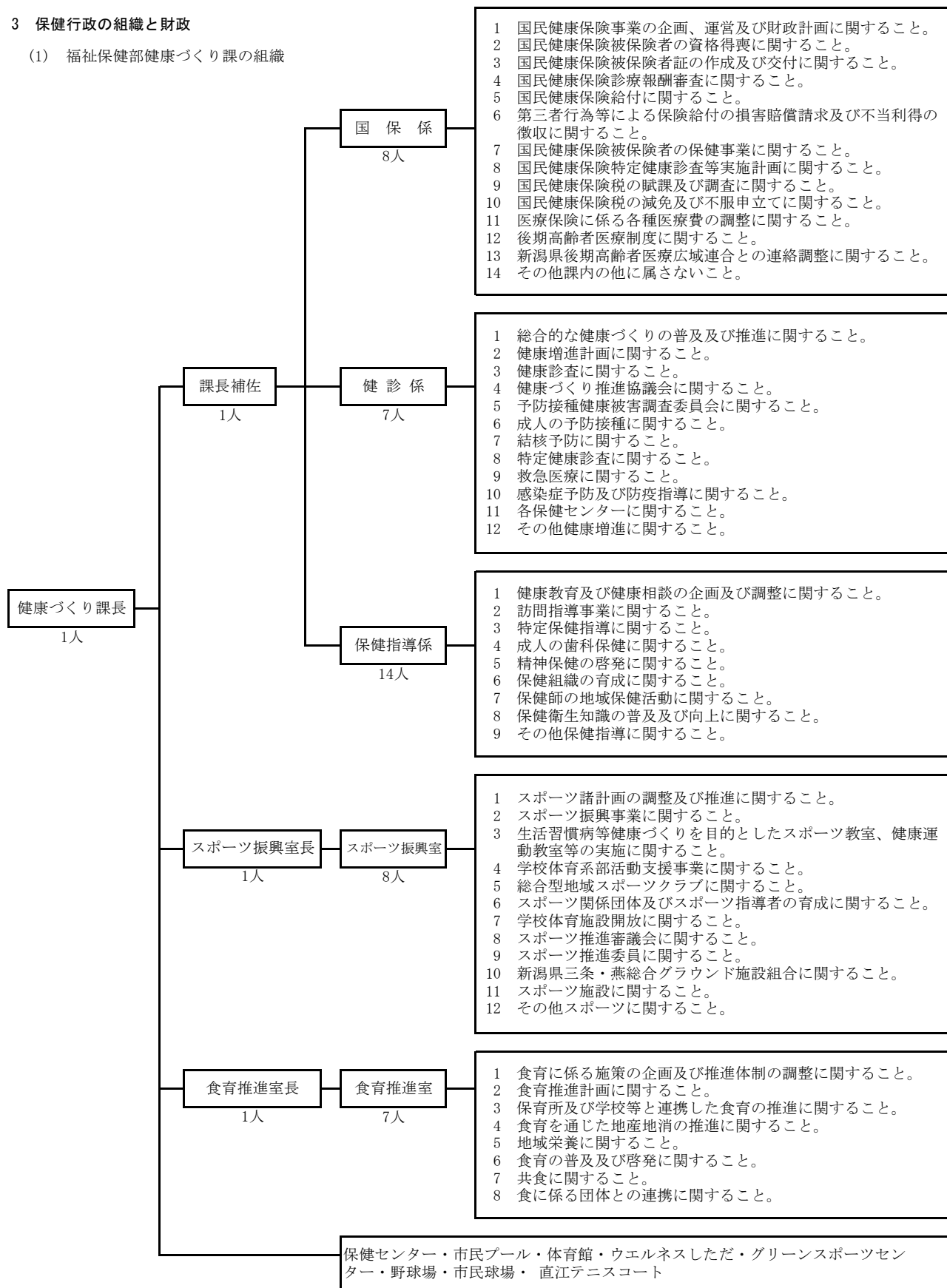
資料：健康福祉環境の現況 平成30年度版（新潟県三条地域振興局）

※平成30年12月31日現在

栄養士は平成27年3月31日現在

3 保健行政の組織と財政

(1) 福祉保健部健康づくり課の組織

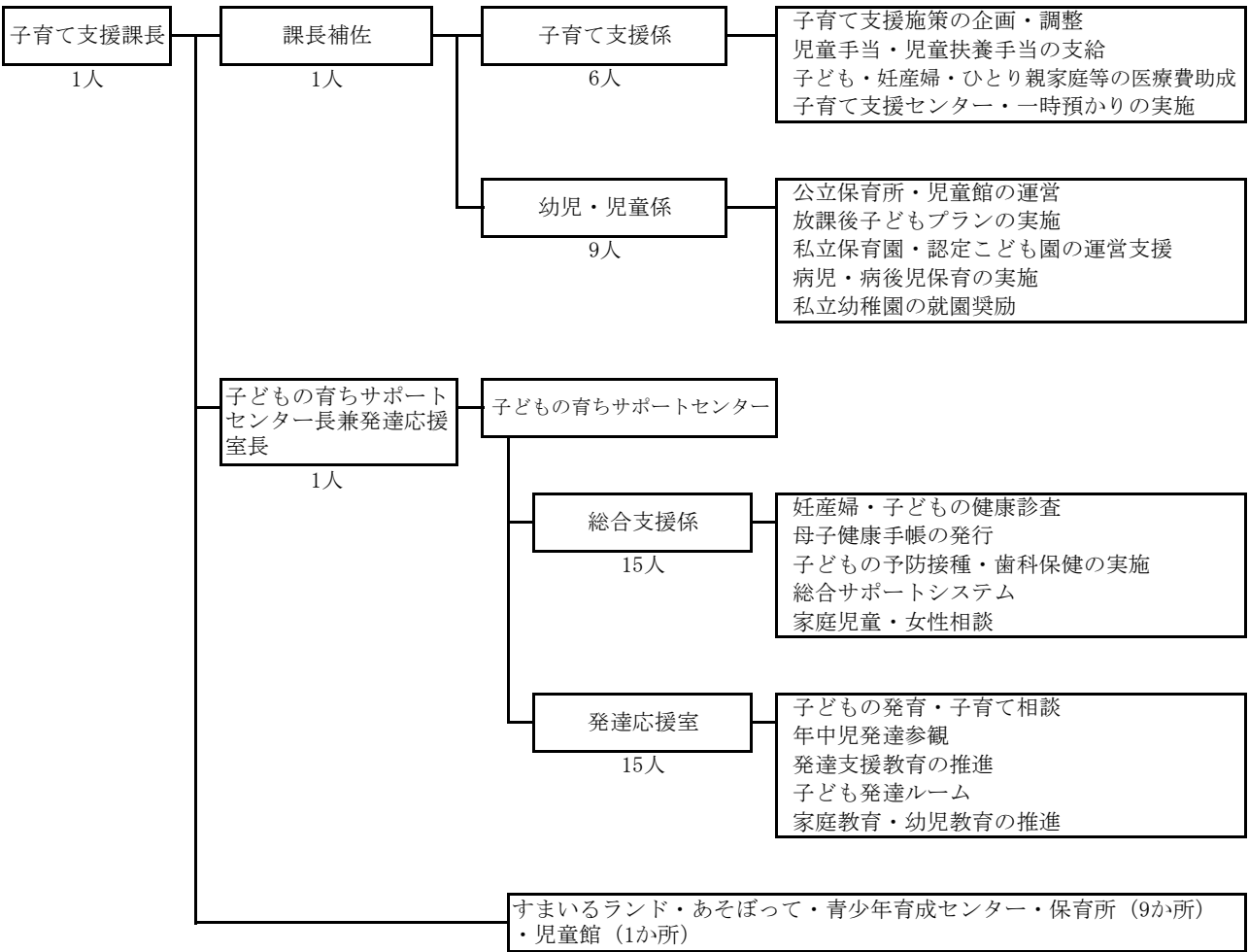


※ 職員数には一般任用職員、嘱託員を含む。

※ 食育推進室長は課長補佐と兼務

出典：三条市行政組織規則（平成31年4月1日現在）

(2) 教育委員会子育て支援課の組織



※ 職員数には一般任用職員、嘱託員を含む。
※ 子どもの育ちサポートセンター長は発達応援室長と兼務

(平成31年4月1日現在)

第Ⅱ章 保 健 予 防 事 業

1 健康推進事業

「年をとっても、元気で、はつらつと暮らし続ける～一人一人が実践し、未来へつなぐ健康づくり～」を基本理念とし、がん・生活習慣病・歯・口腔の健康・こころの健康・高齢者の健康などを基本に市民の生涯にわたる健康づくりを展開している。

健康増進計画(健康さんじょう 21)、健康ウォーク、健康運動教室などの事業を通して、健康づくりの関心を高めるほか、民間活力を活用し、身近で無理なく楽しく継続できる健康づくりを実践している。

(1) 三条市健康づくり推進協議会

市民の健康づくりに係る施策を総合的かつ効果的に推進するため、市の健康づくりの方策及び企画について意見を述べる機関として、学識経験を有する者、関係団体が推薦する者、関係行政機関の職員、その他市長が適当と認める者 15 人以内で組織されている。

(2) 働き盛りからの筋力トレーニング推進事業

生活習慣病予防及び介護予防のために、時間がなくても手軽に取り組める筋力トレーニングメニューを新潟医療福祉大学教授の助言・協力を得ながら、健康推進員と協働で作成・普及し、運動に取り組む人の増加を図る。

ア 筋トレメニュー（“ちょこっと”筋トレ）の周知

- (ア) リーフレットの配布
- (イ) 広報さんじょう及びホームページ掲載
- (ウ) DVD の活用（庁内放映・販売）
- (エ) 講習会の実施

a 実技指導（1 回コース）

年度	実施日	会場	内容	参加者数	
平成27	平27. 9. 12(土)	栄体育館 アリーナ	・ストレッチの仕方 ・ちょこっと筋トレの実技	53	115
	平27. 10. 17(土)	下田体育館 アリーナ		13	
	平27. 11. 7(土)	体育文化センター 大集会室		49	
28	平28. 7. 2(土)	栄体育館 アリーナ	・ストレッチの仕方 ・ちょこっと筋トレの実技	21	59
	平28. 8. 6(土)	下田保健センター 多目的ホール		12	
	平28. 8. 27(土)	総合福祉センター 多目的ホール		26	

b 実技指導と身体機能測定、講話

(a) 市民（2 回 1 クール）

年度	回	実施日	会場	内容	参加者数
平成28	第1回	平28. 10. 22(土)	総合福祉センター	・身体機能測定、筋トレ実技	27
	第2回	平28. 12. 17(土)	三条東公民館	・身体機能測定 ・講話「運動の必要性和効果」	20
29	第1回	平29. 9. 23(土)	三条東公民館	・身体機能測定、筋トレ実技	28
	第2回	平29. 12. 9(土)		・身体機能測定 ・講話「運動の必要性和効果」	20
30	第1回	平30. 10. 21(日)	三条東公民館	・身体機能測定、筋トレ実技	35
	第2回	平30. 12. 9(日)		・身体機能測定 ・講話「運動の必要性和効果」	29

年度	回	実施日	会場	内容	参加者数
令和元	第1回	令和. 10. 5(土)	三条東公民館	・身体機能測定、筋トレ実技	18
	第2回	令和. 12. 14(土)		・身体機能測定 ・講話「運動の必要性和効果」	16

(b) 健康推進員

年度	回	実施日	会場	内容	参加者数
平成27	第1回	平27. 11. 4(水)	総合福祉センター	・身体機能測定 ・グループワーク	12
28	第1回	平28. 7. 20(水)	三条東公民館	・身体機能測定、筋トレ実技	25
	第2回	平28. 9. 20(火)		・身体機能測定 ・講話「運動の必要性和効果」	19
29	第1回	平29. 7. 21(金)	総合福祉センター	・身体機能測定、筋トレ実技 ・グループワーク	22
30	第1回	平30. 9. 11(火)	三条東公民館	・身体機能測定、筋トレ実技	20
	第2回	平30. 11. 16(金)		・身体機能測定 ・講話「運動の必要性和効果」	17
令和元	第1回	令和. 7. 22(月)	総合福祉センター	・身体機能測定、筋トレ実技 ・グループワーク	15

(c) 市内事業所従業員

市内事業所から募集した事業所の従業員が、新潟医療福祉大学教授の協力により“ちょこっと”筋トレを2か月間体験し効果を確認した。

年度	事業所	実施日	内容	参加者数
平成27	株式会社三條機械製作所	平27. 9. 4(金)	・身体機能測定、筋トレ実技 ・モニタリングの説明	10
		平27. 9. 10(木)		14
		平27. 10. 29(木)	・身体機能測定 ・講話「運動の必要性和効果」	9
		平27. 11. 4(水)		14
	株式会社諏訪田製作所	平27. 8. 18(火)	・身体機能測定	17
		平27. 10. 20(火)	・身体機能測定、筋トレ実技 ・モニタリングの説明	16
		平27. 12. 17(木)	・身体機能測定 ・講話「運動の必要性和効果」	15
	株式会社マルト長谷川工 作所	平27. 8. 31(月)	・身体機能測定、筋トレ実技 ・モニタリングの説明	6
		平27. 10. 27(火)	・身体機能測定 ・講話「運動の必要性和効果」	6
	つくし保育園	平27. 9. 11(金)	・身体機能測定、筋トレ実技 ・モニタリングの説明	22
		平27. 11. 5(木)	・身体機能測定 ・講話「運動の必要性和効果」	21
	ホクリク総業株式会社	平27. 8. 29(土)	・身体機能測定	17
		平27. 11. 7(土)	・身体機能測定、筋トレ実技 ・モニタリングの説明	16
		平27. 12. 19(土)	・身体機能測定 ・講話「運動の必要性和効果」	16

年度	事業所	実施日	内容	参加者数
28	株式会社井関新潟製造所	平28. 9. 28(水)	・身体機能測定、筋トレ実技 ・モニタリングの説明	16
		平28. 11. 30(水)	・身体機能測定 ・講話「運動の必要性と効果」	10
	株式会社齋鐵	平29. 1. 20(金)	・身体機能測定、筋トレ実技 ・モニタリングの説明	12
		平29. 3. 24(金)	・身体機能測定 ・講話「運動の必要性と効果」	10
	三条印刷株式会社	平28. 9. 5(月)	・身体機能測定、筋トレ実技 ・モニタリングの説明	18
		平28. 11. 2(水)	・身体機能測定 ・講話「運動の必要性と効果」	19
	三条経営研究会	平28. 9. 13(火)	・身体機能測定、筋トレ実技 ・モニタリングの説明	14
		平28. 12. 13(火)	・身体機能測定 ・講話「運動の必要性と効果」	17
29	パール金属株式会社	平29. 10. 5(木)	・身体機能測定、筋トレ実技 ・モニタリングの説明	21
		平29. 11. 30(木)	・身体機能測定 ・講話「運動の必要性と効果」	16
	角利産業株式会社	平29. 12. 7(木)	・身体機能測定、筋トレ実技 ・モニタリングの説明	18
		平30. 3. 8(木)	・身体機能測定 ・講話「運動の必要性と効果」	9
30	トップ工業株式会社	平30. 12. 15(土)	・身体機能測定、筋トレ実技 ・モニタリングの説明	16
		平31. 2. 27(水)	・身体機能測定 ・講話「運動の必要性と効果」	12
	フォーワテック株式会社	平31. 1. 26(土)	・身体機能測定、筋トレ実技 ・モニタリングの説明	18
		平31. 3. 16(土)	・身体機能測定 ・講話「運動の必要性と効果」	9
令和元	東北電力株式会社	令元. 9. 27(金)	・身体機能測定、筋トレ実技 ・モニタリングの説明	27
		令元. 11. 29(金)	・身体機能測定 ・講話「運動の必要性と効果」	20
	野崎忠五郎商店	令2. 1. 8(水)	・身体機能測定、筋トレ実技 ・モニタリングの説明	8
		令2. 3. 9(月)	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	-

依頼があった市内事業所の従業員を対象に新潟医療福祉大学教授が講話及び筋トレを指導した。

年度	実施日	会場	内容	参加者数
平成29	平29. 10. 26(木)	株式会社井関新潟製造所	・講話「運動の必要性と効果」 ・筋トレ実技	30
30	平30. 7. 4(水)	株式会社コロナ	・講話「運動の必要性と効果」 ・筋トレ実技	30
令和元	令元. 8. 30(金)	シマト工業株式会社	・講話「運動の必要性と効果」 ・筋トレ実技	21

“ちょこっと” 筋トレ協力事業所従業員を対象に新潟医療福祉大学教授が身体機能測定及び筋トレ指導、講話を実施した。

年度	実施日	会場	内容	参加者数
平成29	平29. 7. 14(金)	株式会社 三條機械製作所	・身体機能測定 ・筋トレ実技 ・講話「運動を継続する必要性と効果」	38
30	平30. 10. 15(月)	株式会社 三條機械製作所	・身体機能測定 ・筋トレ実技 ・講話「事業所における運動の必要性及び身体機能測定の見かた」	36
令和元	令元. 10. 18(金)	株式会社 三條機械製作所	・身体機能測定 ・筋トレ実技 ・講話「運動の必要性と効果及び身体機能測定の見方」	37

“ちょこっと” 筋トレ協力事業所従業員を対象に新潟医療福祉大学教授が身体機能測定及び筋トレ指導を行うフォローアップ講習会を実施した。

年度	実施日	会場	内容	参加者数
平成30	平30. 10. 3(水)	総合福祉センター	・身体機能測定 ・筋トレ実技	27
令和元	令元. 10. 16(水)	井関新潟製造所	・身体機能測定 ・運動指導及び身体機能測定結果の見方	16

“ちょこっと” 筋トレ協力事業所従業員を対象に新潟医療福祉大学教授が身体機能測定及び筋トレと有酸素運動指導を行うフォローアップ講習会（2回1コース）を実施した。

年度	実施日	会場	内容	参加者数
令和元	令元. 9. 30(月)	総合福祉センター	・身体機能測定 ・筋トレ及びウォーキング実技	15
	令元. 12. 13(金)		・身体機能測定 ・講話及び身体測定の評価	11

(オ) 筋トレ講演会

年度	実施日	会場	内容	参加者数
平成27	平28. 3. 13(日)	総合福祉センター	第2弾やらなきや損する!! “ちょこっと” 筋トレ講師 新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科 教授 佐藤敏郎	164
28	平28. 11. 13(日)	総合福祉センター	第2弾やらなきや損する!! “ちょこっと” 筋トレ講師 新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科 教授 佐藤敏郎	77

(カ) 筋トレ健康教育及び出張トーク

年度	回数	内容	参加者数
平成27	10	・市の健康実態と運動の実態 ・取組の経緯 ・筋トレの紹介及び実技	264
28	22		571
29	9		576
30	8		190
令和元	4		51

(3) 健康運動教室事業

筋力トレーニングや有酸素運動を行うプログラムに週 1 回又は 2 回参加していただき、年間を通して継続的な運動を行うことで生活習慣病の予防・改善や介護予防を図る。

ア 対象 40 歳以上の市民で医師から運動を禁止されていない方

イ 開催期間 通年

ウ 会場及び参加者数

(単位：人)

会場	75 歳未満	75 歳以上	計
総合福祉センター	208	93	301
須頃会場	53	22	75
栄体育館	22	10	32
下田保健センター	33	11	44
計	316	136	452

[注] 令和 2 年 3 月 31 日現在

(4) 学校食育推進事業

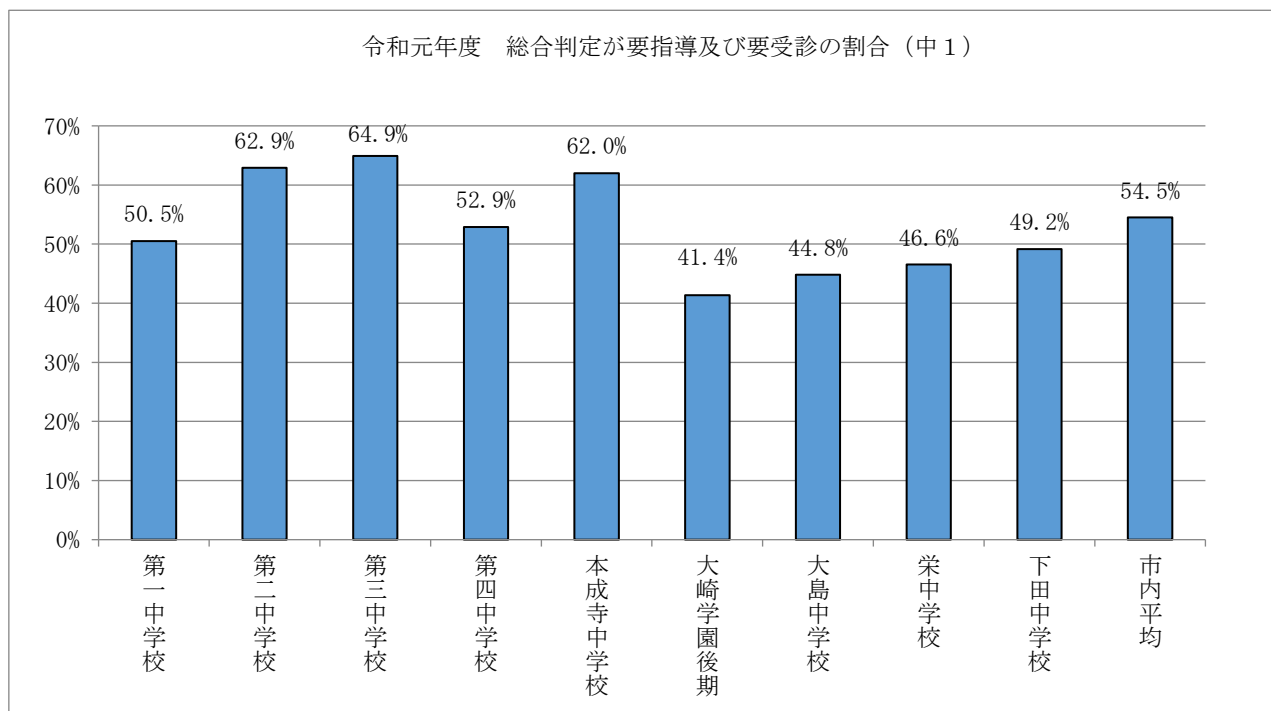
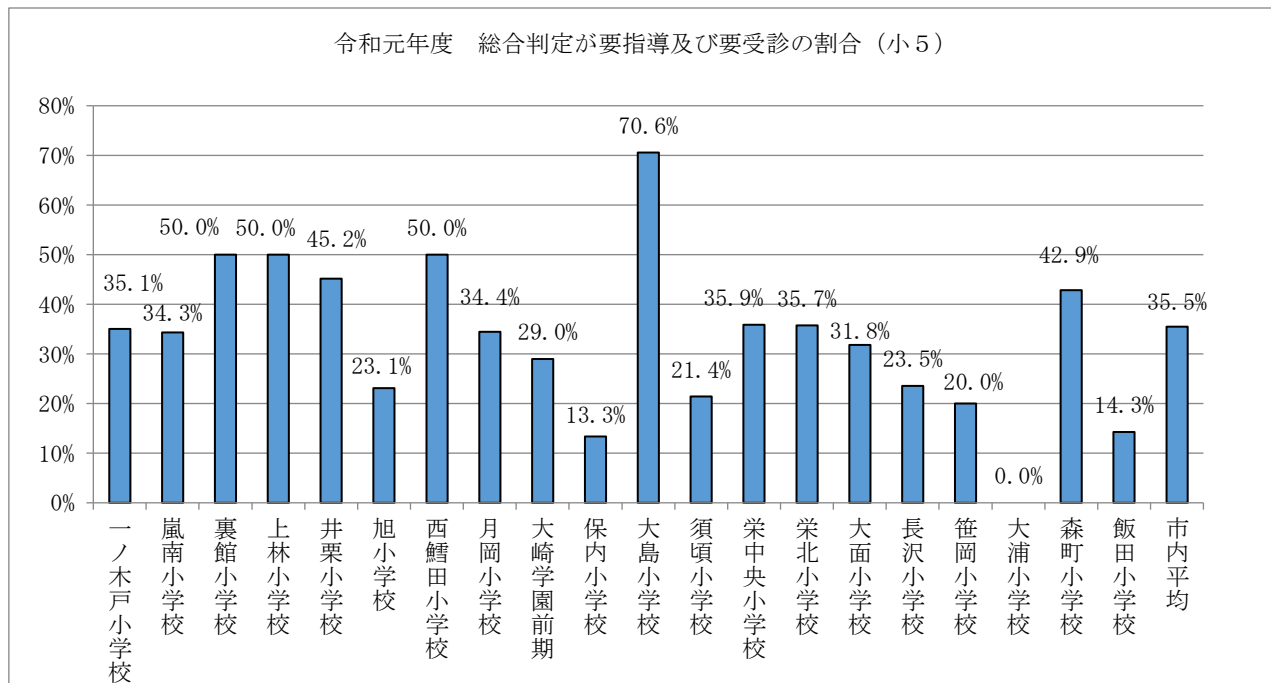
児童生徒が生涯にわたり健康に暮らせるよう、望ましい食習慣の確立を目的に、身体状況の把握(血液検査、身体測定)、個別指導、食育授業、食育講演会、100kcal 体験教室などを実施した。

ア 身体状況の把握

(ア) 身体計測実施者 全市小学校 5 年生(626 人)、中学校 1 年生(684 人)

(イ) 血液検査実施者 全市小学校 5 年生(626 人)、中学校 1 年生(684 人)

(ウ) 身体計測及び血液検査結果



イ 保護者、子どもたちへの食育の取組

(ア) 対象 市内全小中学校

(イ) 実施状況

a 個別指導

(単位：人)

年度	参加者	小学校(5年生)		中学校(1年生)	
		児童	保護者	生徒	保護者
平成27		257	320	295	333
28		188	257	285	304
29		192	255	240	271
30		184	238	219	272
令和元		148	185	217	336

b 食育授業

(単位：人)

年度	参加者	小学校(5年生)	中学校(1年生)
		児童	生徒
平成27		840	814
28		618	766
29		820	780
30		692	775
令和元		468	738

c 食育講演会・講話

(単位：人)

年度	参加者	小学校(5年生)		中学校(1年生)	
		児童	保護者	生徒	保護者
平成27		843	333	813	17
28		810	297	684	34
29		412	98	787	27
30		273	64	760	13
令和元		252	75	763	18

※29年度から希望校のみ実施

d 100kcal 体験教室

(単位：人)

年度	参加者	小学校(4～6年生)	
		児童	保護者
平成30		677	468
令和元		662	391

2 母子保健事業

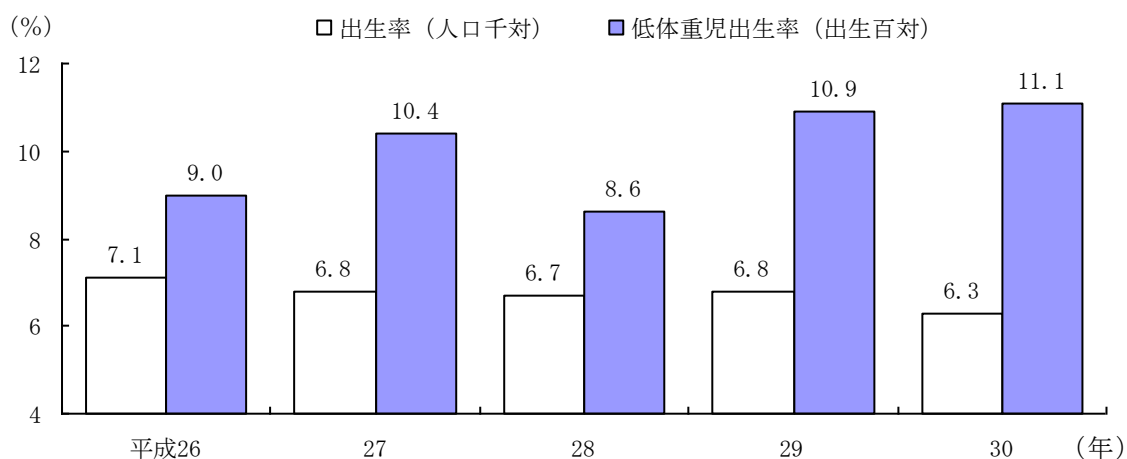
近年の少子化傾向は、女性の社会進出に伴う晩婚化や価値観の多様化、子育てに至っても景気低迷により、夫婦での勤労を余儀なくされている状況等の社会的要因が大きいと思われる。

このような背景から、健全な子どもの育ちには、育児支援や子育てサービスなどのニーズが、ますます増大することが予測される。

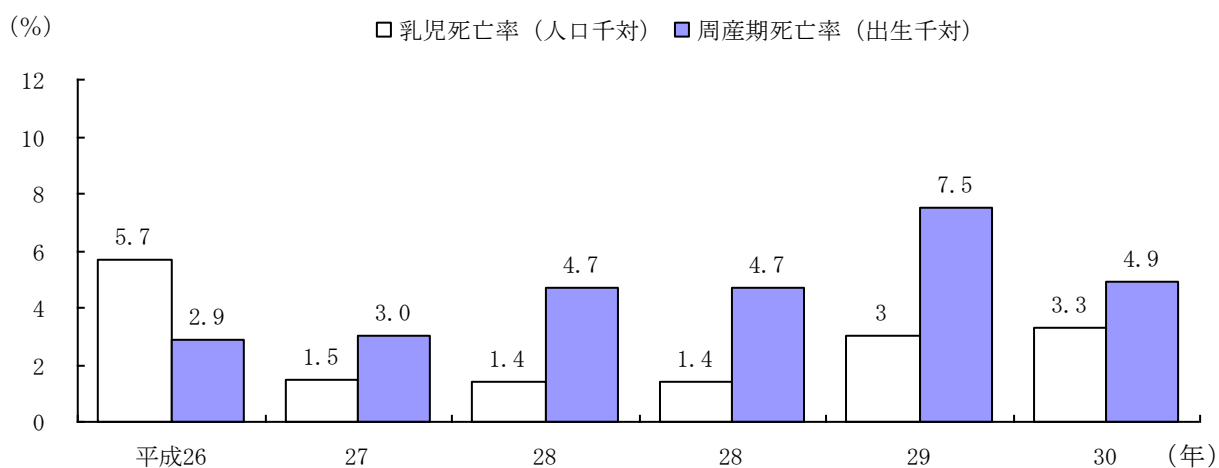
母子保健の充実を図るためには出産前から、個に応じた子育て支援が重要である。

(1) 母子保健の推移

ア 出生



イ 周産期死亡・乳児死亡

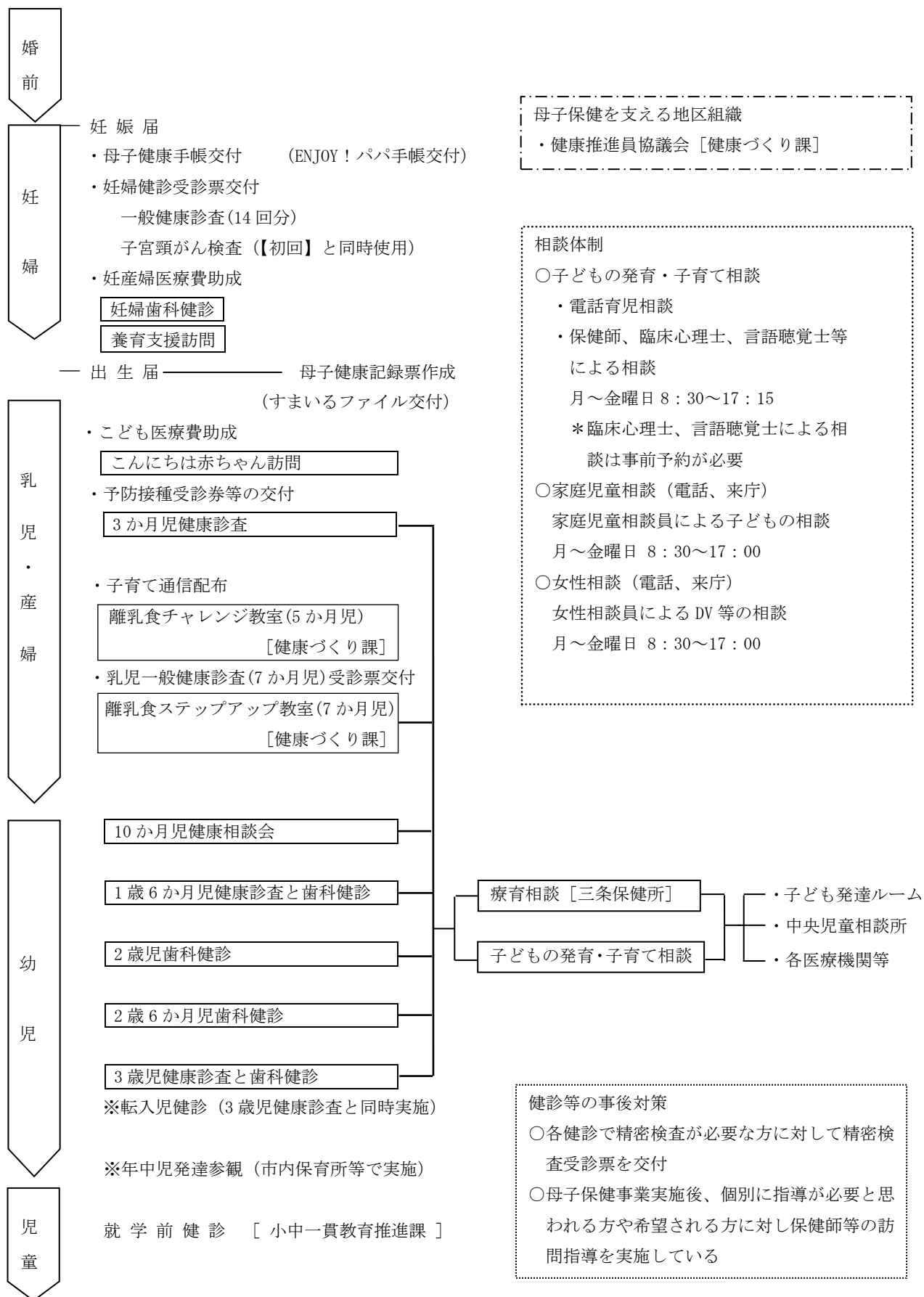


ウ 合計特殊出生率

年	26	27	28	29	30
三条市	1.48	1.38	1.44	1.49	1.43
新潟県	1.43	1.44	1.43	1.41	1.41
全国	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42

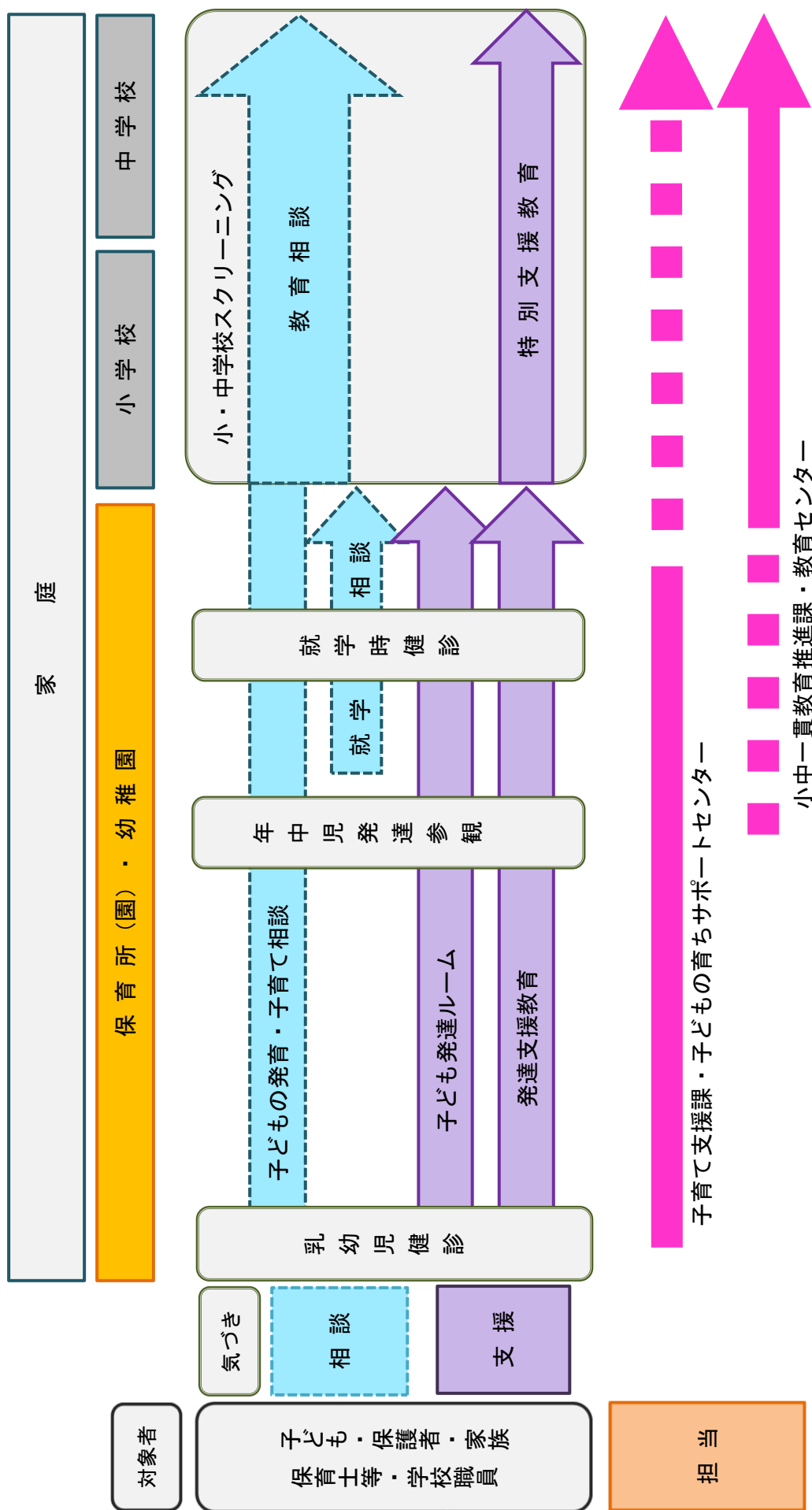
資料：令和元年福祉保健年報（新潟県福祉保健部）

(2) 母子保健活動体系



(3) 三条っ子発達応援事業

三条市の0歳～義務教育終了までの子どもが、持っている力を十分発揮しながら成長できるよう、気づき事業、相談事業、支援事業を総合的に実施することにより、保護者・幼稚園・保育所（園）・認定こども園・関係機関・市などが連携し、継続的に子どもの育ちを応援する。



ア 年中児発達参観

平成 26 年度より、三条市内の幼稚園・保育所（園）・認定こども園に通園する全年中児（4～5 歳）の子どもを対象として、子どもの発達状況が捉えられるような課題遊びを実施。子どもの遊ぶ様子を保護者と幼稚園・保育所（園）・認定こども園の保育士（教諭）と発達応援チーム（臨床心理士、保健師、保育士、指導主事等）が参観。子どもの成長した姿や伸ばしていきたい力を確認する。

年度	実施施設数					実施回数 (延)	実施期間	参加児数
	私立幼稚園	公立保育所	私立保育園	認定こども園	計			
平成 27	1	10	17	1	29	51	6 月～12 月	685
28	3	10	17	1	31	56	6 月～ 1 月	726
29	3	10	17	1	31	58	6 月～12 月	762
30	2	9	17	2	30	52	6 月～12 月	685
令和元	2	9	17	2	30	51	6 月～1 月	659

イ 子どもの発育・子育て相談

平成25年度より、0歳～義務教育終了までの保護者及び保育士等支援者を対象とし、子どもの発育・発達、心理面の相談に保健師、臨床心理士、言語聴覚士等が対応している。臨床心理士による相談では、発達に不安のある子どもの発達状況や特性を確認し、保護者や保育士等の支援者に対し、特性に適した対応ができるようアドバイスし、必要に応じて医療機関等の専門相談や発達支援事業につなげている。就学後まで一貫して教育委員会内で相談を受け付け、総合的支援につなげている。

年度	相談区分	実施 回数	相談 件数	相談内容（件数）							
				乳幼児				小・中学生	妊産婦	保育士	その他
平成 27	電話相談	48	69	栄養	養護	予防接種	その他	7	6	0	0
				30	18	3	5				
	育児相談 （来庁相談）	10	13	栄養	養護	予防接種	その他	0	1	0	1
				2	5	0	4				
	臨床心理士 による相談	40	121	発達・ 言語	心理	育 児	その他	4	0	1	0
				87	14	13	2				
	言語聴覚士 による相談	24	86	構音	吃音	その他		—	—	0	0
				49	14	23					
28	電話相談	72	88	栄養	養護	予防接種	その他	1	1	0	0
				49	20	6	11				
	育児相談 （来庁相談）	5	5	栄養	養護	予防接種	その他	0	0	0	0
				0	3	0	2				
	臨床心理士 による相談	55	153	発達・ 言語	心理	育児	その他	0	2	0	0
				114	23	10	4				
	言語聴覚士 による相談	24	67	構音	吃音	その他		—	—	0	0
				51	6	10					

29	電話相談	65	83	栄養	養護	予防接種	その他	10	3	0	2
				40	16	2	10				
	育児相談 (来庁相談)	9	11	栄養	養護	予防接種	その他	1	0	0	0
				3	3	0	4				
	臨床心理士 による相談	38	121	発達・ 言語	心理	育児	その他	4	0	1	0
				100	9	7	0				
言語聴覚士 による相談	22	65	構音	吃音	その他		—	—	0	0	
			49	11	5						
30	電話相談	111	170	栄養	養護	予防接種	その他	20	3	0	12
				70	51	2	12				
	育児相談 (来庁相談)	13	13	栄養	養護	予防接種	その他	1	0	0	1
				6	3	0	2				
	臨床心理士 による相談	54	160	発達・ 言語	心理	育児	その他	2	0	0	0
				141	9	7	1				
言語聴覚士 による相談	31	58	構音	吃音	その他		—	—	0	0	
			48	7	3						
令和元	電話相談	84	111	栄養	養護	予防接種	その他	14	4	0	9
				35	35	3	11				
	育児相談 (来庁相談)	4	4	栄養	養護	予防接種	その他	1	1	0	0
				1	1	0	0				
	臨床心理士 による相談	55	132	発達・ 言語	心理	育児	その他	1	0	0	0
				118	7	6	0				
言語聴覚士 による相談	26	49	構音	吃音	その他		—	—	1	0	
			30	12	6						

ウ 三条市子ども発達ルーム

平成7年度 療育教室すぎな会から小規模通園事業となり、主管が保健課から社会福祉課に移管された。

平成16年 4月 指定居宅支援事業所「三条市子ども発達相談室」として指定を受ける。

平成18年10月 児童デイサービス事業（障害者自立支援法）として実施

平成20年 4月 主管が子育て支援課に移管

平成24年 4月 児童発達支援事業（児童福祉法）として実施

平成25年 4月 児童発達支援事業所「三条市子ども発達ルーム」として指定を受ける。

平成26年11月 児童相談支援事業所「三条市子ども発達ルーム」として指定を受ける。

児童発達支援事業は専任指導員（保育士、言語聴覚士）を中心に、内容の充実を図りながら、障がいの状況に応じて集団指導と個別指導を行っている。言語個別指導では、吃音や構音障がいの言語訓練も行っている。

児童相談支援事業は、相談支援専門員が子どもの発育・子育て相談会より、療育が必要と勧められた方を対象に行っている。

(ア) 児童発達支援事業実施状況

区 分	実施日数	登録者数	延べ利用者数
集団指導	238	88	1,244
個別指導	210	31	401
合計		119	1,645

(イ) 登録児の年齢内訳

	年齢 登録人数	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳
集団指導	88	0	0	4	16	25	33	10
個別指導	31	0	0	0	1	2	10	18
実人数	119	0	0	4	17	27	43	28

(ウ) 児童相談支援事業実施状況

区 分	登録者数	新規	モニタリング	契約更新	延べ利用者数
集団指導	64	35	63	21	119
個別指導	27	17	29	3	49
合計	91	52	92	24	168

(エ) 疾病（状態）内訳

グ ル ー プ 別	登 録 人 数	※ 内 訳 (延)														
		ダ ウ ン 症	て ん か ん	難 聴	発 達 の 遅 れ	知 的 障 が い	自 閉 ス ペ ク ト ラム 症 (疑い含む)	注 意 欠 陥 多 動 性 症 候 群 (疑い含む)	多 動	言 葉 の 遅 れ	構 音 障 が い	吃 音	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 障 が い (疑い含む)	学 習 障 が い (L D 含 む)	対 人 面 希 薄	場 面 寡 黙
集団指導	88	3	1	0	18	23	29	16	4	35	3	1	8	0	31	3
個別指導	31	0	0	0	4	2	1	0	1	7	21	0	1	0	0	1
実人数	119	3	1	0	22	25	30	16	5	42	24	1	9	0	31	4

※内訳は、疾病が重複している児もいる。

(4) 妊産婦の健康状況及び保健指導

ア 妊娠届出状況

妊娠の届出は妊婦を行政的に把握し、妊婦から産婦へ、さらに乳幼児と一貫した母子保健対策を実施するための出発点として重要なものである。

区 分 年 度		母 子 健 康 手 帳 交 付 状 況									
		妊 娠 届 出 状 況						出 産 後		合 計 a + b + c	再 交 付
		満11週 以内 (第3か 月以内)	満12～ 19週 (第4～5 か月)	満20～ 27週 (第6～7 か月)	満28週 以上 (第8か 月以上)	不 詳	小 計 a	複 産 b	そ の 他 c		
平成27	実人数	710(13)	24(0)	3(0)	0(0)	0	737(13)	0	0	737	11
	率 (%)	96.3	3.3	0.4	0.0	0.0	100.0				
28	実人数	673(4)	19(0)	3(0)	0(0)	0	695(4)	0	0	695	7
	率 (%)	96.9	2.7	0.4	0.0	0.0	100.0				
29	実人数	651(13)	23(1)	5(0)	5(0)	0	684(14)	0	0	684	3
	率 (%)	95.2	3.4	0.7	0.7	0.0	100.0				
30	実人数	607(8)	15(0)	1(0)	2(0)	0	625(8)	0	0	625	11
	率 (%)	97.1	2.4	0.2	0.3	0.0	100.0				
令和元	実人数	532(9)	20(1)	4(0)	0(0)	0	556(10)	0	0	556	9
	率 (%)	95.7	3.6	0.7	0.0	0.0	100.0				

※ () 内は、多胎妊娠の者を再掲

イ 人工妊娠中絶状況

(三条市)

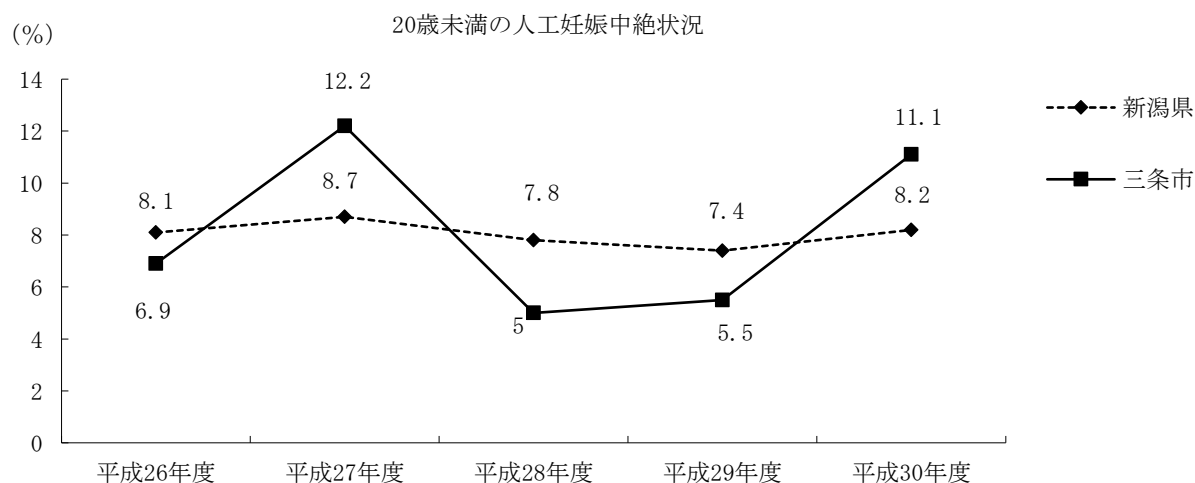
区 分 年 度		出生数	中 絶 届 出 数 (年 齢 別)					
			計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
26	実人数	701	101	7	43	37	14	0
	率 (%)	—	—	6.9	42.6	36.6	13.9	0.0
27	実人数	672	82	10	26	38	8	0
	率 (%)	—	—	12.2	31.7	46.3	9.8	0.0
28	実人数	662	80	4	28	37	11	0
	率 (%)	—	—	5.0	35.0	46.2	13.8	0.0
29	実人数	659	91	5	33	43	10	0
	率 (%)	—	—	5.5	36.3	47.2	11.0	0.0
30	実人数	612	81	9	29	33	10	0
	率 (%)	—	—	11.1	35.8	40.8	12.3	0.0

資料：健康福祉環境の現況 平成30年度版（新潟県三条地域振興局）

(新潟県)

区 分 年 度		出生数	中 絶 届 出 数 (年 齢 別)					
			計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
26	実人数	16,480	2,885	235	1,076	1,282	291	1
	率 (%)	—	—	8.1	37.3	44.4	10.1	0.1
27	実人数	16,339	2,721	236	1,037	1,152	296	0
	率 (%)	—	—	8.7	38.1	42.3	10.9	0.0
28	実人数	15,736	2,568	201	991	1,087	289	0
	率 (%)	—	—	7.8	38.6	42.3	11.3	0.0
29	実人数	14,967	2,441	180	974	1,000	287	0
	率 (%)	—	—	7.4	39.9	41.0	11.7	0.0
30	実人数	14,509	2,358	193	924	993	248	0
	率 (%)	—	—	8.2	39.2	42.1	10.5	0.0

資料：令和元年福祉保健年報（新潟県福祉保健部）



ウ 妊婦一般健康診査受診状況

区 分 年 度			受 診 者	受 診 結 果																	
				指 示 区 分					疾 病 ・ 異 常 (延数)												
									妊 娠 分 娩 に 関 係 あ る も の												そ の 他
									問 題 な し	要 指 導	要 経 過 観 察	要 精 密	要 治 療	妊 娠 高 血 圧 症 候 群	貧 血	心 疾 患	糖 尿 病	骨 盤 位	尿 蛋 白	切 迫 早 産	
令和元	1回	実人数	552	485	0	7	1	59	0	5	0	0	0	1	0	43	18	0	0		
		率 (%)	—	87.8	0.0	1.3	0.2	10.7													
	2回	実人数	533	515	1	4	0	13	2	0	0	0	0	1	2	9	3	0	1		
		率 (%)	—	96.6	0.2	0.8	0.0	2.4													
	3回	実人数	546	530	1	3	0	12	1	0	0	0	0	0	2	9	3	0	1		
		率 (%)	—	97.1	0.2	0.5	0.0	2.2													
	4回	実人数	533	499	2	7	0	25	4	5	0	2	0	0	9	10	4	0	0		
		率 (%)	—	93.6	0.4	1.3	0.0	4.7													
	5回	実人数	534	408	2	2	0	122	1	92	0	0	0	1	30	0	5	0	1		
		率 (%)	—	76.4	0.4	0.4	0.0	22.8													
	6回	実人数	413	337	1	6	0	69	5	13	0	2	1	0	48	0	10	0	0		
		率 (%)	—	81.6	0.2	1.5	0.0	16.7													
	7回	実人数	538	281	1	8	1	247	5	169	0	1	34	1	65	0	12	0	0		
		率 (%)	—	52.2	0.2	1.5	0.2	45.9													
	8回	実人数	530	415	2	6	1	106	7	8	0	2	23	0	80	0	3	0	0		
		率 (%)	—	78.3	0.4	1.1	0.2	20.0													
	9回	実人数	488	372	2	2	0	112	8	8	0	0	11	0	86	0	3	0	0		
		率 (%)	—	76.2	0.4	0.4	0.0	23.0													
	10回	実人数	522	318	2	5	0	197	7	105	0	1	34	0	57	0	41	0	0		
		率 (%)	—	60.9	0.4	1.0	0.0	37.7													
	11回	実人数	510	320	1	4	0	185	10	144	0	0	5	1	36	0	4	2	0		
		率 (%)	—	62.7	0.2	0.8	0.0	36.3													
	12回	実人数	465	331	1	12	0	121	20	96	0	0	2	1	12	0	5	1	0		
		率 (%)	—	71.2	0.2	2.6	0.0	26.0													
	13回	実人数	395	287	0	5	0	103	17	88	0	0	1	0	0	0	3	0	0		
		率 (%)	—	72.6	0.0	1.3	0.0	26.1													
	14回	実人数	270	193	0	3	0	74	8	67	0	0	1	0	0	0	2	0	0		
		率 (%)	—	71.5	0.0	1.1	0.0	27.4													
合 計			実人数	6,829	5,291	16	74	3	1,445	95	800	0	8	112	6	427	71	116	3	3	
			率 (%)	—	77.5	0.2	1.1	0.1	21.1												

※ 妊娠分娩に関係あるもの（その他）：B群溶連菌感染症・クラミジア・重症妊娠悪阻など

エ 妊婦歯科健診

年 度	健診回数	対象者数	受診者数	むし歯あり(人)	むし歯有病者率(%)
平成 27	2	674	104	99	95.2
28	4	730	159	148	93.1
29	4	728	136	119	87.5
30	4	609	140	128	91.4
令和元	4	588	133	108	81.2

オ 分娩状況（3 か月児健診時の状況）

区 分 年 度		分 娩 数			分 娩 時 の 異 常			異 常 者 の 内 訳 (延数)															
		計	初 産	経 産	計	初 産	経 産	臍 帯 巻 絡	吸 引 分 娩	前・早期破水	帝王切開	微弱陣痛	骨 盤 位	切 迫 仮 死	遷 延 分 娩	弛 緩 出 血	軟 産 道 強 靱	児 頭 回 旋 異 常	早 産	出 血 多 量	児 頭 骨 盤 不 適 合	鉗 子 分 娩	そ の 他
平成 27	実人数	662	308	354	192	108	84	0	43	19	98	9	8	0	0	7	0	0	22	3	0	1	5
	率 (%)	—	46.5	53.5	29.0	56.3	43.8																
28	実人数	646	278	368	192	109	83	2	38	23	101	17	6	3	3	4	0	0	21	8	0	2	11
	率 (%)	—	43.0	57.0	29.7	56.8	43.2																
29	実人数	639	319	320	258	159	99	2	66	47	99	38	13	16	9	17	0	3	38	24	0	1	20
	率 (%)	—	49.9	50.1	40.4	61.6	38.4																
30	実人数	620	278	342	227	123	104	2	42	51	110	23	14	10	4	13	0	0	24	13	0	2	5
	率 (%)	—	44.8	55.2	36.6	54.2	45.8																
令和元	実人数	544	244	300	186	103	83	3	36	31	82	24	12	9	2	12	0	2	26	11	1	4	16
	率 (%)	—	44.9	55.1	34.2	55.4	44.6																

※ 分娩状況については、3か月児健診受診者に確認している。

カ 産婦健康相談

区 分 年 度		対 象 者			受 診 者		血圧異常有者	
		計	初 産	経 産	初 産	経 産	初 産	経 産
平成27	実人数	662	308	354	141	106	0	1
	率 (%)	—	46.5	53.5	45.8	29.9	0.0	0.9
28	実人数	646	278	368	126	124	2	5
	率 (%)	—	43.0	57.0	46.0	33.7	1.6	4.0
29	実人数	639	319	320	141	87	3	7
	率 (%)	—	49.9	50.1	44.2	27.2	2.1	8.0
30	実人数	620	278	342	100	100	4	1
	率 (%)	—	44.8	55.2	36.0	31.3	4.0	1.0
令和元	実人数	544	244	300	109	114	4	6
	率 (%)	—	44.9	55.1	20.0	21.0	3.7	5.3

キ こにちは赤ちゃん訪問事業

希望する乳児及び産婦に対し、生後 2 か月以内に 1 回助産師からの訪問指導を実施している。また、平成 21 年度からは助産師による訪問を希望しなかった生後 4 か月までの赤ちゃんのいるすべての家庭に看護師等が訪問を実施している。

(ア) 産婦・乳児訪問指導

区分 年度	産 婦			乳 児			低体重児（再掲）		
	対象者	訪問回数		対象者	訪問回数		対象者	訪問回数	
		実数	延数		実数	延数		実数	延数
平成27	662	570	597	665	569	606	71	64	64
	率(%)	86.1	—	率(%)	85.6	—	率(%)	90.1	—
28	647	556	576	654	563	591	53	25	29
	率(%)	85.9	—	率(%)	86.1	—	率(%)	47.1	—
29	647	568	582	654	564	590	73	56	58
	率(%)	87.8	—	率(%)	86.2	—	率(%)	76.7	—
30	596	521	543	606	529	562	66	53	58
	率(%)	87.4	—	率(%)	87.3	—	率(%)	80.3	—
令和元	579	466	490	583	469	500	55	47	48
	率(%)	80.5	—	率(%)	80.4	—	率(%)	85.5	—

※ 依頼助産師による訪問を記載

(イ) こんにちは訪問

年度 \ 区分	乳児訪問実件数
平成27	116
28	104
29	76
30	64
令和元	81

※ 看護師等による訪問を記載

ク 未熟児訪問指導

年度 \ 区分	未熟児	
	実人数	延人数
平成27	21	34
28	25	29
29	30	49
30	24	36
令和元	25	43

ケ 養育支援訪問事業

妊娠や出産、子育てに不安がある方で継続的な支援が必要な家庭（妊婦及び産婦・新生児）を対象に、おおむね妊娠期4回、出産後2回助産師が訪問し、相談・助言を行う。

年度 \ 区分	実人数	延べ訪問回数	延べ訪問回数 内 訳		対 象 者 の 内 訳 （延人数）					
			妊婦	産婦・乳児	虐待管理者 (特定妊婦含)	養育者に 障害あり	若年妊婦	育児不安	未熟児	その他
平成27	8	22	7	15	4	3	1	2	2	0
28	11	43	14	29	1	7	3	4	0	1
29	13	50	2	48	1	7	2	6	0	1
30	7	16	2	14	1	4	1	2	0	0
令和元	9	34	1	33	1	5	0	2	0	2

(5) 乳幼児の健康状況

ア 乳児の健康診査・健康相談会

乳児の発育発達を確認し、異常を早期に発見することを目的に、発達の節目となる3か月児、7か月児、10か月児を対象に実施している。

(ア) 3か月児健康診査

区 分 年 度	対 象 者	受 診 者	受診結果（※）						発育状況			栄養方法						要 管 理 者 数	受 け た 者	保 育 者				
			問 題 な し	要 指 導	要 経 過 観 察	要 精 密	要 治 療	肥 満	普 通	や せ	0～2か月未満			2～4か月未満			母			祖 父 母	幼 稚 園 （ 園 ）	そ の 他	無 回 答	
											母 乳	混 合	人 工	母 乳	混 合	人 工								
平成 27	実数(人)	679	639	0	18	15	1	16	634	23	298	352	23	340	239	94	135	673	637	23	11	0	2	
	率（％）	—	95.0	0.0	2.7	2.2	0.1	1.5	94.2	3.4	44.3	52.3	3.4	50.5	35.5	14.0	20.1	100.0	94.7	3.4	1.6	0.0	0.3	
28	実数(人)	657	607	0	33	14	2	19	621	16	294	342	20	339	219	98	123	656	645	4	7	0	0	
	率（％）	—	92.6	0.0	5.0	2.1	0.3	2.9	94.7	2.4	44.8	52.2	3.0	51.7	33.4	14.9	18.8	100.0	98.3	0.6	1.1	0.0	0.0	
29	実数(人)	654	580	0	34	22	6	22	606	14	244	371	27	287	248	107	130	642	620	12	10	0	0	
	率（％）	—	90.4	0.0	5.3	3.4	0.9	3.4	94.4	2.2	38.0	57.8	4.2	44.7	38.6	16.7	20.2	100.0	96.5	1.9	1.6	0.0	0.0	
30	実数(人)	631	595	0	20	12	2	22	596	11	238	367	24	281	261	87	125	629	609	7	11	1	1	
	率（％）	—	94.6	0.0	3.2	1.9	0.3	3.5	94.8	1.7	37.8	58.4	3.8	44.7	41.5	13.8	19.9	100.0	96.8	1.1	1.7	0.2	0.2	
令和 元	実数(人)	553	518	0	28	3	3	19	519	14	197	325	27	240	213	96	105	542	530	6	12	0	4	
	率（％）	—	93.9	0	5.1	0.5	0.5	3.5	94.0	2.5	35.9	59.2	4.9	43.7	38.8	17.5	19.0	98.2	96.0	1.1	2.2	0	0.7	

※ 受診結果は、医師の診察の結果により区分される。

(イ) 乳児一般健康診査 (7か月児) 受診結果

区分 人数	対 象 者	交 付 枚 数 （※）	受 診 者	受 診 結 果																									
				指 示 区 分					疾 病 ・ 異 常 （ 延人数 ）																				
				問 題 な し	要 指 導	要 経 過 観 察	要 精 密	要 治 療	身 体 的 発 育 異 常	運 動 機 能 発 達 異 常	神 経 系 感 覚 器 の 異 常	視 覚 障 害	聴 覚 障 害	内 科 的 疾 病 異 常						皮 膚 疾 患	先 天 異 常	形 態 異 常	生 活 習 慣 上 の 問 題	育 児 行 動 上 の 問 題	精 神 発 達 障 害	情 緒 行 動 上 の 問 題	そ の 他	育 児 行 動 上 の 問 題	健 康 管 理 上 要 注 意 の 者 （ 実 人 員 ）
														循 環 器 系 疾 患	血 液 疾 患	呼 吸 器 系 疾 患	消 化 器 系 疾 患	泌 尿 器 系 疾 患											
実数(人)	586	599	586	557	4	19	0	6	11	12	0	0	0	0	4	0	1	1	0	4	0	0	1	0	0	0	0	12	
率(%)	－	－	100	95.1	0.7	3.2	0	1.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2.0	

※ 交付枚数には紛失等による再発行・転入13枚を含む。

(ウ) 10 か月児健康相談会

区 分 年 度		対 象 者	参 加 者	発 育 状 況			保 育 者				健 康 管 理 上 要 注 意 の 者		健 康 相 談 を 受 け た 者
				肥 満	普 通	や せ	母	祖 父 母	幼 保 育 所（園）	そ の 他	要 管 理 者 数	今 回 初 め て 管 理 に あ が つ た 人 数	
平成 27	実数(人)	667	661	8	634	19	512	45	96	8	182	91	661
	率(%)	—	99.1	1.2	95.9	2.9	77.5	6.8	14.5	1.2	27.5	13.7	100.0
28	実数(人)	688	673	9	649	15	530	30	104	9	179	119	673
	率(%)	—	97.8	1.3	96.5	2.2	78.8	4.5	15.4	1.3	26.6	17.7	100.0
29	実数(人)	648	642	1	638	3	497	20	117	8	179	102	642
	率(%)	—	99.1	0.2	99.3	0.5	77.5	3.1	18.2	1.2	27.9	15.9	100.0
30	実数(人)	662	642	9	615	18	512	26	103	1	186	93	642
	率(%)	—	97.0	1.4	95.8	2.8	79.8	4.0	16.0	0.2	29.0	14.5	100.0
令和 元	実数(人)	548	542	7	528	7	424	12	103	3	202	107	542
	率(%)	—	98.9	1.3	97.4	1.3	78.2	2.2	19.0	0.6	37.3	19.7	100.0

発育状況の指標

カウプ指数20以上……………肥満

" 14.5～20未満……………普通

" 14.5未満……………やせ

(エ) 要管理者の状況

<3か月児健康診査>

要管理者数（実人数）		105
管理内容の内訳（延人数）	神経学的異常	1
	運動機能発達異常 （※1 首すわりぬ）	27
	形態異常	2
	視覚異常	3
	聴覚異常	1
	循環器系疾患	5
	呼吸器系疾患	1
	消化器系疾患	2
	泌尿器系疾患	2
	血液疾患	1
	皮膚疾患	1
	先天異常	0
	精神発達障害	0
	生活習慣上の問題	0
	育児環境上の問題	40
	身体的発育異常	35
	その他	3

<10か月児健康相談会>

要管理者数（実人数）		202
管理内容の内訳（延人数）	神経系感覚器の異常	0
	運動機能発達異常 （※2 つかまり立ちぬ等）	7
	形態異常	2
	視覚異常	6
	聴覚異常	2
	循環器系疾患	12
	呼吸器系疾患	1
	消化器系疾患	4
	泌尿器系疾患	0
	血液疾患	1
	皮膚疾患	0
	先天異常	2
	精神発達障害	1
	生活習慣上の問題	72
	育児環境上の問題	39
	身体的発育異常	34
	その他	2

※1 3か月児健診で首すわりぬの場合、5か月時に連絡し発達確認を行っている。

※2 10か月児健康相談会でつかまり立ちぬの場合、1歳時に連絡し発達確認を行っている。

イ 乳児精密健康診査

乳児健康診査の結果、必要な児に対して医療機関に委託して行う。

受診者（人）	受 診 結 果（人）				
	問題なし	要指導	要経過観察	要精密	要治療
4	1	0	2	1	0

ウ 離乳食教室

(ア) 離乳食チャレンジ教室

5 か月児と保育者を対象に、離乳食のはじめ方や作り方について調理実習を通して知ってもらい、離乳食開始に対する不安や疑問を解消することを目的に教室を実施している。

実施回数（回）	対象者（人）	受講者（人）	受講率（％）
11	543	137	25.2

※新型コロナウイルス感染症のため3月分を中止

- ・アンケートから、「参考になった」と答えた人が94.2%、「不安や疑問が解消された」と答えた人が97.2%であり、教室に参加することで安心して離乳食を進められている。
- ・前年よりも、参加率が6.4ポイント下がっているため、周知方法や教室の内容に見直しが必要である。
- ・会食の時間に母親同士で話をするすることで、情報交換や仲間づくりにつながっている。

(イ) 離乳食ステップアップ教室

7 か月児と保育者を対象に、離乳食の必要性や具体的な進め方を確認してもらうことで、不安なく離乳食を進めることと、情緒豊かな子育てが出来ることを目的に教室を実施している。

実施回数（回）	対象者（人）	受講者（人）	受講率（％）
11	554	133	24.0

※新型コロナウイルス感染症のため3月分を中止

- ・参加者の半分が教室に参加してから2回食に移行しようと考えており、不安や悩みを解消してから進めようとしている。
- ・試食を提供することで「硬さ」「味」を確認でき、参考になったと今年度も好評である。

エ 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児は、身体的には独歩が確立し、精神面では他者に興味を示し意味のある単語を話す等の成長が見られる。1歳6か月児健診では、疾病や発達の遅れ等の早期発見、早期治療、早期療育につとめている。子どもの成長に伴い、親の悩みや育児ストレスが増えてくる時期であることから、臨床心理士による心理相談を希望者に対して行っている。

(ア) 1歳6か月児健診状況

区分 年度	対象者	受診者	受診結果(※1)					発育状況				歯科健診受診者	むし歯				保 育 者					要 管 理 児 (※3)				健康相談を受けた者	心理相談を受けた者		
			問題なし	要指導	要経過観察	要精密	要治療	肥満	普通	やや	判定不能		なし	あり	内訳(※2)			母	祖父母	保育所(園)	その他	実人数	内 訳						
															A型	B型	C型						身体面	精神面	育児面				
平成27	実数(人)	715	729	706	0	11	12	0	60	668	1	0	729	719	10	9	1	0	311	55	355	8	169	51	135	16	729	38	
	率(%)	—	102.0	96.9	0.0	1.5	1.6	0.0	8.2	91.7	0.1	0.0	100	98.6	1.4	90.0	10.0	0.0	42.7	7.5	48.7	1.1	23.2	—	—	—	100.0	5.2	
28	実数(人)	683	673	659	0	3	11	0	38	633	2	0	673	668	5	5	0	0	261	81	326	5	174	64	122	26	673	34	
	率(%)	—	98.5	98.0	0.0	0.4	1.6	0.0	5.6	94.1	0.3	0.0	100	99.3	0.7	100	0.0	0.0	38.8	12.0	48.4	0.8	25.9	—	—	—	100.0	5.1	
29	実数(人)	679	676	654	0	14	7	1	54	620	2	0	676	670	6	6	0	0	234	48	373	21	182	52	145	46	676	24	
	率(%)	—	99.6	96.7	0.0	2.1	1.1	0.1	8.0	91.7	0.3	0.0	100	99.1	0.9	100	0.0	0.0	34.6	7.1	55.2	3.1	26.9	—	—	—	100.0	3.6	
30	実数(人)	661	661	636	0	15	10	0	45	613	3	0	661	655	6	5	0	1	271	54	332	4	184	69	129	41	661	34	
	率(%)	—	100.0	96.2	0.0	2.3	1.5	0.0	6.8	92.8	0.4	0.0	100.0	99.1	0.9	83.3	0.0	16.7	41.0	8.2	50.2	0.6	27.8	—	—	—	100.0	5.2	
令和元	実数(人)	580	575	560	0	11	4	0	37	535	3	0	575	569	6	5	0	1	183	38	349	5	185	50	111	42	575	19	
	率(%)	—	99.1	97.4	0	1.9	0.7	0	6.5	93.0	0.5	0	99.1	99.0	1.0	83.3	0	16.7	31.8	6.6	60.7	0.9	32.2	—	—	—	100.0	3.3	

※1 受診結果は、医師の診察の結果により区分される。

※2 内訳はむし歯ありについての構成割合

※3 要管理者について、内訳は延人数を計上している。

(イ) 要管理者の状況

<身体面>

要 管 理 者 数 (実人数)		46	
管 理 内 容 の 内 訳 (延 人 数)	身 体 的 発 育 異 常	18	
	運 動 機 能 発 達 異 常	8	
	神 経 系 感 覚 器 の 異 常	1	
	視 覚 障 害 (疑 い 含 む)	2	
	聴 覚 障 害 (疑 い 含 む)	1	
	内 科 的 疾 病 ・ 異 常	循 環 器 系 疾 患	10
		血 液 疾 患	0
		呼 吸 器 系 疾 患	0
		泌 尿 器 系 疾 患	1
	皮 膚 疾 患	3	
	先 天 異 常	3	
	形 態 異 常	1	
そ の 他	2		

<精神面>

要 管 理 者 数 (実人数)			103
管 理 内 容 の 内 訳 (延人数)	精神発達上の 問 題	言 葉 の 遅 れ	93
		そ の 他 (命 令 不 可 等)	8
	情緒行動上の 問 題	多	8
		そ の 他 (か ん し や く 等)	2

<育児面>

要 管 理 者 数 (実人数)		34
管 理 内 容 の 内 訳 (延人数)	育 児 環 境 上 の 問 題	42

オ 1 歳 6 か月児精密健康診査

＜身体面＞ 1 歳 6 か月児健診を受診後、医療機関に委託して行う。

受診者数	診 結 果													他 施 設 紹 介 件 数 (再掲)		
	受 診					結 果										
	指 示 区 分			疾 病 ・ 異 常					(延 人 数)							
	問題 なし	要指導	要経過 観 察	要精密	要治療	神経学的 異 常	運動機能 発達遅滞	形態異常	視覚障害	聴覚障害	内科的疾病・異常 消化器系疾患	その他	皮膚疾患		その他	健康管理上 要注意の者 (実人数)
3	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0

＜精神面＞ 1 歳 6 か月児健診を受診後、保健所が実施する療育相談へ依頼して行う。

受診者数	受 診 区 分			診 結 果										健康管理上 要注意の者 (実人数)		
	保 健 所 (療育相談)	児童相談所	そ の 他	指 示 区 分					疾 病 ・ 異 常						（ 延 人 数 ）	
				問題なし	要指導	要経過 観 察	要精密	要治療	自閉スペク トラム症	精神発達 遅 滞	多動	情緒行動上 の問題	そ の 他			
1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	

カ 2歳児歯科健診

(ア) 2歳児歯科健診状況

区 分 年 度		対 象 者	受 診 者	む し 歯						※1 要管理者				健 康 相 談 を 受 け た 者
				な し	あ り	※2 内 訳				実 人 数	内 訳			
						A 型	B 型	C 型	不 詳		身 体 面	精 神 面	育 児 面	
平成 27	実数（人）	720	696	680	16	14	1	1	0	178	31	186	26	696
	率（％）	—	96.7	97.7	2.3	87.4	6.3	6.3	0.0	25.6	—	—	—	100.0
28	実数（人）	679	654	640	14	11	3	0	0	176	35	161	17	654
	率（％）	—	96.3	97.9	2.1	78.6	21.4	0.0	0.0	26.9	—	—	—	100.0
29	実数（人）	701	677	667	10	7	3	0	0	149	36	160	22	677
	率（％）	—	96.6	98.5	1.5	70.0	30.0	0.0	0.0	22.0	—	—	—	100.0
30	実数（人）	655	636	628	8	6	1	1	0	160	36	140	45	636
	率（％）	—	97.1	98.7	1.3	75.0	12.5	12.5	0.0	25.1	—	—	—	100.0
令和 元	実数（人）	596	580	575	5	5	0	0	0	157	34	136	38	580
	率（％）	—	97.3	99.1	0.9	100.0	0.0	0.0	0.0	27.3	—	—	—	100.0

※1 要管理者について内訳は延人数を計上している。

※2 内訳はむし歯ありについての構成割合

(イ) 要管理者の状況

<身 体 面>

要管理者数（実人数）			25
管 理 内 容 の 内 訳 （ 延 人 数 ）	身 体 的 発 育 異 常		12
	運 動 機 能 発 達 異 常		5
	神 経 系 感 覚 器 の 異 常		2
	視 覚 障 害 （ 疑 い 含 む ）		0
	聴 覚 障 害 （ 疑 い 含 む ）		2
	内科的 疾患・異常	循環器系疾患	6
		血液疾患	0
		呼吸器系疾患	0
		消化器系疾患	0
		泌尿器系疾患	2
	皮 膚 疾 患		1
	先 天 異 常		1
	形 態 異 常		2
	そ の 他		1

<精 神 面>

要管理者数（実人数）			113
（ 管 理 内 容 の 内 訳 ）	精神発達上 の問題	言葉の遅れ	59
		応答指さしなし	43
		指示に従えない	0
		自閉スペクトラム症(疑い含)	5
		精神発達遅滞(疑い含)	0
	情緒行動上 の問題	多動	27
		行動上の問題	2

<育 児 面>

要管理者数（実人数）		26
管理内容の内訳（延人数）	育児環境上の問題	38

キ 2歳6か月児歯科健診

(ア) 2歳6か月児歯科健診状況

区 分 年 度		対 象 者	受 診 者	む し 歯					※1 要管理者				健康相談を受けた者
				な し	あ り	※2 内訳			実 人 数	内 訳			
						A 型	B 型	C 型		身 体 面	精 神 面	育 児 面	
平成 27	実数（人）	703	661	627	34	28	5	1	128	23	128	27	661
	率（％）	—	94.0	94.9	5.1	82.4	14.7	2.9	19.4	—	—	—	100.0
28	実数（人）	729	696	660	36	26	8	2	98	22	104	14	696
	率（％）	—	95.5	94.8	5.2	72.2	22.2	5.6	14.1	—	—	—	100.0
29	実数（人）	680	637	602	35	27	7	1	93	21	85	20	637
	率（％）	—	93.7	94.5	5.5	77.1	20.0	2.9	14.6	—	—	—	100.0
30	実数（人）	682	653	633	20	17	3	0	113	18	80	40	653
	率（％）	—	95.7	96.9	3.1	85.0	15.0	0.0	17.3	—	—	—	100.0
令和 元	実数（人）	600	585	570	15	12	3	0	115	19	88	32	585
	率（％）	—	97.5	97.4	2.6	80.0	20.0	0.0	19.7	—	—	—	100.0

※1 要管理者について内訳は延人数を計上している。

※2 内訳はむし歯ありについての構成割合

(イ) 要管理者の状況

<身 体 面>

要管理者数(実人数)			18
管 理 内 容 の 内 訳 (延 人 数)	身 体 的 発 育 異 常		6
	運 動 機 能 発 達 異 常		3
	神 経 系 感 覚 器 の 異 常		1
	視 覚 障 害 (疑 い 含 む)		0
	聴 覚 障 害 (疑 い 含 む)		1
	内 科 的 疾 患 ・ 異 常	循環器系疾患	3
		血液疾患	0
		呼吸器系疾患	0
		消化器系疾患	0
		泌尿器系疾患	3
	皮 膚 疾 患		0
	先 天 異 常		0
	形 態 異 常		2
	そ の 他		0

<精 神 面>

要管理者数(実人数)			69
管 理 内 容 の 内 訳 (延 人 数)	精 神 発 達 上 の 問 題	言葉の遅れ	37
		応答指さしなし	7
		発音不明瞭	0
		精神発達遅滞(疑い含む)	2
		自閉スペクトラム症(疑い含む)	14
	情 緒 行 動 上 の 問 題	多動	24
		行動上の問題	4
		どもり	0

<育 児 面>

要管理者数(実人数)		28
管理内容の内訳(延人数)	育児環境上の問題	32

ク 3歳児健康診査

3歳児は、大人に近い視聴覚を獲得し、運動が活発になるなど身体的な発達が著しく見られる。精神面では、自分の思いを言葉で話し、友人と交流するなど社会性の発達も見られる。3歳児健診では、疾病や発達の遅れ等の早期発見のため十分な検査を行い、早期治療、早期療育につとめている。また、受診者ほぼ全員に育児相談を行っている。なお、未受診者については、地区担当保健師が家庭訪問等により全対象者の現状把握につとめている。

(ア) 3歳児健診状況

区分 年度		対 象 者	受 診 者	※1 受診結果					発 育 状 況				歯 科 健 診 受 診 者	む し 歯						
				問 題 な し	要 指 導	要 経 過 観 察	要 精 密	要 治 療	肥 満	普 通	や せ	判 定 不 能		な し	あ り	※2 内訳				
																A	B	C	C	
平成 27	実数 (人)	805	800	772	0	10	17	1	40	756	4	0	800	711	89	70	17	1	1	
	率 (%)	—	99.4	96.5	0.0	1.3	2.1	0.1	5.0	94.5	0.5	0.0	100.0	88.9	11.1	78.7	19.1	1.1	1.1	
28	実数 (人)	728	726	694	0	6	26	0	35	689	2	0	726	637	89	66	19	1	3	
	率 (%)	—	99.7	95.6	0.0	0.8	3.6	0.0	4.8	94.9	0.3	0.0	100.0	87.7	12.3	74.2	21.3	1.1	3.4	
29	実数 (人)	685	680	661	1	7	11	0	28	652	0	0	680	629	51	34	13	1	3	
	率 (%)	—	99.3	97.2	0.2	1.0	1.6	0.0	4.1	95.9	0.0	0.0	100.0	92.5	7.5	66.7	25.4	2.0	5.9	
30	実数 (人)	706	706	687	0	5	14	0	20	680	6	0	705	634	71	49	20	1	1	
	率 (%)	—	100.0	97.3	0.0	0.7	2.0	0.0	2.8	96.3	0.9	0.0	99.9	89.9	10.1	69.0	28.2	1.4	1.4	
令和 元	実数 (人)	625	612	603	1	1	7	0	34	575	3	0	609	558	51	44	3	1	3	
	率 (%)	—	97.9	98.5	0.2	0.2	1.1	0.0	5.6	94.0	0.5	0.0	97.9	91.6	8.3	86.2	5.9	2.0	5.9	

※1 受診結果は、医師の診察の結果により区分される。□

※2 内訳はむし歯ありについての構成割合

検 尿 実 施 者	尿 蛋 白			尿 糖			保 育 者				要管理児					健康 相談 を 受 け た 者
	(+)以上	(±)	(－)	(+)以上	(±)	(－)	母	祖 父 母	幼保 育 所 稚 （園 園）	そ の 他	実 人 員	内 訳				
												身 体 面	精 神 面	育 児 面		
655	1	22	632	0	1	654	165	40	592	3	199	97	134	33	800	
81.9	0.2	3.3	96.5	0.0	0.2	99.8	20.6	5.0	74.0	0.4	24.9	－	－	－	100.0	
597	0	30	567	0	0	597	191	33	502	0	179	91	131	29	726	
82.2	0.0	5.0	95.0	0.0	0.0	100.0	26.3	4.6	69.1	0.0	24.7	－	－	－	100.0	
543	2	50	491	0	0	543	144	26	497	13	164	85	131	25	680	
79.9	0.4	9.2	90.4	0.0	0.0	100.0	21.3	3.8	73.1	1.8	24.1	－	－	－	100.0	
552	1	29	522	0	0	552	54	33	516	3	160	84	104	30	706	
78.2	0.1	5.3	94.6	0.0	0.0	100.0	21.8	4.7	73.1	0.4	22.7	－	－	－	100.0	
433	1	37	395	0	0	433	86	9	515	2	160	81	98	46	612	
70.8	0.2	8.6	91.2	0.0	0.0	100.0	14.1	1.5	84.1	0.3	26.1	－	－	－	100.0	

(イ) 要管理者の状況

<身体面>

要管理者数(実人数)		78
管理内容の内訳(延人数)	身体的発達異常	5
	運動機能発達異常	4
	神経系感覚器の異常	2
	視覚障害(疑い含む)	2
	聴覚障害(疑い含む)	59
	内科的疾患・異常	2
		0
		1
		0
	泌尿器系疾患	3
	皮膚疾患	0
	先天異常	1
	形態異常	2
	その他	0

<精神面>

要管理者数(実人数)			80
管理内容の内訳(延人数)	精神発達上の問題	言葉の遅れ	25
		発音不明瞭	0
	情緒行動上の問題	精神発達遅滞(疑い含む)	21
		自閉スペクトラム症(疑い含む)	18
		多動	20
		その他(かんしゃく等)	14

<育児面>

要管理者数(実人数)		43
管理内容の内訳(延人数)	育児環境上の問題	46

ケ 3 歳児精密健康診査

＜身体面＞ 3 歳児健診を受診後、医療機関に診察を委託して行う。

受診者数	受 診										結 果					他施設 紹介件数 (再掲)	
	指 示 区 分			疾 病				異 常 (延 人 数)			健康管理上 要注意の者 (実人数)						
	問題 なし	要指導	要経過 観察	要精密	要治療	神経学的 異常	運動機能 発達遅滞	形態異常	視覚障害	聴覚障害	内科的疾患・異常		皮膚疾患	その他			
7	2	0	2	3	0	0	1	0	3	0	0	0	1	0	0	5	0

＜精神面＞ 3 歳児健診を受診後、保健所療育相談等へ依頼して行う。

受診者数	受 診 区 分			受 診 結 果							健康管理上 要注意の者 (実人数)		
	保健所 (療育相談)	児童相談所	そ の 他	指 示 区 分			疾 病 ・ 異 常 (延 人 数)						
				問題なし	要指導	要経過 観察	要精密	要治療	自閉スペク トラム症	精神発達 遅滞		多動	情緒行動 上の問題
3	3	0	0	0	2	0	1	0	3	0	0	0	3

コ 視聴覚検査

幼児期に見られる眼科的・耳鼻科的な疾患を早期に発見し早期に治療を行うことを目的に、3歳児健康診査で視聴覚検査を実施している。

区 分 年 度		対 象 者	受 診 者	視 覚				聴 覚			
				初回検査結果			再検査 結果	初回検査結果			再検査 結果
				異 常 な し	要 再 検 査	要 精 密 検 査	要 精 密 検 査	異 常 な し	要 再 検 査	要 精 密 検 査	要 精 密 検 査
平成 27	実数（人）	805	800	428	367	5	0	715	84	1	0
	率（％）	—	99.4	53.5	45.9	0.6	0.0	89.4	10.5	0.1	0.0
28	実数（人）	728	726	402	308	16	0	656	68	2	0
	率（％）	—	99.7	55.4	42.4	2.2	0.0	90.3	9.4	0.3	0.0
29	実数（人）	685	680	390	280	10	3	637	42	1	0
	率（％）	—	99.3	57.4	41.2	1.4	0.4	93.7	6.2	0.1	0.0
30	実数（人）	706	706	379	324	3	0	630	75	1	1
	率（％）	—	100.0	53.7	45.9	0.4	0.0	89.3	10.6	0.1	1.3
令和 元	実数（人）	625	612	316	294	2	1	538	73	1	1
	率（％）	—	97.9	51.7	48.0	0.3	0.3	87.9	11.9	0.2	1.4

精密健康診査の結果

<視覚>

受 診 者 数	受 診 結 果										
	指 示 区 分 （ 実 人 数 ）					疾 病 （ 延 人 数 ）					
	問 題 な し	要 指 導	要 経 過 観 察	要 精 密	要 治 療	乱 視	遠 視	近 視	弱 視	斜 視	そ の 他
4	1	0	1	2	0	1	1	0	0	2	1

<聴覚>

受 診 者 数	受 診 結 果									
	指 示 区 分 （ 実 人 数 ）					疾 病 （ 延 人 数 ）				
	問 題 な し	要 指 導	要 経 過 観 察	要 精 密	要 治 療	難 聴	浸 出 性 中 耳 炎	中 耳 炎	小 耳 症	そ の 他
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

サ 幼児管理状況

年度	平成27		28	29	30	令和元
要管理者総数	実人数	1, 117	814	896	909	839
	延人数	1, 287	846	1, 060	1, 520	1, 327
身体面小計 (実人数)		353	219	237	274	252
身体面 (延人数)	先天異常	染色体異常	10	14	14	14
		その他	8	3	7	5
	神経学的異常	てんかん・性疾患	9	12	8	4
		その他	18	6	8	3
	身体的発育異常		72	44	60	73
	運動機能発達遅滞		80	52	74	58
	形態異常		28	26	30	21
	視力障害 (疑い含む)		22	25	22	20
	聴覚障害 (疑い含む)		71	46	34	26
	内科的疾患・異常		70	48	63	56
その他		3	5	11	9	23
精神面小計 (実人数)		710	505	649	614	557
精神面 (延人数)	精神発達上の問題	発達の遅れ	146	270	330	493
		言葉の遅れ	564	243	185	162
		その他	0	1	1	4
	情緒行動上の問題	行動発達上の問題	269	298	312	416
		どもり	9	6	2	4
		その他	0	3	2	4
	精神発達遅滞 (再掲)		51	37	30	33
育児面小計 (実人数)	自閉スペクトラム症 (疑い含む) (再掲)		72	85	68	61
	注意欠如多動性症候群 (疑い含む) (再掲)		23	35	36	45
			201	173	213	194
			201	182	225	255
生活習慣面 (実人数)		23	3	1		

(令和2年3月31日現在)

※ 精神面の発達の遅れについて、自発的な指さしがない等で継続管理になっている児も挙げた。

※ 育児環境上の問題について、母親や家族に精神障害や知的障害、育児不安が強い場合などがあり、育児において支援が必要なケースを挙げた。

シ 療育相談

三条保健所において実施している。はまぐみ小児療育センター、西新潟中央病院の医師が相談にあたっている。

<実施状況>

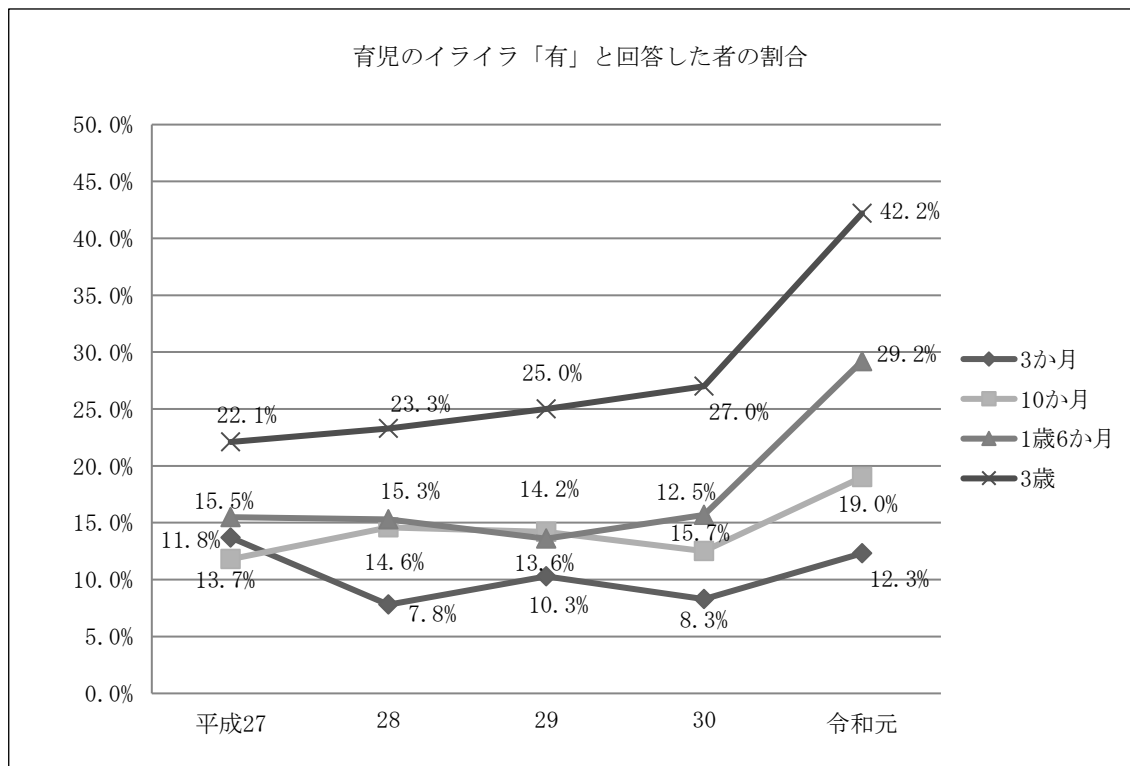
区分 <

相談結果内訳(延)																						
判定区分					診断結果(延)																	
正常	要経過観察	要精密検査	要治療(医療機関紹介)	その他(就学による終了含む)	軽度脳性麻痺	てんかん	低緊張性運動発達遅滞	シヤフリングベビー	レックリングハウゼン氏病	下肢外旋位・外反偏平足	発達性協調運動障害	運動発達の遅れ	低身長	先天性白内障	境界知能・ボーダーライン	発達の遅れ	自閉スペクトラム症(疑い含む)	精神発達遅滞(疑い含む)	注意欠如多動症	言葉の遅れ	多動	場面かん黙
2	11	1	8	28	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	35	12	9	3	3	0
6	12	0	6	22	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	6	21	5	5	1	0	0
2	0	0	4	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	3	2	2	0	0
3	0	0	5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0
1	8	1	7	2	0	0	1	2	0	0	0	5	2	1	0	2	6	1	2	7	1	0

(6) 育児に関するアンケート集計結果

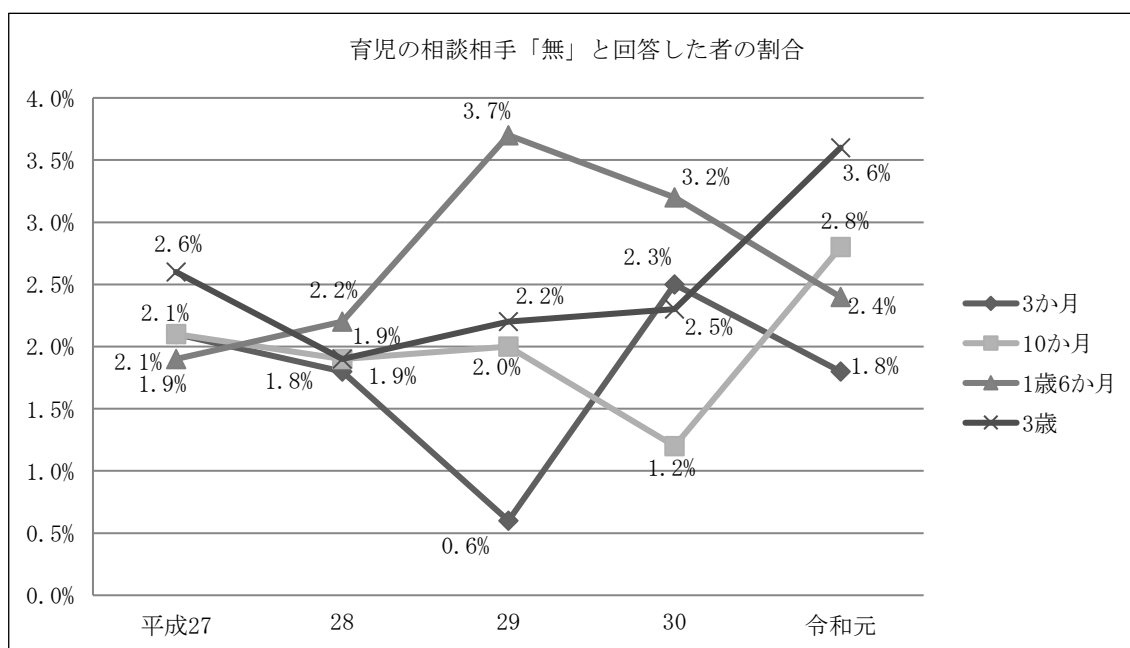
3 か月・1 歳 6 か月・3 歳児の各健診、10 か月児健康相談会時に、養育状況等の確認のため、次の内容のアンケートを実施している。結果をもとに、支援の必要性が高い方に対し、健診・相談会会場や事後に育児相談や継続支援（訪問等）を実施している。

ア 育児のイライラの有無について

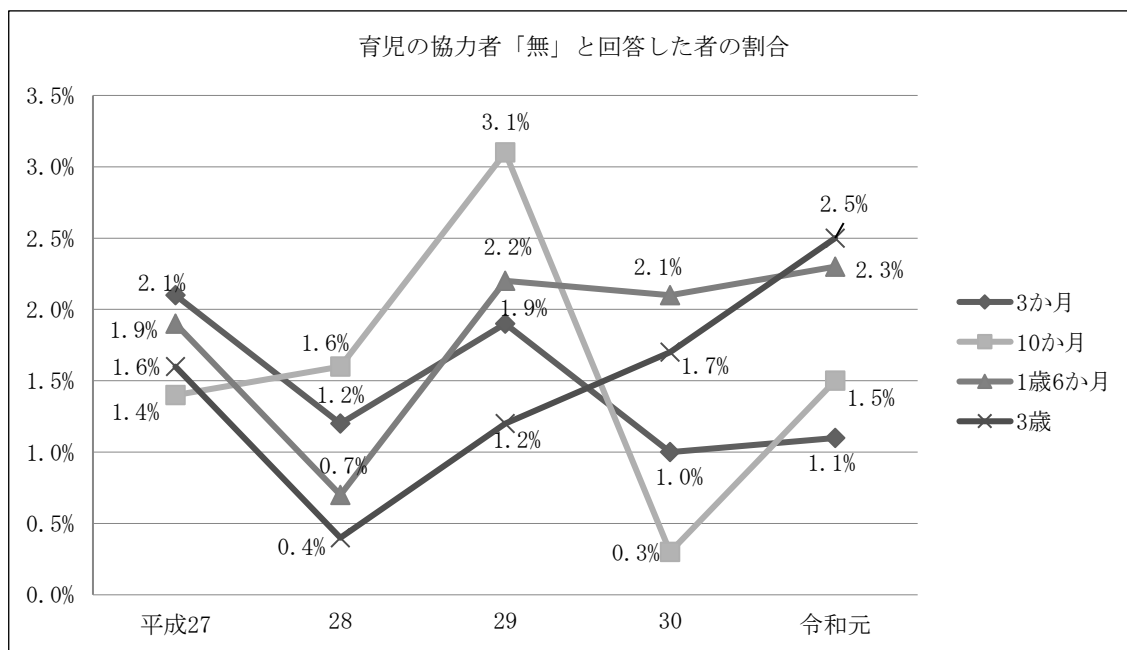


※令和元年度から「どちらでもない」の回答を削除したため、「有」と回答した者の割合が高くなっている。

イ 育児の相談相手の有無について



ウ 育児の協力者の有無について



3 歯科保健事業

歯と口の中の健康状態は、全身の健康に影響を与えるものであり、歯と口の中が健康であることは、食事や会話を楽しむなど、豊かで幸せな生活を送る基となるものである。平成20年7月に全国初の新潟県歯科保健推進条例の施行、平成23年8月に歯科口腔保健の推進に関する法律の施行という国、県の動向を踏まえ、市では、歯科疾患の予防とともに口腔機能に着目し、市民一人一人の生活の質を重視した「幸せを噛みしめる三条市歯科口腔保健計画」を平成25年3月に策定し、生涯にわたる総合的な歯科口腔保健の推進を図ってきた。

その結果、子どもの一人当たり平均むし歯本数の減少、80歳で20本以上自分の歯を持っている者の増加などが見られた一方で、妊婦を始めとする成人期、高齢期の歯科検（健）診の受診率は低く、受診者のうち、要指導・要精密検査・要治療の者の割合が高い状況が見られ、また、近年では、歯と口腔の健康を維持向上させることは、生活習慣病予防などの全身の健康につながるだけでなく、歯と口腔機能の衰え（オーラルフレイル）を予防することにより、介護予防や心の健康、他者との関わりといった社会参加を維持向上するためにも重要と言われている。

これらを踏まえ、本市では市民が生涯にわたって健康で豊かな生活を営むために、むし歯や歯周病を予防するだけでなく、生活習慣病など疾病の予防や介護予防のためにもオーラルフレイルを意識し、ライフステージごとの課題や方向性を明確にするため、平成31年3月に歯科口腔保健計画を改訂した。

妊娠期については、平成25年度より妊婦歯科健診を実施しており、歯科講話、歯科健診、ブラッシング指導を行い、マイナス1歳から始める歯と口の健康づくりに取り組んでいる。

幼児については、1歳6か月、2歳、2歳6か月、3歳児の歯科健診と歯科保健指導を実施しており、平成17年5月から、健診時に希望者に対してフッ化物歯面塗布を実施している。また、乳児期の健診・相談会で歯と口の健康を保つための保健指導を行い、乳歯のむし歯予防に努めている。さらに、永久歯のむし歯予防を推進するため、令和元年度から保育所等において永久歯が生え始める4歳（年中）児、5歳（年長）児を対象にフッ化物洗口を実施している。

成人及び高齢者については、当該年度末現在で20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の方を対象（健康増進事業）に、歯科医療機関において歯周病検診を実施している。平成27年度から76歳、80歳の方を対象に後期高齢者歯科健診を実施している。さらに、歯科保健サービスを受けることが困難な在宅の要介護者や障がい児・者等に対しては、在宅要介護者等歯科保健推進事業等を行うなど、一生自分の歯で食べるための歯と口腔の健康づくりを推進している。

1人当たりむし歯数の推移

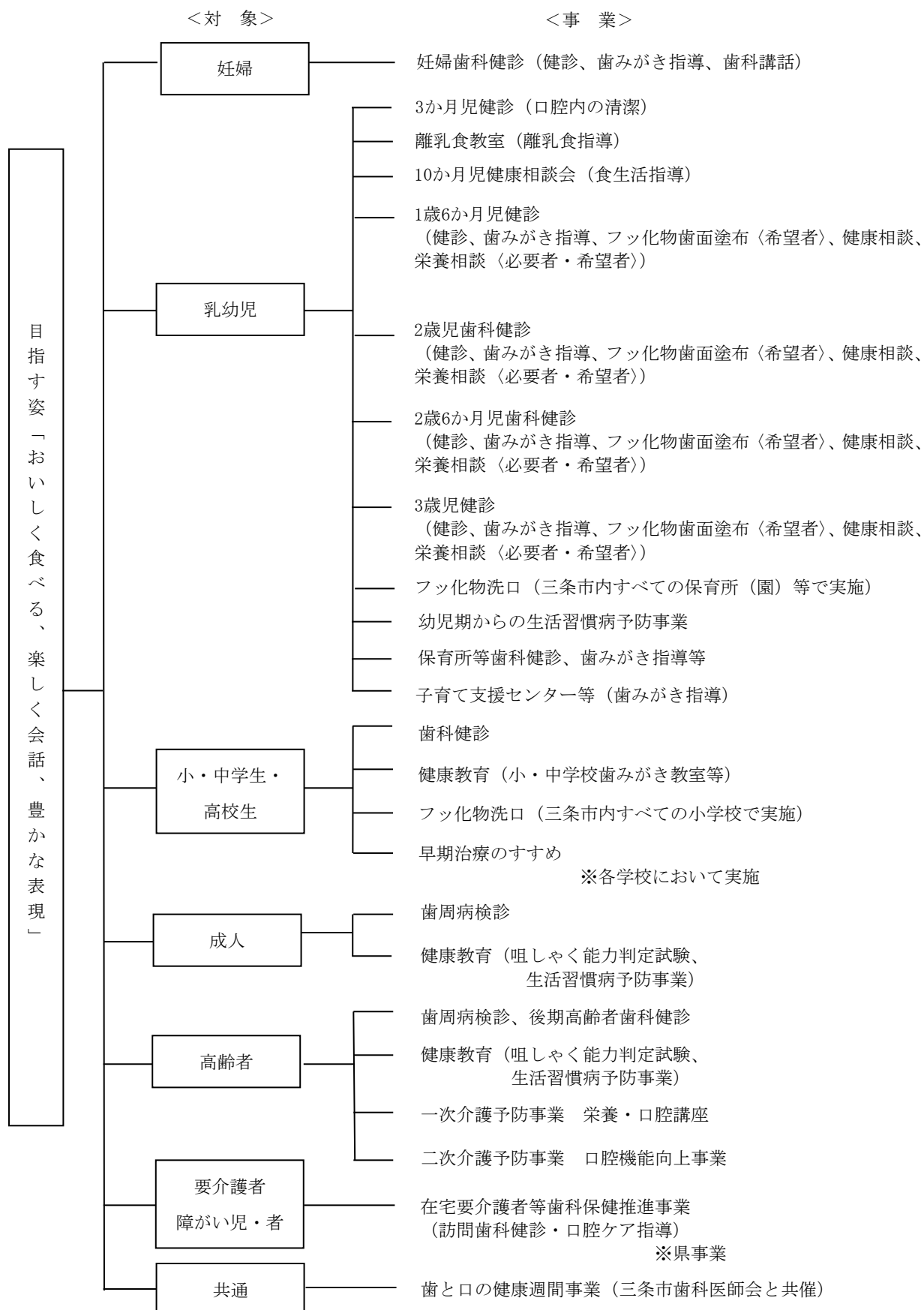
年度	1歳6か月児		2歳児		2歳6か月児		3歳児		5歳児		12歳児	
	県	三条市	県	三条市	県	三条市	県	三条市	県	三条市	県	三条市
平成27	0.04	0.06	0.11	0.06	0.18	0.14	0.41	0.34	1.47	1.39	0.46	0.49
28	0.03	0.01	0.07	0.06	0.16	0.15	0.42	0.37	1.36	1.20	0.44	0.61
29	0.02	0.02	0.07	0.05	0.13	0.14	0.34	0.28	1.31	1.24	0.39	0.42
30	0.02	0.06	0.07	0.06	0.11	0.09	0.30	0.32	1.21	0.97	0.34	0.37
令和元		0.03		0.02		0.08		0.22	1.13	1.19	0.33	0.32

資料：小児の歯科疾患の現状と歯科保健対策 令和元年度版（新潟県福祉保健部、新潟県教育委員会）

なお、令和元年度の1歳6か月児、2歳児、2歳6か月児、3歳児の県の統計は出ていない。（令和2年7月末現在）

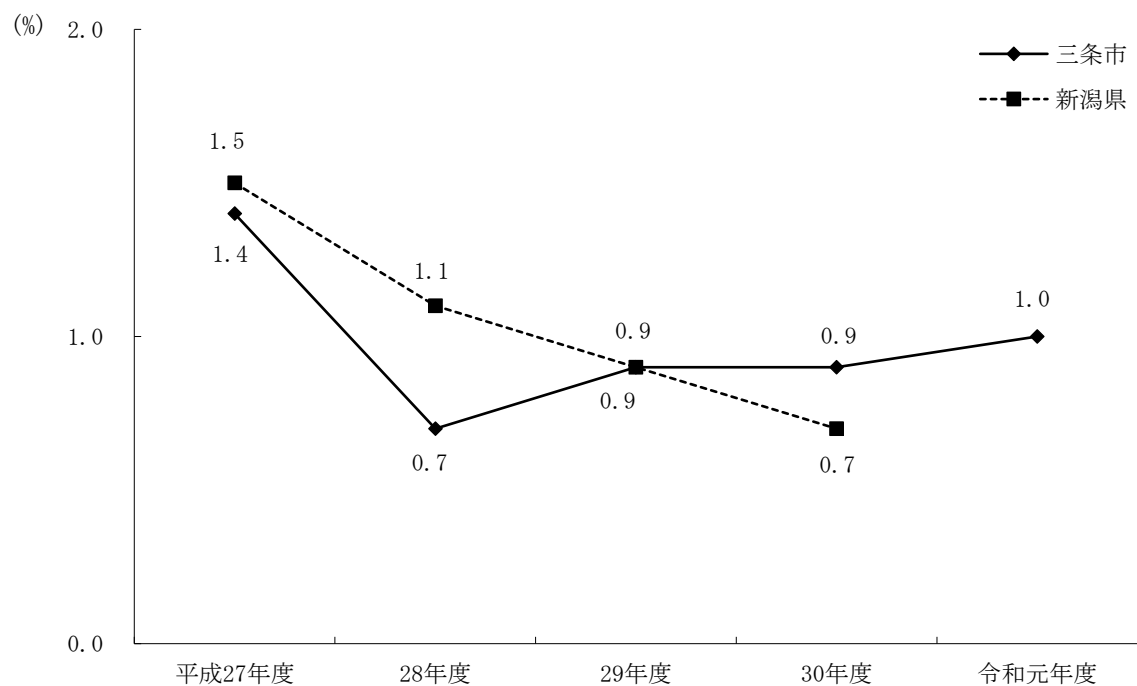
(1) 歯科保健活動体系

生涯にわたる歯科口腔保健を推進するため、①歯科疾患の予防、②生活の質向上、③健康意識と生活習慣の改善、④歯科受診と体制整備を基本目標とし、対象別に必要な歯科口腔保健対策を実施している。



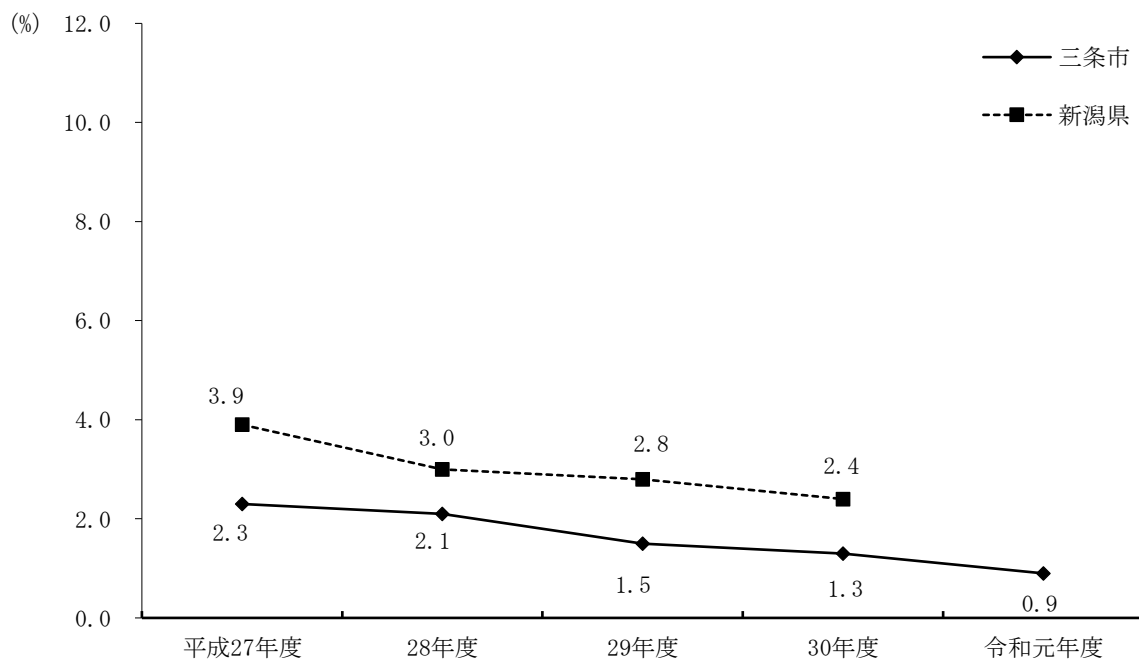
(2) むし歯有病者率

ア 1歳6か月児むし歯有病者率



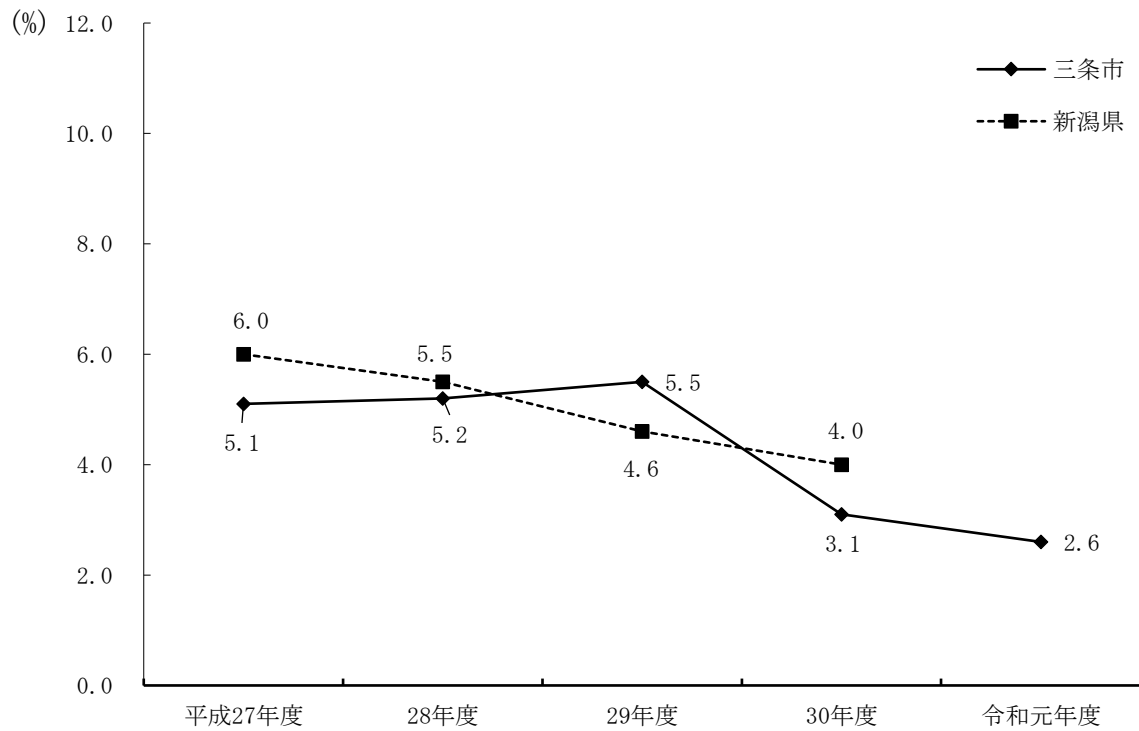
※ 県の統計は平成30年度（令和2年3月末現在）

イ 2歳児むし歯有病者率



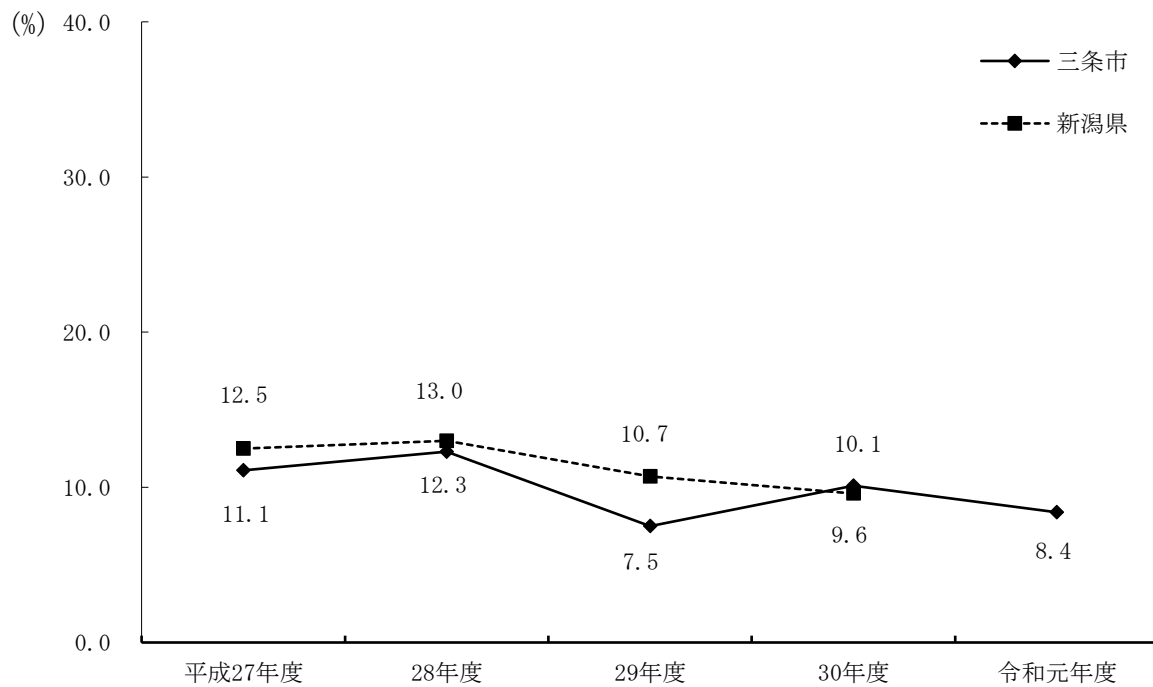
※ 県の統計は平成30年度（令和2年3月末現在）

ウ 2歳6か月児むし歯有病者率



※ 県の統計は平成30年度（令和2年3月末現在）

エ 3歳児むし歯有病者率



※ 県の統計は平成30年度（令和2年3月末現在）

(3) 歯科保健活動状況

ア 幼児歯科健診状況

	1歳6か月児 健診	2歳児 歯科健診	2歳6か月児 歯科健診	3歳児 健診
歯科健診対象者数	580	596	600	625
歯科健診受診者数	575	580	585	609
受診率	99.1	97.3	97.5	97.4
むし歯有病者数	6	5	15	51
むし歯有病者率	1.0	0.9	2.6	8.4
フッ化物歯面塗布実施者数	554	571	569	595
フッ化物歯面塗布実施率	96.3	98.4	97.3	97.7
歯みがき指導者数	575	580	585	609
歯みがき指導参加率	100.0	100.0	100.0	100.0

イ フッ化物洗口推進事業

対象児童	実施方法	実施施設数	実施児童数	実施率
公立保育所、私立保育園、私立認定こども園、私立幼稚園に通所（園）する4歳（年中）児、5歳（年長）児	週5回法、オラブリス（0.055%）7mlで1分間のブクブクうがい希望者に実施	31	1,357	97.3

ウ 歯と口の健康週間事業

三条市歯科医師会との共催で、6月4日～10日の歯と口の健康週間（平成25年度より歯の衛生週間から名称変更）に、歯科健診・歯科相談、フッ化物歯面塗布体験、歯科口腔保健に関する啓発等を実施している。

年 度	実 施 回 数	参 加 者 数	備 考
平成 27	1	324	希望者に対応
28	1	257	
29	1	254	
30	1	231	
令和元	1	231	

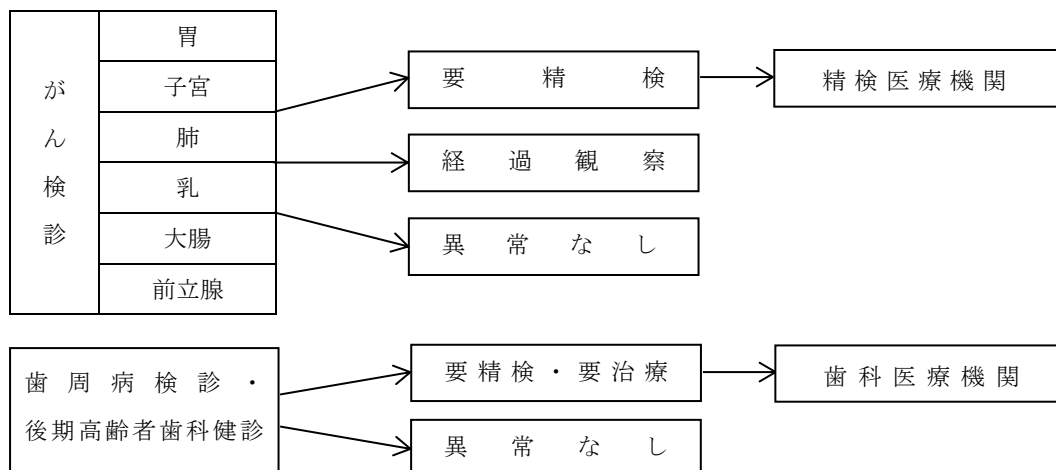
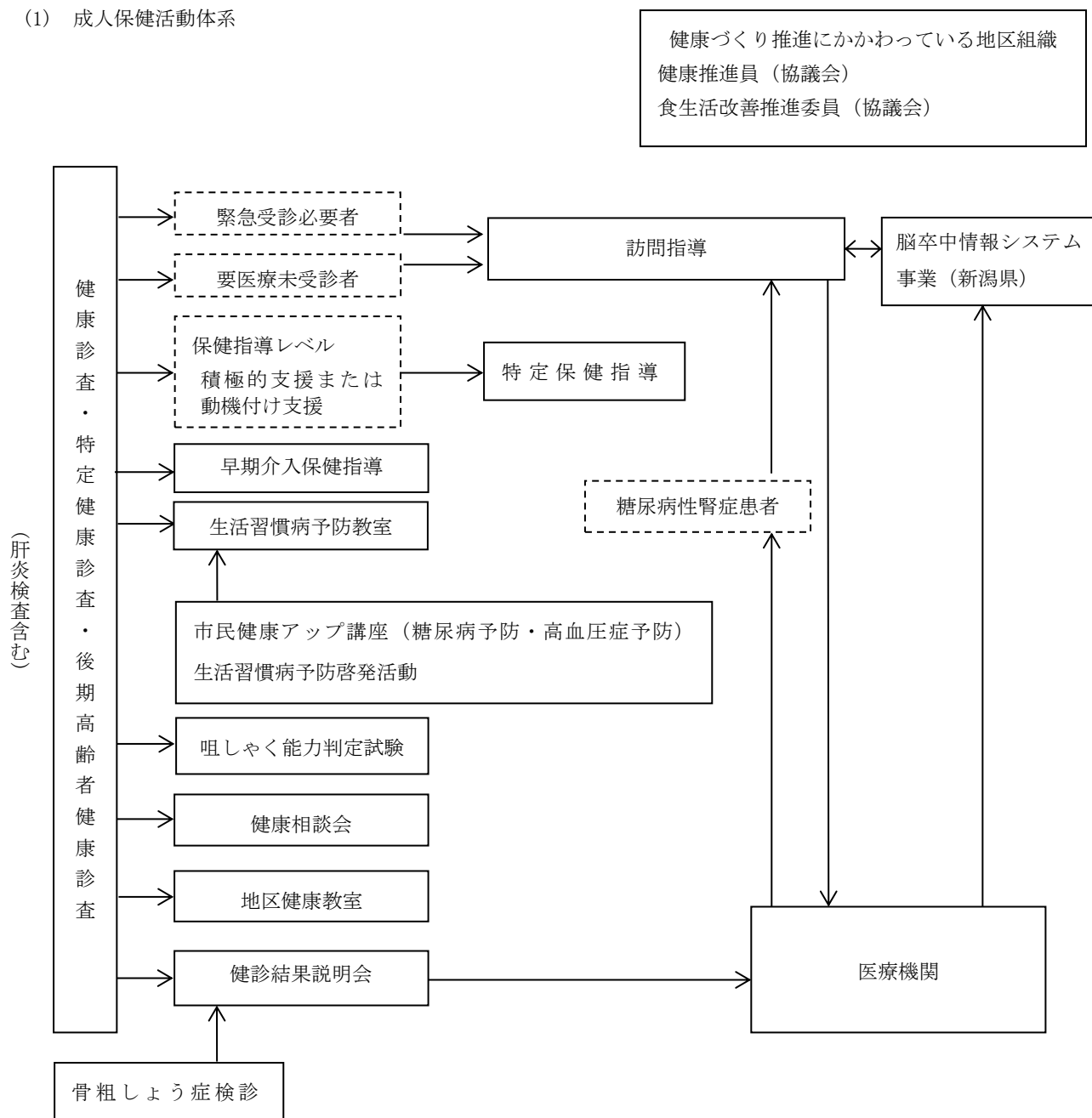
エ 在宅要介護者等歯科保健推進事業（県事業）

在宅の要介護者や心身障がい者（児）で、通院が困難な方の自宅へ歯科医師、歯科衛生士が訪問し、歯科健診、歯や口の中に関する相談、口腔ケア指導などを行っている。

年 度	申 込 者 数	受 診 者 数
平成 27	14	13
28	9	6
29	15	15
30	5	5
令和元	0	0

4 成人保健事業

(1) 成人保健活動体系



ア 各種健康診査・がん検診等

健(検)診名	対 象 者	内 容	回(日)数
健 康 診 査	19～39歳の市民 (集団健診) ※職場・人間ドック等での受診者を除く	①尿検査(糖・蛋白・潜血) ②身体計測(身長・体重・BMI) ③腹囲測定 ④問診 ⑤血圧測定 ⑥理学的検査・判定 ⑦血液検査 (脂質・肝機能・血糖・腎機能) ⑧貧血検査 ⑨心電図検査 ⑩眼底検査 ※①～⑧は全員、⑨、⑩は医師の判断に基づき実施	集団35日間
特 定 健 康 診 査	40～74歳の三条市国民健康保険加入者 (集団健診・個別健診) ※40～64歳の方は集団健診のみ、65歳以上の方は、集団健診・個別健診(医療機関)のどちらかで受診 ※人間ドック等での受診者を除く	①尿検査(糖・蛋白・潜血) ②身体計測(身長・体重・BMI) ③腹囲測定 ④問診 ⑤血圧測定 ⑥理学的検査・判定 ⑦血液検査 (脂質・肝機能・血糖・腎機能) ⑧貧血検査 ⑨心電図検査 ⑩眼底検査 ※①～⑧は全員、⑨、⑩は医師の判断に基づき実施	集団35日間 個別6～12月 人間ドック4～3月
後 期 高 齢 者 健 康 診 査	後期高齢者医療保険加入の市民 (集団健診・個別健診) ※職場等での受診者を除く	①尿検査(糖・蛋白・潜血) ②身体計測(身長・体重・BMI) ③腹囲測定 ④問診 ⑤血圧測定 ⑥理学的検査・判定 ⑦血液検査 (脂質・肝機能・血糖・腎機能) ⑧貧血検査 ⑨心電図検査 ⑩眼底検査 ※①、②及び④～⑧は全員、③、⑨、⑩は医師の判定等に基づき実施	集団35日間 個別6～12月
胃 が ん 検 診	30歳以上の市民 (職場・人間ドック等での受診者を除く)	①問診 ②胃部X線間接撮影	集団57日間
子 宮 が ん 検 診	20歳以上の女性 (2年に1回、職場・人間ドック等での受診者を除く)	①問診 ②視(内)診 ③頸部細胞診 ④体部細胞診 ※①～③は全員、④は医師が必要と認めた方	施設7～12月
肺 が ん 検 診	40歳以上の市民 (職場・人間ドック等での受診者を除く)	①問診 ②胸部X線間接撮影 ③喀痰細胞診 ※①、②は全員、③は必要な方	集団35日間

健(検)診名	対 象 者	内 容	回(日)数
乳 が ん 検 診	40歳以上の女性 (2年に1回、職場・人間ドック等での受診者を除く)	①問診 ②マンモグラフィ(乳房X線撮影) ※②は40～49歳の方は2方向撮影、 50歳以上の方は1方向撮影	集団19日間
大 腸 が ん 検 診	30歳以上の市民 (職場・人間ドック等での受診者を除く)	①問診 ②便潜血検査(採便回数2日法)	集団62日間
骨 粗 し ょ う 症 検 診	今年度40・45・50・55・60・65・70歳の女性	①問診 ②骨量検査	集団5日間
肝 炎 ウ イ ル ス 検 診	《節目検診》 特定健康診査等受診者のうち40歳の市民 《節目外検診》 特定健康診査等受診者のうち41～70歳の市民で過去に肝炎ウイルス検診を受診されてない方	①問診 ②血液検査(C型肝炎ウイルス検査・B型肝炎ウイルス検査)	集団35日間 個別6～12月
前立腺がん検診	特定健康診査等受診者のうち50～69歳の男性 (原則3年に1回)	①問診 ②血液検査(前立腺特異抗原検査)	集団35日間 個別6～12月
歯 周 病 検 診	今年度20・30・40・50・60・70歳の市民	①問診 ②口腔内診査	個別7～11月
後 期 高 齢 者 歯 科 健 診	今年度76歳・80歳の市民	①問診 ②口腔内診査 ③咀嚼、嚥下、口腔乾燥の状況	個別7～11月
が ん 検 診 業 推 進 事	《子宮頸がん検診》 平成30度20歳の女性 《乳がん検診》 平成30度40歳の女性	子宮がん・乳がん検診と同様	子宮頸がん検診 施設7～12月 乳がん検診 集団26日間
セ ッ ト 健 診	40歳～74歳の国保加入者 (職場、人間ドック等での受診者を除く)又は国保以外の医療保険加入の被扶養者等で、市の特定健康診査及び実施する全てのがん検診を受診する人	①特定健康診査 ②肺がん検診 ③胃がん健診(午前のみ) ④大腸がん検診 ⑤乳がん検診(女性のみ) ⑥前立腺がん検診 ⑦肝炎ウイルス健診	集団7日間 (午前のみ7日間)

イ 健康教育

生活習慣病の予防、健康増進等健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高め、壮年期からの健康の保持増進に資することを目的とする。

事業名	対象者	ねらい	内容	実施時期・回数
市民健康アップ講座 (糖尿病予防編)	市民	自身の健康状態について正しく理解し、糖尿病予防と健康管理に対する関心を高める。	医師講話、栄養講話、運動講話	2回 6～10月
市民健康アップ講座 (高血圧症予防編)	市民	自身の健康状態について正しく理解し、高血圧予防と健康管理に対する関心を高める。	医師講話、栄養講話、運動講話	1回 11月
生活習慣病予防啓発活動	市民	脳血管疾患とその要因となる高血圧症について疾病の理解と生活改善に関する知識の普及啓発を図る。 また高校生から喫煙予防及び将来にわたる健康づくりのため、たばこに対する正しい知識の普及啓発を図る。	模型の展示・ポスター等の掲示、SATシステムによる食事指導、呼気中一酸化炭素濃度測定等	2回 8～10月
	市内事業所の健診受診者			2回 10月
	市内高校（1校）にて喫煙防止教育			2回 11月
生活習慣病予防教室	市民	生活習慣病予防のために、自身の改善すべき生活習慣に気づき、その改善に向け行動変容ができる。	栄養指導、運動指導、個別相談、生活指導	4回 6～2月
	市内事業所従業員		栄養指導	1回 10月
咀嚼能力判定試験	健康診査及び特定健康診査の受診者	歯周疾患の予防と口腔内の健康を向上することによる生活習慣病の予防への関心を高める。	咀嚼能力判定ガムによる咀嚼能力の評価、歯科衛生指導	5回 6～7月
地区健康教育	市民	生活習慣病の予防に関する正しい知識の普及を図るとともに健康管理に対する関心を高める。	生活指導、栄養指導等	21回 通年

ウ 健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。

事業名	対象者	ねらい	内容	実施時期・回数
健診結果説明会	特定健診・健康診査の受診者及び骨粗しょう症検診受診者	健診結果を理解し、生活習慣病予防のための生活改善や重症化予防のための医療機関受診ができる	健康相談、栄養相談	38回 7～2月
心と身体に関する健康相談	市民	こころや身体の健康、栄養に関する相談により、自身の健康づくりに役立てる	健康相談、栄養相談	73回 4～3月

エ 訪問指導

生活習慣病の予防、療養上の保健指導が必要な者及びその家族等に対し、保健師等が訪問し必要な指導を行い、心身機能の低下防止と健康の保持増進を図ることを目的に実施している。

事業名	対象者	内容
訪問指導事業	・おおむね40歳以上の者で保健指導の必要な者、寝たきり予防、家族の介護をしている者のなかで健康管理が必要な者等 ・健康診査及び特定健康診査の受診者のうち、生活習慣病が強く疑われるにもかかわらず、健診後未受診の者等 ・糖尿病性腎症治療中の者で、生活習慣等の問題により悪化の疑いのある者	生活習慣病予防指導 療養指導 家族への支援 受診勧奨及び受診確認

オ 早期介入保健指導

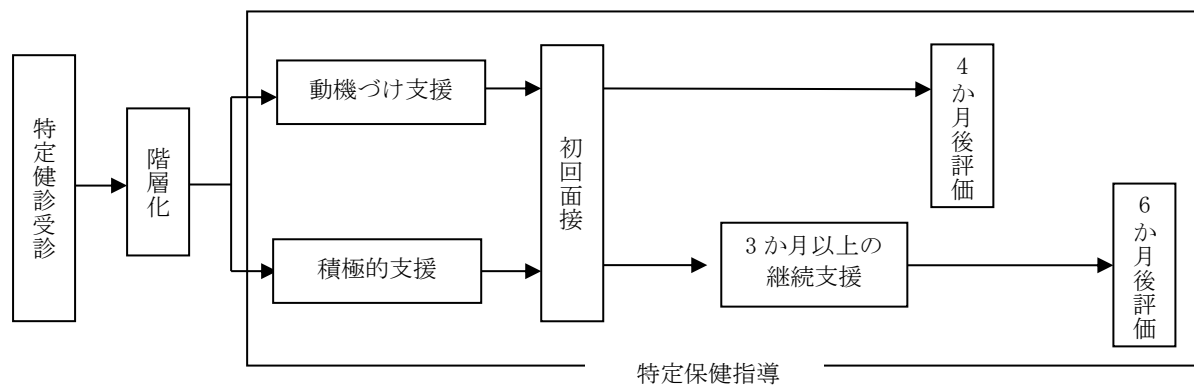
事業名	対象者	ねらい	内容	実施時期・回数
早期介入保健指導	19～40歳代で健康診査・特定健康診査の結果、BMI、腹囲が基準値以上または血圧値が保健指導判定値以上の者	若い年代へ早い段階から生活習慣病予防のため、健診受診の継続や生活改善の意識を高める	健康相談	42回 6月～10月

カ 特定保健指導

「三条市国民健康保険特定健康診査等実施計画」に基づき、特定健康診査の結果、生活習慣病予防の観点から健康の保持に努める必要がある者に対し、特定保健指導を実施している。

特定健康診査後の階層化の結果、保健指導レベルが「積極的支援」「動機づけ支援」と判定された人を対象とし、動機づけ支援は4か月以上、積極的支援は6か月以上の保健指導を実施している。

(ア) 特定保健指導の流れ



(2) 成人保健事業の実績

ア 健康診査（健康診査・がん検診・歯周病検診等）

(ア) 健康診査等

a 健康診査実施状況（39歳以下・医療保険未加入者等）

区分 年度		対象者数	受診者数	受診率 (%)	総合判定			判定区分							
								循環器系				血中脂質			
					異常認めず	保健指導	受診勧奨	収縮期血圧	拡張期血圧	心電図検査	眼底検査	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	総コレステロール
平成27		4,034	801	18.6	320	240	241	56	37	1	1	110	19	195	190
28		3,947	733	18.6	257	266	210	78	42	2	0	113	21	187	173
29		3,786	706	18.6	220	298	188	74	50	1	0	136	16	188	181
30		3,462	642	18.5	220	186	236	61	40	13	3	110	36	155	129
令和元		3,370	630	18.7	170	239	221	77	50	15	4	122	30	176	105
男	40歳未満	1,330	164	12.3	24	72	68	38	21	5	0	62	21	59	42
	40～44歳	8	1	12.5	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0
	45～49歳	20	2	10.0	0	0	2	0	0	0	0	2	1	0	0
	50～54歳	23	4	17.4	1	1	2	1	0	0	0	1	0	1	1
	55～59歳	24	5	20.8	0	0	5	4	3	1	0	1	1	1	3
	60～64歳	37	6	16.2	0	2	4	0	0	0	0	1	1	0	0
	65～69歳	34	4	11.8	1	0	3	1	0	0	1	0	0	2	0
	70～74歳	38	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	75～79歳	17	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上	17	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	1,548	186	12.0	26	75	85	45	25	6	1	68	25	64	46
女	40歳未満	1,592	419	26.3	143	157	119	22	21	6	0	43	5	97	50
	40～44歳	19	4	21.1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	45～49歳	22	2	9.1	0	0	2	2	1	0	0	0	0	1	0
	50～54歳	10	1	10.0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0
	55～59歳	15	2	13.3	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1
	60～64歳	18	2	11.1	0	0	2	1	0	1	1	2	0	2	2
	65～69歳	31	4	12.9	0	0	4	2	2	1	1	3	0	4	3
	70～74歳	33	6	18.2	0	2	4	3	1	1	1	3	0	4	3
	75～79歳	31	1	3.2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	80歳以上	51	3	5.9	0	2	1	1	0	0	0	1	0	1	0
	小 計	1,822	444	24.4	144	164	136	32	25	9	3	54	5	112	59

(単位：人)

(総合判定において保健指導及び受診勧奨)												服薬（血圧）	服薬（血糖）	服薬（脂質）	喫煙	（メタボ該当・予備群） 基準該当・予備群
肝機能			貧血		腎・尿路系			糖代謝								
A S T （G O T）	A L T （G P T）	γ - G T （γ - G T P）	血色素量	ヘマトクリット値	尿蛋白	尿潜血	血清クレアチニン	空腹時血糖	随時血糖	ヘモグロビンA 1 c	尿糖					
51	77	55	171	110	6	37	3	1	21	148	3	14	5	4	112	70
41	71	41	133	86	6	42	1	4	12	199	5	12	6	5	116	69
49	79	48	119	74	6	37	3	5	16	225	6	15	8	11	107	73
28	68	52	96	89	6	23	4	9	22	119	11	22	8	11	104	71
46	79	54	96	75	4	26	3	4	23	172	8	16	11	11	94	77
27	55	33	4	4	1	5	0	0	5	38	2	2	2	1	50	42
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
0	1	0	1	1	1	0	1	0	1	2	0	1	1	1	0	2
1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	3
1	2	2	0	0	0	0	0	1	1	4	1	2	2	3	2	3
1	1	3	3	3	0	0	0	0	1	2	1	3	2	1	1	2
1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	4	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	61	42	8	8	2	5	1	1	9	47	5	10	8	8	59	53
12	17	9	83	64	2	15	1	3	8	107	1	1	2	0	31	16
0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	1
0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0
0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1
0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0
0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0
2	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	3
1	1	0	0	0	0	2	0	0	1	6	1	2	0	1	0	2
0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
15	18	12	88	67	2	21	2	3	14	125	3	6	3	3	35	24

ｂ 特定健康診査実施状況（三条市国保）

区分 年度		対象者数	受診者数	受診率（％）	総合判定			判定区分							
								循環器系				血中脂質			
					異常認めず	保健指導	受診勧奨	収縮期血圧	拡張期血圧	心電図検査	眼底検査	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	総コレステロール
平成27	17,658	7,677	43.5	455	2,851	4,371	2,797	1,381	111	28	2,122	351	3,650	2,601	
28	16,825	7,554	44.9	363	2,866	4,325	2,962	1,166	115	31	2,100	393	3,481	2,630	
29	16,255	7,399	45.5	358	2,782	4,259	3,050	1,236	140	30	2,047	320	3,495	2,598	
30	16,255	7,128	43.9	303	2,301	4,524	3,090	1,305	829	180	1,972	313	3,197	2,386	
令和元	15,604	7,078	45.4	246	2,261	4,571	2,910	1,245	804	124	1,888	350	3,454	2,547	
男	40～44歳	457	120	26.3	15	42	63	29	28	4	0	37	9	58	34
	45～49歳	513	132	25.7	7	42	83	38	35	6	0	40	18	75	48
	50～54歳	566	165	29.2	8	57	100	50	38	11	0	62	17	82	54
	55～59歳	581	187	32.2	2	50	135	77	55	31	0	72	20	97	66
	60～64歳	979	389	39.7	18	113	258	166	116	45	3	139	25	172	121
	65～69歳	2,146	1,032	48.1	17	285	730	503	239	161	8	338	67	449	303
	70～74歳	2,610	1,381	52.9	27	373	981	681	233	223	51	383	132	523	357
	小 計	7,852	3,406	43.4	94	962	2,350	1,544	744	481	62	1,071	288	1,456	983
女	40～44歳	361	98	27.1	26	35	37	7	6	8	0	10	3	36	17
	45～49歳	447	143	32.0	23	50	70	26	24	3	0	15	3	54	36
	50～54歳	407	141	34.6	10	54	77	29	21	5	0	27	0	69	61
	55～59歳	565	247	43.7	14	96	137	57	39	12	1	51	5	163	125
	60～64歳	1,046	477	45.6	12	186	279	160	73	42	4	95	9	291	231
	65～69歳	2,299	1,193	51.9	38	411	744	459	159	105	8	268	11	690	542
	70～74歳	2,627	1,373	52.3	29	467	877	628	179	148	49	351	31	695	552
	小 計	7,752	3,672	47.4	152	1,299	2,221	1,366	501	323	62	817	62	1,998	1,564

【国への法定報告確定値】

※年度当初から年度末までの間、国保資格の異動がない人のみが対象

区分 年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (％)
平成27	16,477	7,205	43.7
28	15,730	6,930	44.1
29	15,185	6,746	44.4
30	14,611	6,323	43.3
令和元	14,414	6,852	45.7

(単位：人)

(総合判定において保健指導及び受診勧奨)												服薬 (血圧)	服薬 (血糖)	服薬 (脂質)	喫煙	(基準該当・予備群) メタボ該当
肝機能			貧血		腎・尿路系			糖代謝								
A S T (G O T)	A L T (G P T)	γ-G T (γ-G T P)	血色素量	ヘマトクリット値	尿蛋白	尿潜血	血清クレアチニン	空腹時血糖	随時血糖	ヘモグロビンA1c	尿糖					
1,038	978	1,185	1,093	807	201	1,005	147	908	536	4,855	283	2,400	460	1,590	1,080	1,862
996	958	1,229	941	709	222	1,051	131	1,016	523	5,389	304	2,467	508	1,653	1,055	1,833
888	889	1,117	907	666	222	1,037	120	994	521	5,328	299	2,426	529	1,680	986	1,948
877	891	1,066	784	712	225	843	124	1,028	536	4,596	310	2,344	568	1,597	1,000	1,972
884	930	1,045	730	642	206	960	127	1,132	550	5,149	347	2,377	594	1,659	976	2,030
19	37	32	1	3	3	4	1	10	3	46	3	4	2	3	43	32
26	45	43	3	4	2	5	0	17	6	70	6	10	5	10	40	51
30	40	40	5	6	7	7	3	24	8	91	5	25	8	13	53	65
31	52	62	7	8	8	12	4	31	20	123	13	42	21	25	52	90
70	88	105	24	28	12	22	6	89	34	279	32	135	43	68	112	174
195	211	270	94	93	48	100	30	251	98	790	87	449	126	230	252	458
228	200	264	178	178	74	126	61	306	155	1,038	117	663	202	331	233	617
599	673	816	312	320	154	276	105	728	324	2,437	263	1,328	407	680	785	1,487
2	3	4	20	17	2	7	0	2	1	27	0	0	0	1	13	5
4	6	11	25	19	2	15	0	12	4	59	2	13	1	3	29	7
8	15	12	14	13	3	22	2	6	4	85	2	12	2	12	13	13
19	22	22	17	13	2	31	0	25	11	167	3	36	7	28	14	38
42	40	35	34	30	3	82	3	51	19	355	3	105	19	111	36	65
94	89	80	131	99	18	219	6	162	75	922	30	344	66	348	48	175
116	82	65	177	131	22	308	11	146	112	1,097	44	539	92	476	38	240
285	257	229	418	322	52	684	22	404	226	2,712	84	1,049	187	979	191	543

c 後期高齢者健康診査実施状況

区分 年度		対象者数	受診者数	受診率(%)	総合判定			判定区分							
								循環器系				血中脂質			
					異常認めず	保健指導	受診勧奨	収縮期血圧	拡張期血圧	心電図検査	眼底検査	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	総コレステロール
平成27		14,053	1,703	12.1	68	531	1,104	850	179	45	0	431	136	571	447
28		15,450	1,882	12.2	52	615	1,215	997	122	44	0	477	141	620	497
29		15,776	1,930	12.2	55	644	1,231	1,030	168	47	0	516	130	645	533
30		16,005	2,034	12.7	36	572	1,426	1,051	146	104	11	521	128	686	351
令和元	計	16,289	2,179	13.4	39	585	1,555	1,070	169	128	0	623	158	792	592
	65～69歳	156	23	14.7	1	9	13	9	4	0	0	7	1	6	6
	70～74歳	143	28	19.6	0	11	17	12	6	0	0	7	3	11	9
	75～79歳	5,763	1,108	19.2	21	310	777	534	93	47	0	344	76	424	295
	80歳以上	10,227	1,020	10.0	17	255	748	515	66	81	0	265	78	351	282

(単位：人)

(総合判定において保健指導及び受診勧奨)																	
肝機能			貧血		腎・尿路系			糖代謝									
A S T (G O T)	A L T (G P T)	γ - G T (γ - G T P)	血 色 素 量	ヘ マ ト ク リ ツ ト 値	尿 蛋 白	尿 潜 血	血 清 ク レ ア チ ニ ン	空 腹 時 血 糖	随 時 血 糖	ヘ モ グ ロ ビ ン A 1 c	尿 糖						
275	109	126	600	473	69	325	86	32	185	1,037	106	883	111	453	70	202	
272	114	150	627	479	82	366	71	40	223	1,309	116	991	169	535	71	208	
246	121	157	621	481	102	401	93	23	244	1,361	111	992	160	542	87	210	
239	126	147	616	523	92	350	101	38	267	1,299	125	1,036	171	567	93	220	
284	143	172	675	562	104	439	125	36	309	1,578	119	1,125	196	641	95	192	
4	4	5	9	5	1	1	0	0	2	17	3	11	4	11	0	0	
5	5	7	7	4	4	4	2	0	3	23	3	13	3	8	0	2	
141	81	101	277	242	37	228	56	20	163	814	62	546	97	327	66	87	
134	53	59	382	311	62	206	67	16	141	724	51	555	92	295	29	103	

(イ) 肝炎ウイルス検診

肝炎対策の一環として、肝炎ウイルス検診に関する正しい知識を普及させるとともに、肝炎ウイルス検診の受診促進を図り、もって住民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を確認し、必要に応じて保健指導を受け、医療機関を受診することにより、肝炎による健康障害の回避、症状の軽減、又は進行の遅延を図る。

<対象者>

節目検診………特定健康診査等受診者のうち、40歳の者

節目外検診………41歳から70歳の者で、過去に肝炎ウイルス検診を受診したことがない者

〔節目検診〕

(単位：人)

区分 年度		対 象 者	受 診 者	C型肝炎ウイルス検査					B型肝炎 ウイルス検査	
				陽性1	陽性2	陰性3	陰性4	陰性5	陽性	陰性
平成27		—	16	0	0	0	16	0	0	16
28		—	10	0	0	0	10	0	0	10
29		—	10	0	0	0	10	0	0	10
30		—	14	0	0	0	14	0	0	14
令和元	計	—	10	0	0	0	10	0	0	10
	男 40歳	—	4	0	0	0	4	0	0	4
	女 40歳	—	6	0	0	0	6	0	0	6

〔節目外検診〕

(単位：人)

区分 年度		対 象 者	受 診 者	C型肝炎ウイルス検査					B型肝炎 ウイルス検査	
				陽性1	陽性2	陰性3	陰性4	陰性5	陽性	陰性
平成27		—	304	1	0	0	298	5	2	302
28		—	290	0	0	0	290	0	3	287
29		—	274	0	0	0	274	0	1	273
30		—	309	0	0	0	306	3	2	307
令和元	計	—	320	0	0	0	320	0	3	317
	男	41～44歳	—	6	0	0	6	0	0	6
		45～49歳	—	9	0	0	9	0	1	8
		50～54歳	—	7	0	0	7	0	0	7
		55～59歳	—	10	0	0	10	0	1	9
		60～64歳	—	13	0	0	13	0	0	13
		65～69歳	—	40	0	0	40	0	0	40
		70歳	—	40	0	0	40	0	1	39
	小計	—	125	0	0	0	125	0	3	122
	女	41～44歳	—	21	0	0	21	0	0	21
		45～49歳	—	26	0	0	26	0	0	26
		50～54歳	—	14	0	0	14	0	0	14
		55～59歳	—	24	0	0	24	0	0	24
		60～64歳	—	30	0	0	30	0	0	30
		65～69歳	—	49	0	0	49	0	0	49
		70歳	—	31	0	0	31	0	0	31
	小計	—	195	0	0	0	195	0	0	195

(ウ) 骨粗しょう症検診

平成 13 年度から、40・50 歳の節目年齢の女性を対象に、CXD 法（手の第二中手骨の中央の X 線撮影をし、骨量を解析する方法）により骨量測定を開始した。平成 14 年度より年齢を 40・45・50・55・60 歳に拡大し実施した。平成 17 年度は 65 歳を追加し DEXA 法（非利き腕の手関節を X 線撮影し骨量を解析する方法）により骨量測定を実施し、平成 18 年度は 70 歳を追加した。

平成 28 年度から、超音波パルス透過法により検査を実施するようになった。

(単位：人)

年度	区分	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳	計
平成 27	受診者	59	60	93	82	128	151	78	651
	異常なし	49	50	82	69	101	123	64	538
	要指導	7	7	11	9	13	14	12	73
	要精検	3	3	0	4	14	14	2	40
28	受診者	52	61	87	119	125	160	142	746
	異常なし	44	47	69	65	52	40	26	343
	要指導	7	13	17	43	47	80	69	276
	要精検	1	1	1	11	26	40	47	127
29	受診者	35	58	114	130	131	168	158	794
	異常なし	27	45	79	78	50	34	31	344
	要指導	8	12	33	40	61	84	77	315
	要精検	0	1	2	12	20	50	50	135
30	受診者	42	72	84	98	94	126	168	684
	異常なし	35	62	64	57	34	34	46	332
	要指導	6	8	18	37	44	64	77	254
	要精検	1	2	2	4	16	28	45	98
令和元	受診者	34	49	68	101	97	172	183	704
	異常なし	26	42	56	69	33	55	44	325
	要指導	7	7	11	29	55	77	81	267
	要精検	1	0	1	3	9	40	58	112

(エ) がん検診

各種がん検診の受診状況及び結果は次のとおりである。

<胃がん検診>

4,915 人が受診し、早期がん 2 人が発見された。

<子宮がん検診>

2,006 人が受診し、子宮がん 1 人が発見された。

<肺がん検診>

X線間接撮影は 10,020 人が受診し、喀痰検査は 128 人が実施し、肺がん 2 人が発見された。

<乳がん検診>

40 歳以上マンモグラフィ単独検診は、3,335 人が受診し、乳がん 13 人が発見された。

<大腸がん検診>

8,966 人が受診し、進行がん 7 人、早期がん 12 人が発見された。

<前立腺がん検診>

427 人が受診し、がんは発見されなかった。

a 胃がん検診

区 分 年 度		対 象 者 (人)	受 診 者 (人)	受 診 率 (%)	検診結果		精 検 受 診 者 (人)				
					異 常 な し (人)	要 精 検 (人)		異 常 な し (人)	進 行 が ん (人)	早 期 が ん (人)	
平成27		20,786	5,560	26.7	5,238	322	303	88	2	10	
28		19,815	5,420	27.4	5,071	349	324	88	3	12	
29		19,251	5,325	27.7	5,051	274	249	80	4	9	
30		18,576	5,017	27.0	4,726	291	264	96	4	7	
令和元	計		18,355	4,915	26.8	4,651	264	249	103	0	2
	男	30 ～ 39 歳	1,059	100	9.4	96	4	3	1	0	0
		40 ～ 44 歳	515	83	16.1	80	3	3	2	0	0
		45 ～ 49 歳	554	78	14.1	73	5	5	2	0	0
		50 ～ 54 歳	519	93	17.9	90	3	3	1	0	0
		55 ～ 59 歳	482	110	22.8	100	10	9	6	0	0
		60 ～ 64 歳	572	187	32.7	178	9	9	3	0	0
		65 ～ 69 歳	970	418	43.1	384	34	32	8	0	0
		70 ～ 74 歳	1,074	440	41.0	414	26	25	9	0	0
		75 ～ 79 歳	936	334	35.7	310	24	23	9	0	1
		80 歳 以 上	1,254	230	18.3	210	20	20	7	0	0
		小 計	7,935	2,073	26.1	1,935	138	132	48	0	1
	女	30 ～ 39 歳	873	150	17.2	145	5	5	1	0	0
		40 ～ 44 歳	754	196	26.0	191	5	5	3	0	0
		45 ～ 49 歳	785	212	27.0	207	5	4	1	0	0
		50 ～ 54 歳	710	205	28.9	199	6	6	0	0	0
		55 ～ 59 歳	749	227	30.3	222	5	3	3	0	0
		60 ～ 64 歳	879	318	36.2	303	15	13	7	0	0
		65 ～ 69 歳	1,340	543	40.5	515	28	28	13	0	1
		70 ～ 74 歳	1,334	488	36.6	451	37	34	17	0	0
		75 ～ 79 歳	1,192	329	27.6	316	13	12	7	0	0
		80 歳 以 上	1,804	174	9.6	167	7	7	3	0	0
		小 計	10,420	2,842	27.3	2,716	126	117	55	0	1

精密検査結果（重複あり）									精 検 結 果 不 明 の 者	精 検 未 受 診 者
深 達 度 不 明 が ん	胃 が ん の 疑 い	胃 ポ リ ー プ	胃 潰 瘍	潰 瘍 十 二 指 腸	潰 瘍 ・ 十 二 指 腸	は ん こ ん 潰 瘍	は ん こ ん 十 二 指 腸 潰 瘍	そ の 他		
（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）
3	1	47	13	2	1	37	16	96	0	19
0	3	68	9	0	0	31	10	100	0	25
0	0	50	4	1	0	27	13	84	0	25
0	0	47	10	2	2	30	5	61	0	27
1	0	37	5	1	0	26	11	71	0	15
0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1
0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0
0	0	4	2	0	0	7	2	11	0	2
0	0	7	1	0	0	3	0	7	0	1
0	0	2	1	1	0	2	2	7	0	1
0	0	5	0	0	0	2	1	5	0	0
0	0	22	4	1	0	19	5	38	0	6
0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0
0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1
0	0	3	0	0	0	1	0	2	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
0	0	1	0	0	0	1	0	4	0	2
0	0	3	0	0	0	1	3	8	0	0
1	0	4	0	0	0	3	2	8	0	3
0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1
0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0
1	0	15	1	0	0	7	6	33	0	9

b 子宮がん検診

区 分 年 度	対 象 者 (人)	頸 が ん 検 査												
		受 診 者 (人)	受 診 率 (%)	扁 平 系						腺 系			その他	
				N I L M (陰 性) (人)	A S C U S (人)	A S C H (人)	L S I L (軽 度 異 形 成) (人)	H S I L (人)	S C C (扁 平 上 皮 癌) (人)	A G C (腺 異 型 ・ 腺 癌 疑 い) (人)	A I S (上 皮 内 腺 癌) (人)	A d e n o c a (腺 が ん) (人)	o t h e r (そ の 他 の 癌) (人)	判 定 不 能 (不 適 正 標 本) (人)
平成27	13,671	2,217	16.2	2,184	11	4	12	6	0	0	0	0	0	0
28	12,906	1,904	14.8	1,877	6	4	11	4	0	2	0	0	0	0
29	12,735	2,031	15.9	1,996	15	0	13	2	0	1	0	0	0	4
30	11,524	1,743	15.1	1,712	14	1	10	4	0	2	0	0	0	0
令和元	計	11,808	2,006	17.0	1,968	12	4	12	2	1	0	0	0	7
	20～24歳	726	50	6.9	49	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	25～29歳	388	55	14.2	54	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	30～34歳	483	96	19.9	92	0	0	3	1	0	0	0	0	0
	35～39歳	580	123	21.2	118	2	0	2	1	0	0	0	0	0
	40～44歳	785	210	26.8	205	3	1	1	0	0	0	0	0	0
	45～49歳	804	207	25.7	201	3	1	2	0	0	0	0	0	0
	50～54歳	780	224	28.7	220	2	0	1	0	0	0	0	0	1
	55～59歳	785	234	29.8	231	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	60～64歳	841	204	24.3	200	1	0	2	0	0	0	0	0	1
	65～69歳	1,283	280	21.8	276	1	1	0	0	1	0	0	0	1
	70～74歳	1,319	182	13.8	181	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	75～79歳	1,217	104	8.5	104	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上	1,817	37	2.0	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 頸がん検査の細胞診結果は、平成23年度よりベセスダシステムによる分類

体　　が　　ん　　検　　査					精　　密　　検　　査　　結　　果											
受 診 者 (人)	細　　胞　　診　　断				受 診 者 (人)	異 常 な し (人)	が　　ん			異　形　成			そ の 他 の 疾 患 (人)	経 過 観 察 (人)	不 明 (人)	
	一陰 異 常 な し 一性 (人)	偽 陽 性 (人)	陽 性 (人)	判 定 不 能 (人)			頸がん		体 が ん (人)	高 度 (人)	中 等 度 (人)	軽 度 (人)				
							浸 潤 が ん (人)	上 皮 内 が ん (人)								
416	404	4	0	8	31	16	0	2	0	0	5	5	4	0	0	
318	308	0	0	10	26	9	0	3	0	4	2	8	0	0	0	
327	320	1	0	5	28	9	0	0	0	0	1	14	0	0	0	
254	249	0	0	5	27	13	1	0	0	1	3	6	3	0	0	
347	336	0	0	11	31	11	1	0	0	5	2	8	4	0	0	
0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6	6	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	
14	14	0	0	0	5	1	0	0	0	1	1	0	2	0	0	
40	40	0	0	0	5	2	0	0	0	1	0	1	1	0	0	
49	47	0	0	2	6	4	0	0	0	1	0	0	1	0	0	
73	71	0	0	2	3	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	
62	62	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
36	34	0	0	2	3	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
31	30	0	0	1	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
22	20	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12	10	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

c 肺がん検診

区 分 年 度		対 象 者 (人)	X線間接撮影			か く た ん 検 査				
			受 診 者 (人)	精 検 不 要 (人)	要 精 検 (人)	受 診 者 (人)	精 検 不 要 (人)	要 精 検 (人)	検 査 不 能 (人)	
平成27		17, 035	10, 443	10, 190	253	188	175	0	13	
28		16, 585	10, 385	10, 112	273	158	138	0	20	
29		15, 513	10, 274	10, 035	239	138	125	3	10	
30		16, 234	10, 053	9, 889	164	121	117	0	4	
令和元	計		16, 228	10, 020	9, 875	145	128	116	1	11
	男	40～44歳	364	115	114	1	0	0	0	0
		45～49歳	413	125	125	0	0	0	0	0
		50～54歳	417	156	154	2	5	5	0	0
		55～59歳	409	174	173	1	2	2	0	0
		60～64歳	566	351	346	5	10	10	0	0
		65～69歳	1, 094	792	776	16	25	22	1	2
		70～74歳	1, 288	1, 003	982	21	41	40	0	1
		75～79歳	1, 015	678	667	11	26	22	0	4
		80歳以上	1, 218	650	633	17	12	10	0	2
		小 計	6, 784	4, 044	3, 970	74	121	111	1	9
	女	40～44歳	580	285	281	4	0	0	0	0
		45～49歳	621	313	313	0	0	0	0	0
		50～54歳	607	319	317	2	0	0	0	0
		55～59歳	688	434	427	7	1	1	0	0
		60～64歳	896	665	660	5	1	1	0	0
		65～69歳	1, 552	1, 234	1, 221	13	1	1	0	0
		70～74歳	1, 614	1, 274	1, 265	9	2	2	0	0
		75～79歳	1, 280	821	804	17	2	0	0	2
		80歳以上	1, 606	631	617	14	0	0	0	0
		小 計	9, 444	5, 976	5, 905	71	7	5	0	2

精 密 検 査 結 果							発見方法別肺がん患者数			
受 診 者 (人)	異 常 な し (人)	肺 が ん (人)	肺 が ん の 疑 い (人)	が ん 以 外 の 疾 患 (人)	不 明 (人)	未 受 診 者 (人)	X 線 撮 影 (人)	か く た ん 検 査 (人)	か く た ん X 線 撮 影 検 査 (人)	計 (人)
231	72	3	24	132	0	22	3	0	0	3
252	77	2	18	155	0	21	2	0	0	2
213	78	3	23	109	0	26	3	1	0	4
143	35	2	16	90	0	21	2	0	0	2
120	37	2	9	72	0	25	2	0	0	2
0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
4	2	0	0	2	0	1	0	0	0	0
13	4	0	1	8	0	3	0	0	0	0
15	3	0	2	10	0	6	0	0	0	0
9	0	0	1	8	0	2	0	0	0	0
13	2	0	1	10	0	4	0	0	0	0
55	12	0	5	38	0	19	0	0	0	0
2	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7	0	1	1	5	0	0	1	0	0	1
4	1	0	0	3	0	1	0	0	0	0
13	4	0	1	8	0	0	0	0	0	0
8	5	0	0	3	0	1	0	0	0	0
16	5	1	1	9	0	1	1	0	0	1
13	8	0	1	4	0	1	0	0	0	0
65	25	2	4	34	0	6	2	0	0	2

d 乳がん検診

区分 年度	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	検診結果(人)		精密検査結果(人)										精 検 未 受 診 者
				異常認めず	要精検者	受診者	異常なし	乳がん	乳がんの疑い	線維腺腫	乳腺症	のう胞	良性石灰化像	その他	不明	
平成27	10,393	3,297	31.7	3,028	269	263	167	8	0	17	22	26	18	8	0	6
28	10,174	3,247	31.9	3,089	158	154	84	8	1	11	14	14	26	1	0	4
29	9,709	3,383	34.8	3,172	211	207	119	5	0	13	10	34	21	5	0	4
30	9,155	3,148	34.4	2,926	222	218	124	6	1	23	15	20	25	2	0	4
令和元	計	9,645	3,335	34.6	3,105	230	222	131	13	11	14	37	13	2	0	8
	40～44歳	1,129	477	42.2	438	39	38	16	2	0	3	3	10	3	1	1
	45～49歳	765	353	46.1	324	29	28	15	2	0	2	0	6	3	0	1
	50～54歳	763	398	52.2	377	21	21	12	0	0	0	2	5	1	1	0
	55～59歳	752	406	54.0	374	32	32	19	2	0	3	2	5	1	0	0
	60～64歳	798	413	51.8	384	29	27	15	3	0	1	2	4	2	0	2
	65～69歳	1,232	533	43.3	499	34	32	24	1	1	1	1	4	0	0	2
	70～74歳	1,202	411	34.2	386	25	23	14	3	0	1	1	2	2	0	2
	75～79歳	1,106	228	20.6	215	13	13	10	0	0	0	2	0	1	0	0
	80歳以上	1,898	116	6.1	108	8	8	6	0	0	0	1	1	0	0	0

※ 平成25年度から視触診を廃止し、マンモグラフィ単独に変更

e 大腸がん検診

区 分 年 度		対 象 者 (人)	受 診 者 (人)	受 診 率 (%)	検診結果		精 検 受 診 者 (人)			
					異 常 な し (人)	要 精 検 (人)		異 常 な し (人)	進 行 が ん (人)	早 期 が ん (人)
平成27		25,004	8,980	35.9	8,529	451	383	153	8	16
28		22,963	9,254	35.9	8,803	451	378	146	9	18
29		22,400	9,349	41.7	8,858	491	408	174	9	18
30		21,085	8,909	42.3	8,426	483	407	180	2	15
令和元	計	21,581	8,966	41.5	8,532	434	366	168	7	12
	男	30 ～ 39 歳	917	147	16.0	146	1	1	0	0
		40 ～ 44 歳	552	112	20.3	109	3	3	2	0
		45 ～ 49 歳	625	134	21.4	131	3	2	0	0
		50 ～ 54 歳	593	165	27.8	158	7	6	2	0
		55 ～ 59 歳	553	190	34.4	185	5	4	0	1
		60 ～ 64 歳	667	293	43.9	278	15	14	2	1
		65 ～ 69 歳	1,142	620	54.3	592	28	25	5	2
		70 ～ 74 歳	1,215	656	54.0	613	43	34	10	2
		75 ～ 79 歳	1,096	579	52.8	542	37	29	12	0
		80 歳 以 上	1,451	509	35.1	459	50	42	20	1
		小 計	8,811	3,405	38.6	3,213	192	160	53	6
	女	30 ～ 39 歳	1,192	307	25.8	296	11	10	10	0
		40 ～ 44 歳	885	296	33.4	283	13	11	6	1
		45 ～ 49 歳	960	366	38.1	352	14	10	8	0
		50 ～ 54 歳	883	384	43.5	377	7	5	2	0
		55 ～ 59 歳	948	461	48.6	447	14	14	10	0
		60 ～ 64 歳	1,093	608	55.6	590	18	16	11	1
		65 ～ 69 歳	1,639	996	60.8	957	39	35	18	1
		70 ～ 74 歳	1,611	921	57.2	870	51	42	20	1
		75 ～ 79 歳	1,457	735	50.4	695	40	35	16	3
		80 歳 以 上	2,102	487	23.2	452	35	28	14	1
		小 計	12,770	5,561	43.5	5,319	242	206	115	6

精 密 検 査 結 果 (重 複 あ り)								精 検 結 果 不 明 の 者 (人)	精 検 未 受 診 者 (人)
深 達 度 不 明 が ん (人)	大 腸 が ん の 疑 い (人)	大 腸 腺 腫 (人)	ポ リ ー プ そ の 他 (人)	大 腸 憩 室 (人)	潰 瘍 性 炎 (人)	ク ロ ー ン 病 (人)	そ の 他 (人)		
0	0	152	16	17	3	0	31	0	68
2	1	161	20	11	4	0	28	0	73
0	0	167	24	20	4	0	14	0	83
1	2	179	18	16	3	0	8	0	76
0	0	155	10	13	1	0	13	0	68
0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
0	0	4	0	1	0	0	0	0	1
0	0	3	0	0	0	0	0	0	1
0	0	9	2	0	0	0	0	0	1
0	0	16	1	0	0	0	1	0	3
0	0	17	1	5	0	0	1	0	9
0	0	13	1	1	1	0	1	0	8
0	0	18	1	1	0	0	1	0	8
0	0	83	6	8	1	0	5	0	32
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
0	0	1	2	0	0	0	1	0	2
0	0	2	0	0	0	0	0	0	4
0	0	3	0	0	0	0	0	0	2
0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
0	0	3	1	1	0	0	0	0	2
0	0	16	0	1	0	0	2	0	4
0	0	19	0	1	0	0	3	0	9
0	0	14	1	0	0	0	1	0	5
0	0	10	0	2	0	0	1	0	7
0	0	72	4	5	0	0	8	0	36

f 前立腺がん検診

区分 年度	対 象 者 (人)	受 診 者 (人)	受 診 率 (%)	検診結果		精 検 受 診 者 (人)	精 密 検 査 結 果						精 検 結 果 不 明 の 者 (人)	精 検 未 受 診 者 (人)
				(異常なし 経過観察含む) (人)	要 精 検 (人)		異 常 な し (人)	進 行 が ん (人)	局 所 進 展 が ん (人)	早 期 が ん (人)	前 立 腺 が ん の 疑 い (人)	そ の 他 (人)		
平成27	14,167	595	4.2	553	42	34	8	1	0	3	4	18	0	8
28	14,049	531	3.8	481	50	30	9	0	0	1	14	6	0	20
29	14,049	470	3.3	432	38	26	8	0	0	0	6	12	0	12
30	13,714	493	3.6	450	43	33	14	0	0	0	11	8	0	10
令和元	計	13,454	427	3.2	396	31	24	3	0	0	8	13	0	7
	50～54歳	3,139	43	1.4	41	2	2	0	0	0	2	0	0	0
	55～59歳	3,084	48	1.6	44	4	3	1	0	0	1	1	0	1
	60～64歳	3,316	87	2.6	81	6	6	1	0	0	0	5	0	0
	65～69歳	3,915	249	6.4	230	19	13	1	0	0	5	7	0	6
	70歳以上	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(オ) 歯周病検診

区 分 年 度	対 象 者 数 (人)	受 診 者 数 (人)	(受診者数／対象者数) 率 (%)	判定区分			要精検・要治療の内容(延数)				
				異 常 な し (人)	要 指 導 (人)	要 精 密 検 査 (人)	歯 石 除 去 (人)	歯 周 治 療 (人)	う 蝕 治 療 (人)	補 綴 処 置 (人)	そ の 他 (人)
平成27	6,998	402	5.7	20	13	369	203	164	158	11	22

区 分 年 度		対 象 者 数 (人)	受 診 者 数 (人)	(受診者数／対象者数) 率 (%)	判定区分			要指導の内訳(重複あり)				要精密検査の内訳(重複あり)						
					異 常 な し (人)	要 指 導 (人)	要 精 密 検 査 (人)	歯 肉 出 血 1、 ポ ケ ッ ト 1 か つ 歯 周 1	口 腔 清 掃 状 態 不 良 (人)	歯 石 の 付 着 あ り (人)	基 礎 疾 患 等 指 導 (人)	歯 周 ポ ケ ッ ト 1 (人)	歯 周 ポ ケ ッ ト 2 (人)	未 処 置 歯 あ り (人)	要 補 綴 歯 あ り (人)	基 礎 疾 患 等 治 療 あ り (人)	そ の 他 (人)	
平成28		7,129	444	6.2	36	115	293	64	6	76	4	143	101	152	9	4	10	
29		7,490	493	6.6	28	147	318	72	6	97	2	134	101	176	15	5	12	
30		7,435	441	5.9	26	115	300	91	21	217	7	151	86	152	13	2	5	
令和元	計		7,371	519	7.0	38	159	322	83	8	115	0	167	107	164	7	1	7
	男	20歳	485	23	4.7	1	15	7	8	0	11	0	2	0	7	0	0	0
		30歳	507	21	4.1	1	10	10	7	1	7	0	5	1	7	0	0	0
		40歳	639	17	2.7	1	5	11	3	1	4	0	6	4	8	0	0	1
		50歳	654	14	2.1	1	4	9	2	1	3	0	5	4	3	0	0	0
		60歳	652	35	5.4	1	6	28	4	0	4	0	20	8	10	0	0	0
		70歳	893	56	6.3	4	11	41	4	0	9	0	19	21	18	3	1	1
		小計	3,830	166	4.3	9	51	106	28	3	38	0	57	38	53	3	1	2
	女	20歳	468	38	8.1	4	21	13	9	1	17	0	5	3	11	0	0	1
		30歳	435	27	6.2	2	10	15	4	0	7	0	6	2	12	0	0	0
		40歳	572	51	8.9	2	19	30	13	2	13	0	14	4	23	0	0	1
		50歳	572	58	10.1	6	17	35	4	0	14	0	24	4	24	0	0	0
		60歳	600	58	9.7	6	16	36	10	0	11	0	21	14	13	0	0	1
		70歳	894	121	13.5	9	25	87	15	2	15	0	40	42	28	4	0	2
		小計	3,541	353	10.0	29	108	216	55	5	77	0	110	69	111	4	0	5
	【再掲】 県への報告対象 (40歳～70歳) 計		5,476	410	7.5	30	103	277	55	6	73	0	149	101	127	7	1	6
	男		2,838	122	4.3	7	26	89	13	2	20	0	50	37	39	3	1	2
	女		2,638	288	10.9	23	77	188	42	4	53	0	99	64	88	4	0	4

(カ) 後期高齢者歯科健診

区 分 年 度	対 象 者 数 (人)	受 診 者 数 (人)	(受診者数／対象者数) 率 (%)	判定区分			要治療の内訳			口腔機能評価					
				問 題 な し (人)	要 指 導 (人)	要 治 療 (人)	歯 周 疾 患 (人)	う 蝕 (人)	そ の 他 (人)	咀 嚼 機 能 (人)		嚥 下 機 能 (人)		口 腔 乾 燥 (人)	
										良 好 (人)	要 注 意 (人)	良 好 (人)	要 注 意 (人)	良 好 (人)	要 注 意 (人)
平成27	2,299	204	8.9	21	16	167	140	69	45	180	24	178	26	161	43

※ 平成27年度から新潟県後期高齢者医療広域連合と受託契約を締結し実施。

区 分 年 度	対 象 者 数 (人)	受 診 者 数 (人)	(受診者数／対象者数) 率 (%)	判定区分			要治療の内訳（重複あり）							口腔機能評価								
				異 常 な し (人)	要 指 導 (人)	要 治 療 (人)	歯 周 ポ ケ ット 1 (人)	歯 周 ポ ケ ット 2 (人)	未 処 置 歯 (人)	要 補 綴 歯 (人)	基 礎 疾 患 等 検 査 を 要 す る (人)	そ の 他 (人)		咀 嚼 能 力 (人)			嚥 下 機 能 (人)			口 腔 乾 燥 (人)		
														良 好 (人)	要 注 意 (人)	不 検 (人)	良 好 (人)	要 注 意 (人)	不 検 (人)	良 好 (人)	要 注 意 (人)	不 検 (人)
平成28	2,266	232	10.2	29	21	182	96	69	70	17	4	6		193	38	1	202	29	1	196	36	—
29	2,319	197	8.5	20	10	167	118	18	61	9	11	2		170	26	1	180	17	—	169	28	—
30	2,136	175	8.2	27	9	139	87	23	60	9	4	6		143	32	—	152	23	—	150	25	—

※ 平成28年度：口腔機能評価において、1人胃ろうのため、咀嚼能力と嚥下機能評価を不検とした。

※ 平成29年度：口腔機能評価において、1人経管栄養のため、咀嚼能力評価を不検とした。

区 分 年 度	対 象 者 数 (人)	受 診 者 数 (人)	(受診者数／対象者数) 率 (%)	判定区分			要治療の内訳（重複あり）							口腔機能評価								
				異 常 な し (人)	要 指 導 (人)	要 治 療 (人)	歯 周 ポ ケ ット 1 (人)	歯 周 ポ ケ ット 2 (人)	未 処 置 歯 (人)	要 補 綴 歯 (人)	基 礎 疾 患 等 検 査 を 要 す る (人)	そ の 他 (人)		咀 嚼 能 力 (人)			嚥 下 機 能 (人)			口 腔 乾 燥 (人)		
														良 好 (人)	要 注 意 (人)	不 検 (人)	良 好 (人)	要 注 意 (人)	不 検 (人)	良 好 (人)	要 注 意 (人)	不 検 (人)
令和元	計	2,311	206	8.9	25	16	165	124	20	68	20	1	10	182	24	—	180	26	—	169	37	—
	76歳	1,285	120	9.3	13	10	97	71	11	37	12	0	7	108	12	—	108	12	—	99	21	—
	80歳	1,026	86	8.4	12	6	68	53	9	31	8	1	3	74	12	—	72	14	—	70	16	—

イ 健康教育・健康相談

(ア) 健診結果説明会

a 特定健康診査・健康診査受診者

年 度		回数 (回)	対象者数 (人)	参加者数 (人)	参加率 (%)
平成27		35	10,181	267	2.6
28		35	10,169	318	3.1
29		30	10,034	269	2.7
30		30	9,804	294	3.0
令和元		30	9,887	376	3.8
内 訳	65歳未満	—	2,729	49	1.8
	65歳以上	—	7,158	327	4.6

b 骨粗しょう症検診受診者

年 度		回数 (回)	対象者数(人)	参加者数 (人)	参加率 (%)
平成 28		8	746	141	18.9
29		5	750	103	13.7
30		8	694	88	12.7
令和元		8	704	121	17.2
内 訳	40～64 歳	—	349	23	6.6
	65～70 歳	—	355	98	27.6

※ 平成 27 年度までは健康教育として骨粗しょう症検診結果説明会を実施していたが、平成 28 年度からは健康相談として健診結果説明会と同時開催した。

(イ) 心と身体に関する健康相談

年 度		開設回数 (回)	相談件数 (件)
平成 27		89	269
28		86	248
29		81	285
30		76	330
令和元		73	420
内 訳	母子	—	16
	成人	15～39歳	13
		40～64歳	88
		65歳以上	87
	精神	—	216
	難病	—	0

※ 平成30年度からは健康相談の設定日のみとした。

(ウ) 生活習慣病予防啓発活動

年 度		回数 (回)	参加者数 (人)
平成 27		2	90
28		4	772
29		4	845
30		7	404
令和元		6	693
内 訳	65歳未満	—	493
	65歳以上	—	200

※ 27年度は生活習慣病予防キャンペーンとして実施

(エ) 市民健康アップ講座（糖尿病予防）

年 度		回数 (回)	受講者数 (人)
平成 27		2	84
28		2	80
29		2	60
30		2	62
令和元		2	63
内 訳	65歳未満	—	22
	65歳以上	—	41

(オ) 市民健康アップ講座（高血圧症予防）

年 度		回数 (回)	受講者数 (人)
平成 27		2	105
28		2	58
29		2	30
30		1	25
令和元		1	21
内 訳	65歳未満	—	2
	65歳以上	—	19

(カ) 生活習慣病予防教室

年 度		回数 (回)	受講者数 (人)	
			実人数	延人数
平成 27		6	88	88
28		5	121	121
29		5	96	96
30		6	76	76
令和元		5	72	72
内 訳	65歳未満	—	—	57
	65歳以上	—	—	15

(キ) 地区の健康づくり活動

年 度		健康推進員 研 修 会		健康教育		合 計	
		回数 (回)	参加者数 (人)	回数 (回)	参加者数 (人)	回数 (回)	参加者数 (人)
平成 27		75	943	24	643	99	1586
28		69	988	33	860	102	1848
29		71	964	25	870	96	1834
30		66	1003	26	998	92	2001
令和元		64	994	21	365	85	1359
内 訳	65歳未満	64	994	2	33	66	1027
	65歳以上	0	0	19	332	19	332

(ク) 骨粗しょう症検診結果説明会

年 度	回数 (回)	対象者数 (人)	参加者数 (人)	参加率 (%)
平成 27	2	651	52	8.0

※ 平成 28 年度から健診結果説明会と同時開催

(ケ) 咀嚼能力判定試験

年 度	回数 (回)	参加者数 (人)	(再掲)試験結果内訳 (人)	
			異常なし	嚙む力が弱い
平成 27	3	231	209	22
28	3	202	193	9
29	3	340	331	9
30	5	827	754	73
令和元	5	761	705	56

ウ 訪問指導事業

(ア) 訪問指導事業実施状況

a 訪問件数

(単位：件)

年 度		訪問実施数		(再掲)保健師等実施数		(再掲)訪問看護指導員 実施数	
		実数	延数	実数	延数	実数	延数
平成 27		180	228	76	82	104	146
28		142	181	90	90	52	91
29		130	167	83	89	47	78
30		111	145	75	87	36	58
令和元		92	96	68	72	24	24
内 訳	65歳未満	28	28	24	24	4	4
	65歳以上	64	68	44	48	20	20

b 訪問件数内訳（延数）

(単位：件)

年 度		要指導者等	閉じこもり 予防	介護家族者	寝たきり者	認知症 老人	その他
平成 27		175	4	0	2	0	47
28		120	4	1	3	0	44
29		125	5	0	4	0	33
30		109	4	0	7	0	25
令和元		86	2	0	2	3	3
内 訳	65歳未満	26	1	0	0	0	1
	65歳以上	60	1	0	2	3	2

(イ) 訪問看護指導員による訪問状況

年 度		疾 病 名	糖 尿 病	高 血 圧	脂 質 異 常 症	脳 卒 中 後 遺 症	悪 性 新 生 物	難 病	腎 機 能 低 下 の 疑 い	合 計	※参考 訪問看護指導員数
平成 27	実数 (件)		7	98	0	0	0	0	0	105	4
	率 (%)		6.7	93.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
28	実数 (件)		19	33	0	0	0	0	0	52	4
	率 (%)		36.5	63.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
29	実数 (件)		10	34	0	0	0	0	3	47	4
	率 (%)		21.3	72.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	100.0	
30	実数 (件)		10	20	0	0	0	0	4	34	4
	率 (%)		29.4	58.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	100.0	
令和元	実数 (件)		10	9	0	0	0	0	5	24	3
	率 (%)		41.7	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.8	100.0	
内 訳	65 歳	実数 (件)	2	2	0	0	0	0	0	4	—
	未満	率 (%)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	65 歳	実数 (件)	8	7	0	0	0	0	5	20	
	以上	率 (%)	40.0	35.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	100.0	

エ 特定保健指導

年度	区 分	対象者数 (人)	初回面接 利用者数 (人)	利用率 (%)	終了者数 (人)	終了率 (%)
平成 27	動機付け支援	602	255	42.4	255	42.4
	積極的支援	250	105	42.0	102	40.8
	合 計	852	360	42.3	357	41.9
28	動機付け支援	590	285	48.3	274	46.4
	積極的支援	219	119	54.3	97	44.3
	合 計	809	404	49.9	371	45.9
29	動機付け支援	593	319	53.8	293	49.4
	積極的支援	210	91	43.3	80	38.1
	合 計	803	410	51.1	373	46.5
30	動機付け支援	570	320	56.1	292	51.2
	積極的支援	188	111	59.0	87	46.3
	合 計	758	431	56.9	379	50.0
令和元	動機づけ支援	613	302	49.3	235	38.3
	積極的支援	236	92	39.0	47	19.9
	合計	849	394	46.4	282	33.2

※ 平成 27～30 年度は、法定報告値

※ 令和元年度については、平成 31 年 3 月 31 日現在の数値。特定保健指導は、実施完了までに動機付け支援は 4 か月以上、積極的支援は 6 か月以上の期間を要し、翌年度まで継続して実施することから法定報告値は、翌年度 10 月末に確定する。

※ 平成29年度から、特定保健指導実施機関（労働衛生医学協会のみ）への特定保健指導（動機付け支援）の業務委託、平成30年度から、動機付け支援、積極的支援の業務委託開始

オ 生活習慣病重症化予防の取組

受診勧奨訪問

年 度		通知者数 (人)	対応延件数 (件)		受診者数 (人)	受診率 (%)
			訪問	電話その他		
平成 27		525	99	293	184	35.0
28		209	49	133	99	47.4
29		189	45	98	82	43.4
30		136	34	72	54	39.7
令和元		131	24	79	67	51.1
内 訳	糖代謝異常	43	9	27	23	53.5
	高血圧	58	9	36	23	39.7
	腎機能低下	23	5	13	15	65.2
	糖代謝異常＋高血圧	5	1	2	4	80.0
	糖代謝異常＋腎機能低下	2	0	1	2	100.0

※ 平成28年度以降は、発送前に医療受診状況の確認を行ったため、対象者が絞られた。

カ 早期介入保健指導

健診会場において 19 歳～49 歳の健診受診者のうち生活習慣病予備軍の者や受診勧奨判定者への保健指導を行い生活習慣病の発症及び重症化予防を図る。

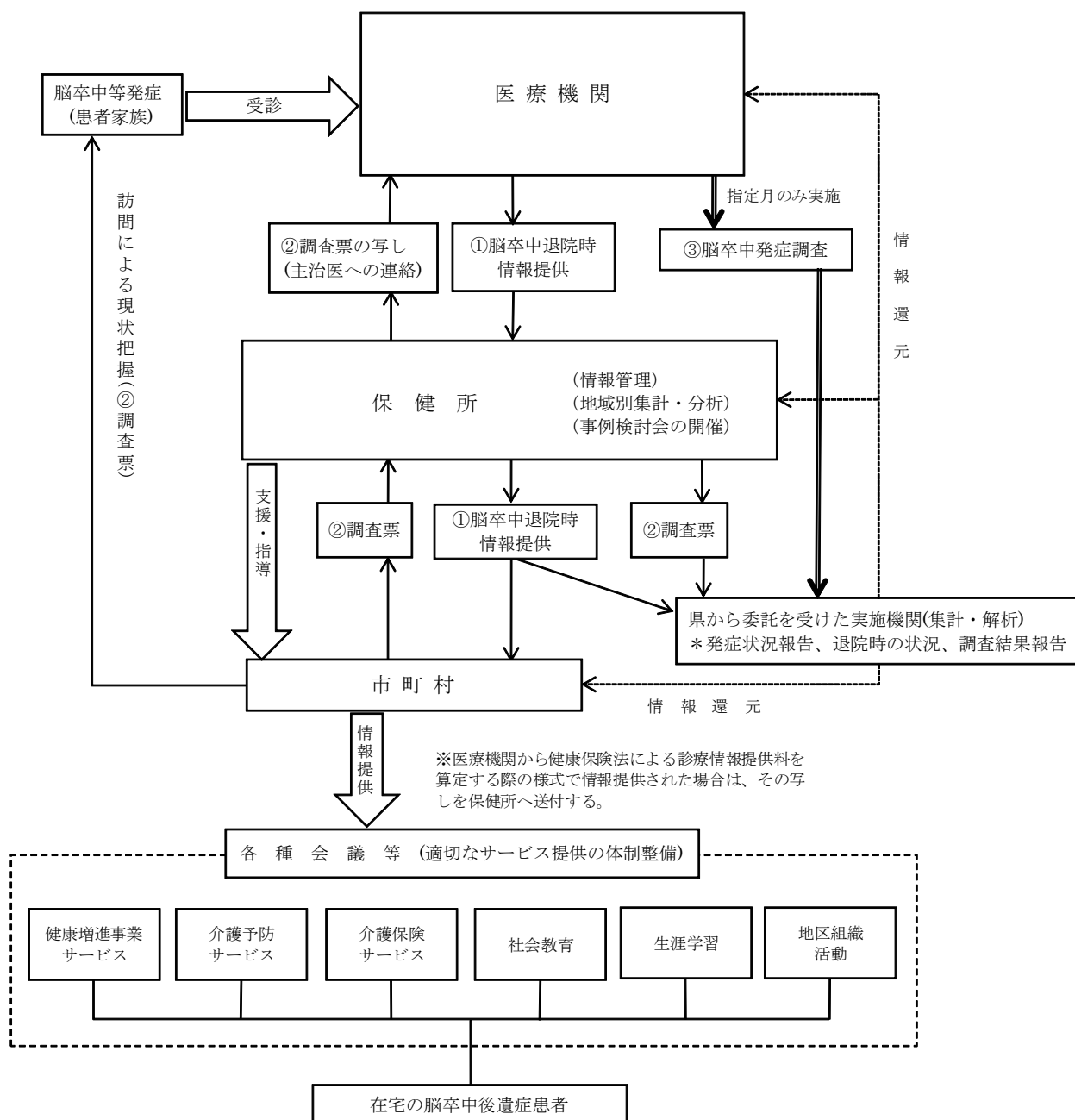
年 度	回数 (回)	参加者数 (人)	(再掲) 呼気中 一酸化炭素濃度 測定者数 (人)
平成 27	41	171	15
28	41	197	13
29	40	247	20
30	42	296	16
令和元	42	270	10

※ 健診の結果、肥満または血圧が高めの者を対象に実施。平成 30 年度からは前年度糖代謝異常者も対象にした。

(3) 脳卒中情報システム事業

脳卒中情報システム事業は、寝たきりになる可能性のある脳卒中発症者を医療機関からの情報により早期に把握し、個々の患者が地域において適切な保健・医療及び福祉の在宅諸サービスを受けることにより、脳卒中の再発、要支援・要介護状態となることを防止するとともに、地域における脳卒中発症者の実態を把握することにより、予防から社会復帰までの一貫した対策の計画及び評価に役立てることを目的とする。

ア 脳卒中情報システムのながれ



イ 年次・傷病名別情報提供件数

(単位：件)

傷病名 \ 年度	平成 27	28	29	30	令和元
脳出血	2	1	1	2	4
脳梗塞	4	6	4	7	3
くも膜下出血	0	0	1	1	0
一過性脳虚血発作	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1
計	6	7	6	10	8

ウ 性・年齢階級別傷病名

(単位：件)

傷病名 \ 年齢階級		30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳～	計
脳出血	男	0	0	0	2	1	0	3
	女	0	0	0	0	1	0	1
	計	0	0	0	2	2	0	4
脳梗塞	男	0	1	0	0	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	1	1
	計	0	1	0	0	1	1	3
くも膜下出血	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0
一過性 脳虚血発作	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0
その他	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	1	1
	計	0	0	0	0	0	1	1
計	男	0	1	0	2	2	0	0
	女	0	0	0	0	1	2	0
	計	0	1	0	2	3	2	8

エ 性・傷病名別発症月

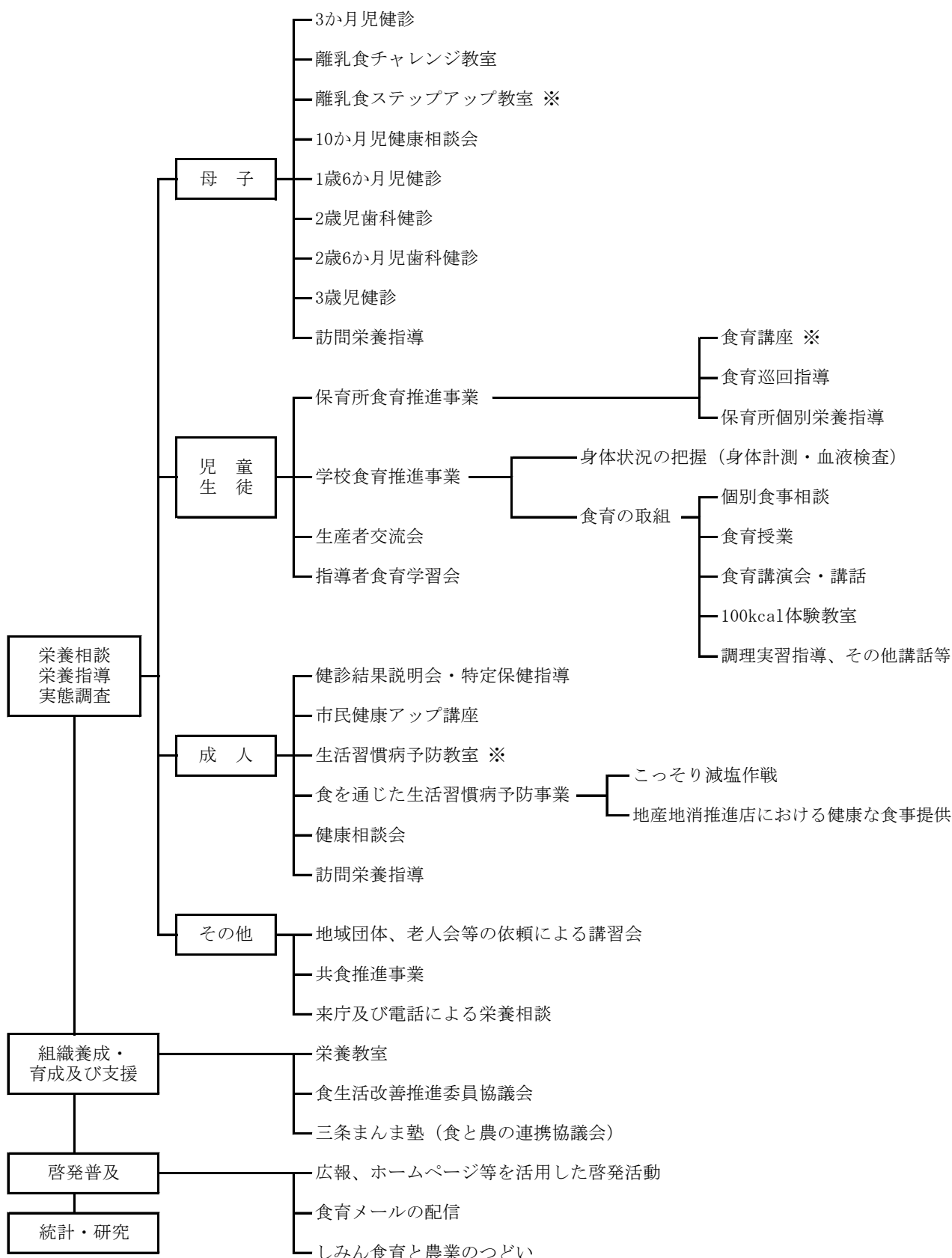
(単位：件)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
傷病名	男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
計		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4
脳梗塞	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
計		0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	3
くも膜下出血	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一過性 脳虚血発作	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
計		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
計	男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	5
	女	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3
計		0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	2	2	8

5 食育推進事業

市民一人一人が健康に幸せに生きるため「食べる力」を育てることを目的に、各年代にあった食育推進事業に取り組む。

(1) 食育推進活動体系



※ 印の事業では、食生活改善推進委員から試食作り、調理実習補助の協力を得ている。

(2) 栄養摂取・食生活の状況

ア 乳児期

(ア) 0～2か月児の栄養方法 (単位：%)

母乳	混合	人工	不明
35.7	58.9	4.9	0.5

(イ) 4か月児 母乳やミルク以外で飲ませているものの摂取量 (単位：%)

与えない	30cc未満	30～50cc	51cc以上	不明
87.5	2.7	1.8	4.9	3.1

(ウ) 7か月児 (離乳食相談会参加児)

a 離乳食の回数 (単位：%)

1回	2回	3回	その他	不明
52.6	45.9	0.0	0.7	0.8

b ベビーフードの利用 (単位：%)

あり	なし
42.2	57.8

(エ) 10か月児健診

a 栄養方法 (単位：%)

母乳	混合	人工	不明
34.3	19.9	45.0	0.8

b 食物アレルギー (単位：%)

あり (医師の診断)	あり (母)	なし	不明
8.9	1.8	88.6	0.7

c 菓子の習慣 (単位：%)

あり	なし	時々	不明
19.9	31.4	48.0	0.7

イ 幼児期

(ア) 1歳6か月健診

a 哺乳瓶の使用 (単位：%)

使用している	使用していない	不明
11.8	87.7	0.5

b おやつ回数 (単位：%)

0回	1～2回	3回以上	不明
0.7	75.6	8.2	15.5

c おやつの時間 (単位：%)

決めている	決めていない	不明
80.0	18.8	1.2

(イ) 3歳児健診

a おやつの時間 (単位：%)

決めている	決めていない	不明
80.1	18.8	1.1

b おやつ回数 (単位：%)

1～2回	3回以上	与えない	不明
74.5	14.6	0.3	10.6

6 予防接種

(1) 集団予防接種実施状況

種別			平成21			22			23			24		
			対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)	対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)	対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)	対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)
急性灰白髄炎 (ポ リ オ)	乳 幼 児	第1回	2,138	786	—	1,860	751	—	1,584	702	—	743	356	—
		第2回		724	—		740	—		728	—		325	—

※ 平成24年9月より不活化ポリオワクチンが定期接種となったため、24年度は春期（5・6月）のみの実施

※ 平成25年度からは集団予防接種を実施していない。

(2) 個別予防接種実施状況

ア 定期予防接種

(ア) 乳幼児、児童、生徒等

種 別			平成27			28		
			対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)	対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)
百日咳 ジフテリア 破傷風 ポリオ	1期	初回 (3回接種)	—	2,074	—	—	1,952	—
		追加	—	723	—	—	652	—
百日咳 ジフテリア 破傷風	1期	初回 (3回接種)	—	0	—	—	0	—
		追加	—	1	—	—	0	—
ジフテリア 破傷風	2期 (小学6年生)		—	786	—	—	764	—
不活化ポリオ	1期	初回 (3回接種)	—	87	—	—	10	—
		追加	—	9	—	—	23	—
日本脳炎	1期	初回 (2回接種)	—	1,674	—	—	1,545	—
		追加	—	841	—	—	810	—
	2期 (小学4年生～)		—	669	—	—	1,103	—
麻しん・風しん 混 合	1 期		—	671	—	—	678	—
	2 期		—	760	—	—	753	—
	3 期		—	—	—	—	—	—
	4 期		—	—	—	—	—	—
麻 し ん	1 期		—	0	—	—	0	—
	2 期		—	0	—	—	0	—
	3 期		—	—	—	—	—	—
	4 期		—	—	—	—	—	—
風 し ん	1 期		—	0	—	—	0	—
	2 期		—	0	—	—	0	—
	3 期		—	—	—	—	—	—
	4 期		—	—	—	—	—	—
子宮頸がん	小学校6年生～高校 1年生相当の女子 (3回接種)		—	11	—	—	1	—
ヒ ブ	生後2か月～5歳未満		—	2,724	—	—	2,612	—
小児用肺炎球菌	〃		—	2,723	—	—	2,618	—
水 痘	生後12か月～36か 月未満		—	1,653	—	—	1,284	—
B 型 肝 炎	1歳未満		—	—	—	—	1,109	—

※ 日本脳炎予防接種は、平成23年5月20日より、平成17～21年度に日本脳炎の予防接種の機会を逃した方々の接種時期が緩和され、平成7年6月1日～平成19年4月1日生まれの方に、20歳未満まで定期予防接種ができるようになった。

※ 福島県一部地域から避難されている方、また、長期にわたり療養を必要とする疾病等の特別の事情により定期の予防接種の機会を逸した者が、該当年齢以外の年齢で予防接種を受けた場合も含む。

29			30			令和元		
対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)	対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)	対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)
—	1,919	—	—	1,921	—	—	1,772	—
—	699	—	—	655	—	—	641	—
—	0	—	—	0	—	—	0	—
—	0	—	—	1	—	—	0	—
—	762	—	—	774	—	—	688	—
—	5	—	—	1	—	—	0	—
—	18	—	—	6	—	—	1	—
—	1,360	—	—	1,523	—	—	1,383	—
—	618	—	—	900	—	—	722	—
—	859	—	—	1,148	—	—	1,050	—
—	657	—	—	640	—	—	615	—
—	751	—	—	762	—	—	685	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	0	—	—	0	—	—	0	—
—	0	—	—	0	—	—	0	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	0	—	—	0	—	—	0	—
—	0	—	—	0	—	—	0	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	1	—	—	3	—	—	7	—
—	2,579	—	—	2,554	—	—	2,328	—
—	2,574	—	—	2,552	—	—	2,367	—
—	1,296	—	—	1,299	—	—	1,198	—
—	1,951	—	—	1,886	—	—	1,736	—

※ 子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌は、平成25年度から定期化
 なお、子宮頸がんは、平成25年6月から積極的勧奨差し控えとなる。

※ 水痘は平成26年10月から定期化

※ B型肝炎は平成28年10月から定期化

(イ) 高齢者

種 別 \ 年 度		平成27			28		
		対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)	対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)
インフルエンザ	65歳以上の者	29,782	15,305	51.4	30,300	15,596	51.5
	60歳から64歳までの機能 障害者	56	42	75.0	60	42	70.0
成人用肺炎球菌	65・70・75・80・85・90・ 95・100歳の者 (R元年度のみ、101歳以上 の者を含む)	6,578	2,610	39.7	6,713	2,972	44.3
	60歳から64歳までの機能 障害者	35	6	17.1	36	4	11.1

※ 成人用肺炎球菌は平成26年10月から定期接種化された。65歳の者を対象とするが、平成26年度～令和5年度までは、経過措置として次の者も対象とする。

- ・平成26年度、令和元年度 70・75・80・85・90・95・100歳及び101歳以上の者
- ・平成27～30年度まで、令和2年～5年度まで 70・75・80・85・90・95・100歳の者

イ 任意予防接種

種 別 \ 年 度		平成27			28		
		対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)	対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)
風 し ん	妊娠を予定又は希望する 女性	—	8	—	—	12	—
	妊婦の夫、家族など	—	3	—	—	3	—
特別の理由による 任意予防接種	対象20歳未満 ただし、一部年齢制限あり	—	—	—	—	—	—

※ 任意接種の風しん予防接種は、首都圏を中心に風しんが大流行していたことから妊婦への感染を防止することにより、先天性風しん症候群の発生を防ぐことを目的に新潟県から補助を受けて接種費用の一部助成を実施した。

※ 特別の理由による任意予防接種は、令和元年度より、骨髄移植等により、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できず再度の予防接種を受けることが必要と医師に判断され、任意で再接種される場合に、接種費用の一部を助成した。

ウ 風しん追加的対策

種 別 \ 年 度		令和元		
		対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)
風しん抗体検査	昭和47年4月2日から昭和54年 4月1日に生まれた男性(昭和 37年4月2日から昭和47年4月1 日に生まれた男性で希望する 者含む)	4,867	1,296	26.6
風しん予防接種	抗体検査の判定結果が「定期 接種対象」となった者	—	352	—

※ 風しん追加的対策は平成31年4月～令和4年3月までの期間に限り、実施される。

29			30			令和元		
対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)	対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)	対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)
30,658	14,944	48.7	30,718	15,594	50.8	30,933	16,224	52.4
64	30	46.9	52	30	57.7	44	28	63.6
6,881	3,100	45.1	7,087	2,808	39.6	4,070	974	23.9
40	10	25.0	28	8	28.6	18	2	11.1

29			30			令和元		
対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)	対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)	対象者 (人)	接種者 (人)	実施率 (%)
—	22	—	—	43	—	—	39	—
—	2	—	—	6	—	—	9	—
—	—	—	—	—	—	1	1	100.0

(3) 予防接種別実施方法

ア 乳幼児～20歳未満

(ア) 定期予防接種

種 別			年 度		平成17	18	19	20	21
百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ（四種混合）	1 期	初回(3回接種)			—	—	—	—	—
		追加			—	—	—	—	—
百日咳・ジフテリア・破傷風	1 期	初回(3回接種)			集	個	個	個	個
		追加							
ジフテリア・破傷風	2 期（小学6年生）				集	個	個	個	個
不活化ポリオ	1 期	初回(3回接種)			—	—	—	—	—
		追加							
急性灰白髄炎（ポリオ）	乳幼児	第 1 回			集	集	集	集	集
		第 2 回							
日 本 脳 炎	1 期	初回(2回接種)			集	個	個	個	個
		追加							
	2 期（小学4年生）				集	個	個	個	個
	3 期（中学3年生）				集	個	—	—	—
麻しん・風しん混合	1 期				—	—	—	—	—
	2 期					個	個	個	個
	3 期					—	—	—	—
	4 期					—	—	個	個
麻 し ん	1 期				—	—	—	—	—
	2 期					個	個	個	個
	3 期					—	—	—	—
	4 期					—	—	個	個
	幼 児				集	個	—	—	—
風 し ん	1 期				—	—	—	—	—
	2 期					個	個	個	個
	3 期					—	—	—	—
	4 期					—	—	個	個
	幼 児	一 般 アレルギー等			集	個	—	—	—
B C G	1 歳未満				集	個	個	個	個
子 宮 頸 が ん	小学校6年生～高校1年生相当の女子（3回接種）				—	—	—	—	—
ヒ ブ	生後2か月～5歳未満				—	—	—	—	—
小 児 用 肺 炎 球 菌	生後2か月～5歳未満				—	—	—	—	—
水 痘	生後12か月～36か月未満				—	—	—	—	—
B 型 肝 炎	1歳未満				—	—	—	—	—

※ 平成17年度より結核予防法の改正により、ツベルクリン反応検査が廃止され直接BCG接種となった。

平成19年3月31日に結核予防法は廃止され、平成19年4月1日より、BCGは予防接種法に基づく接種となった。

※ 平成17年度は下田地区は全部、栄地区は学童のみ集団接種にて実施

※ 日本脳炎予防接種3期は、予防接種法改正により平成17年7月29日に廃止

※ 麻しん予防接種及び風しん予防接種は、予防接種法改正により平成18年4月1日から麻しん・風しん混合予防接種が追加され、対象者については、1期（生後12か月～24か月）2期（5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間）となった。平成20年4月1日から5年間の経過措置で、3期（中学1年生）・4期（高校3年生）の接種も追加された。

集=集團、個=個別

22		23		24		25		26		27		28		29		30		令和元	
—	—	—	—		個		個		個		個		個		個		個		個
	個		個		個		個		個		個		個		個		個		個
	個		個		個		個		個		個		個		個		個		個
—	—	—	—		個		個		個		個		個		個		個		個
集		集		集		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	個		個		個		個		個		個		個		個		個		個
	個		個		個		個		個		個		個		個		個		個
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	個		個		個		個		個		個		個		個		個		個
	個		個		個		—		—		—		—		—		—		—
	個		個		個		個		個		個		個		個		個		個
	個		個		個		—		—		—		—		—		—		—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	個		個		個		個		個		個		個		個		個		個
	個		個		個		—		—		—		—		—		—		—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	個		個		個		個		個		個		個		個		個		個
	個		個		個		—		—		—		—		—		—		—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	個		個		個		個		個		個		個		個		個		個
—	—	—	—	—	—		個		個		個		個		個		個		個
—	—	—	—	—	—		個		個		個		個		個		個		個
—	—	—	—	—	—		個		個		個		個		個		個		個
—	—	—	—	—	—	—	—		個		個		個		個		個		個
—	—	—	—	—	—	—	—		—		—		個		個		個		個

※ 二種混合を18年度は下田地区のみ集団接種で実施

※ 平成24年11月より、百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ(四種混合)ワクチンが定期接種となった。

※ 平成24年9月より、生ポリオワクチンに替わり、不活化ポリオワクチンが定期接種となった。

※ 子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌は、平成25年度から定期化

※ 子宮頸がんは、平成25年6月から積極的勧奨差し控えとなった。

※ 水痘は、平成26年10月から定期化

※ B型肝炎は、平成28年10月から定期化

(イ) 任意予防接種

種 別 \ 年 度		平成22	23	24
子宮頸がん	中学生女子 (H22年度は2年生、H23年度は2・3年生、H24年度は1・2年生)	個別	個別	個別
ヒブ	生後2か月～5歳未満	個別	個別	個別
小児用肺炎球菌	生後2か月～5歳未満	個別	個別	個別

※ 平成25年度から定期予防接種

イ 成人

(ア) 任意予防接種

種 別 \ 年 度		平成27	28	29	30	令和元
風しん	1 妊娠を希望する女性 2 妊婦の夫、家族など	— 個別	— 個別	— 個別	— 個別	— 個別

※ 任意接種の風しん予防接種は、首都圏を中心に風しんが大流行していたことから妊婦への感染を防止することにより、先天性風しん症候群の発生を防ぐことを目的に、新潟県から補助を受けて接種費用の一部助成を実施した。

ウ 高齢者

(ア) 定期予防接種

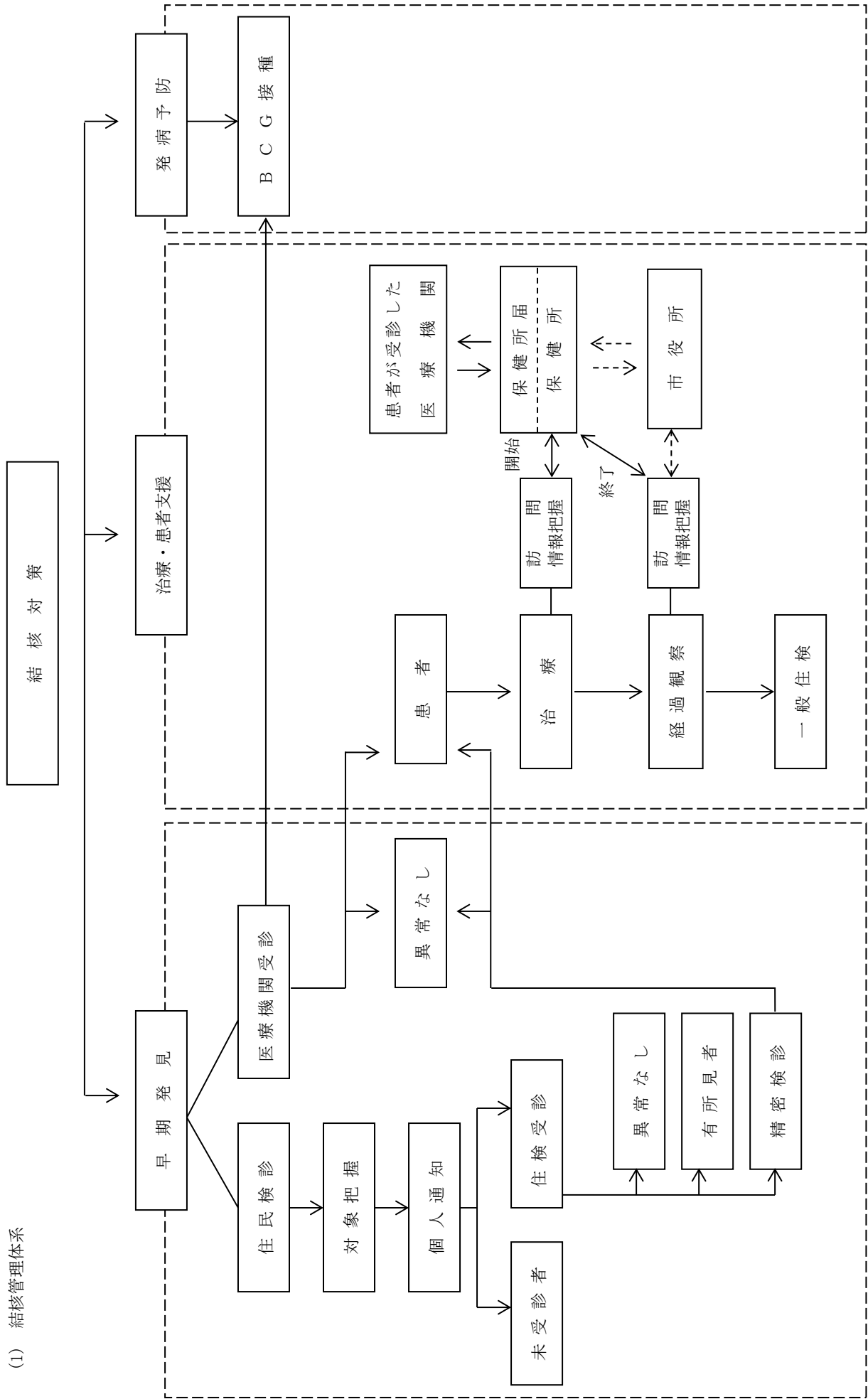
種 別 \ 年 度		平成27	28	29	30	令和元
インフルエンザ	65歳以上及び60～65歳未満の心臓等機能障害を有するもの	— 個別	— 個別	— 個別	— 個別	— 個別
成人用肺炎球菌ワクチン	65歳及び60～65歳未満の心臓等機能障害を有するもの	— 個別	— 個別	— 個別	— 個別	— 個別

※ 成人用肺炎球菌ワクチン接種については、平成26年度～令和5年度までは経過措置として次の者も対象とする。

- ・平成26年度、令和元年度 70・75・80・85・90・95・100歳及び101歳以上の者
- ・平成27～30年度まで、令和2～5年度まで 70・75・80・85・90・95・100歳の者

7 結核予防事業

(1) 結核管理体系

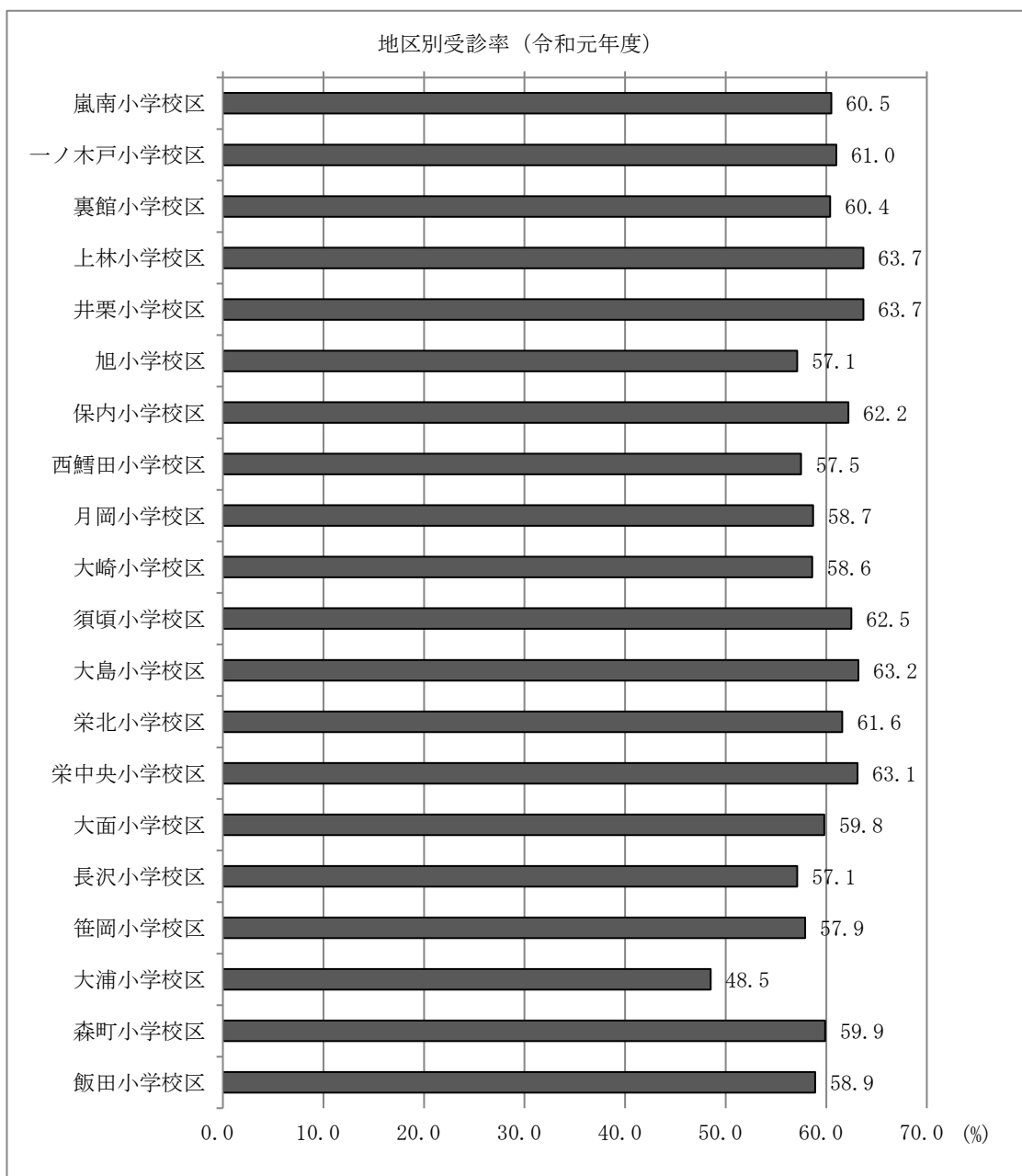
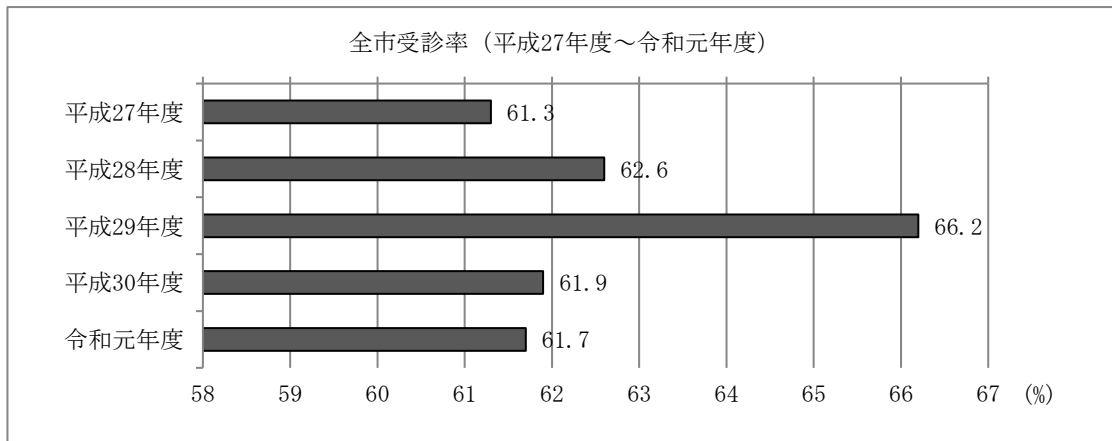


(2) B C G接種

区分 年度		乳 幼 児		左記の内訳			
		対象数 (人)	BCG接種 (人)	生後3～6か月未満 (H25 生後 5月未満)		生後6～12か月未満 (H25 生後 5月以上～1歳未満)	
				対象数 (人)	BCG接種(人)	対象数(人)	BCG接種(人)
平成19	実数	861	789	856	784	5	5
	率(%)		91.6		91.6		100.0
20	実数	1,051	797	1,044	790	7	7
	率(%)		75.8		75.7		100.0
21	実数	815	812	812	809	3	3
	率(%)		99.6		99.6		100.0
22	実数	854	769	847	762	7	7
	率(%)		90.0		90.0		100.0
23	実数	851	731	846	726	5	5
	率(%)		85.9		85.8		100.0
24	実数	876	740	874	738	2	2
	率(%)		84.5		84.4		100.0
25	実数	1,006	644	245	37	761	607
	率(%)		64.0		15.1		79.8
26	実数	—	735	—	22	—	713
27	実数	—	674	—	9	—	665
28	実数	—	650	—	7	—	643
29	実数	—	638	—	12	—	626
30	実数	—	664	—	3	—	661
令和元	実数	—	578	—	3	—	575

(3) 結核住民検診

ア 受診率



(4) 結核登録患者の状況

ア 登録者の状況

(単位：人)

区 分 年 度	登 録 者 総 数	入 院 数	在 宅 数	内 訳				活 動 性 結 核					不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	潜 在 性 結 核 感 染 症 （別掲）	非 結 核 性 抗 酸 菌 陽 性 （別掲）
				治 療 中	中 止	放 置	経 過 観 察	肺 結 核 活 動 性				肺 外 結 核 活 動 性				
								登録時 喀痰 塗抹陽性		登 録 時 そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	登 録 時 菌 陰 性 ・ 不 明					
								初回 治療	再治療							
平成27	35	0	35	10	0	0	25	2	0	1	0	4	20	1	7	0
28	24	1	23	8	0	0	16	3	0	1	3	1	13	3	2	6
29	18	2	16	3	0	0	15	1	0	2	0	0	14	1	3	1

区 分

※各年度登録者数は、12月31日現在のもので、年途中で除外となった人数を含む。(転症除外は含まない)

情報提供先：三条地域振興局

イ 新発生患者の年度別・年齢別状況

(単位：人)

年度 年齢(歳)	平成27	28	29	30	令和元
計	11	9	6	6	6
0～4	0	0	0	0	0
5～9	0	0	0	0	0
10～14	0	0	0	0	0
15～19	0	0	0	0	0
20～29	0	0	0	0	2
30～39	0	0	1	1	0
40～49	1	1	0	0	1
50～59	1	3	0	0	0
60～69	0	1	0	0	0
70～	9	4	5	5	3

※各年度登録者数は、12月31日現在のもので、年途中で除外となった人数を含む。(転症除外は含まない)

情報提供先：三条地域振興局

ウ 結核登録者除外状況

(単位：人)

年度	総数	死亡		治癒	転症	市外転出	その他
		結核死	その他				
平成27	11	0	5	6	0	0	0
28	13	0	3	10	0	0	0
29	12	0	3	8	0	1	0
30	12	0	5	7	0	0	0
令和元	4	0	0	4	0	0	0

8 精神保健及び自殺対策

(1) こころのゲートキーパー養成研修会

自殺の危険性が高い人の早期発見、早期対応につなげるため、自殺の危険を示すサインに気付き、適切な対応ができる「ゲートキーパー（門番）」の役割を担う人材を養成し、自殺予防を推進する。

ア 市民編「こころの健康づくり講演会」

実施日	内 容	対象者	参加者数
令和 元. 11. 27(水)	講話「思春期の子どものSOSへの気付きと対応」 講師 精神科医師	市民	60人

イ 初級編

講座名	内 容	講 師	対象者	参加者数
悩みを抱えた人への気付き方と話の聴き方講座	自殺対策、良い聴き手になるための必要な基礎知識についての講話及び演習	臨床心理士	民生委員・児童委員、健康推進員	17人
				13人
市職員向け講座	自殺問題、ゲートキーパーの役割及び対応に関する基礎知識についての講話及び演習	大学講師	市民と関わる機会の多い市職員	25人

ウ 専門職編

講座名	内 容	講 師	対象者	参加者数
基礎講座	自殺危機初期介入スキルワークショップ	健康づくり課職員	市立学校教諭、市内県立高等学校教諭、相談業務に携わる市職員	12人
フォローアップ講座	自殺ハイリスク者の事例検討 ※2回目は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	大学准教授（臨床心理士）	相談業務に携わる市職員	15人
相談支援の課題に関する研修	若年者の自傷行為に対する理解と対応についての講演 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	大学准教授（臨床心理士）	市立学校教諭、市内県立高等学校教諭、介護保険サービス事業所職員、障がい福祉サービス事業所職員、相談業務に携わる市職員	—

(2) 自殺対策計画策定に関する検討

ア 自殺予防対策連絡会

総合的な自殺対策の推進に図るため、関係機関で自殺を取り巻く実態、自殺対策計画における取組の実施状況及び対策を推進する上での課題について意見交換を行うため開催

実施日	内 容	対 象 者	参加者数
令和 元. 10. 17 (木)	・「三条市自殺対策計画」における自殺対策の取組について ・対策における問題及び課題について	庁内外の関係 機関等関係者	29人 (21機関)

イ その他の会議

会議名	実施回数	内 容	対象者	参加者数
自殺対策検討会	1 回	高齢者対策について	地域包括支援 センター職員 外	6 人
自殺対策庁内 検討会	1 回 ※相談対応関係課 連絡会を兼ねる	自殺の危険性が高い人への対応に係る連携 の状況及び課題について	庁内関係課職 員	13人
相談対応関係課 連絡会	毎月 1 回	相談対応する上での課題を共有し改善につ なげることを目的に、情報共有及び事例検 討を実施	庁内関係課職 員	延133人

(3) うつスクリーニング

自殺と関連が深いうつ病の早期発見、治療を促し、症状等の悪化を防止することにより自殺予防につなげる。

実施場所	対象者	内 容	実施者数
健診結果説明会 会場	健診結果説明会 参加者	心の健康度自己評価票（厚生労働省「うつ対応マニュアル」） を用いてスクリーニングを実施。結果に応じて、保健師の面談 や医療機関への受診勧奨等を実施	369人

9 地区組織活動

健康推進員協議会、食生活改善推進委員協議会は、母子保健から老人保健まで、地区に密着した健康づくり活動を実践している。

(1) 健康推進員協議会活動状況

ア 健康推進員とは

市民の健康づくりを推進し、豊かな地域づくりを進めるため、次の活動を行うことを目的とする。

- ・次代をになう母と子の健やかな地域づくりを進める。
- ・働きざかりの人が自分の健康に目を向け、健康づくりを実践できるようにする。
- ・高齢者が生きがいを持ち、いきいきと暮らせるようにする。

イ 健康推進員協議会

協 議 会 役 員(人)

会 長	副 会 長	書 記	会 計	理 事	監 事
1	2	1	1	21	2

区分	嵐南①(条南)小学校区	嵐南②(南)小学校区	嵐南③(四日町)小学校区	一ノ木戸小学校区	裏館小学校区	上林小学校区	井栗小学校区	旭小学校区	保内小学校区	西鱈田小学校区	月岡小学校区	大崎小学校区	須頃・大島小学校区	栄中央小学校区	栄北小学校区	大面小学校区	笹岡・長沢・大浦小学校区	森町小学校区	飯田小学校区	計
地区代表 (協議会理事)	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	21
副地区代表	2	2	2	4	2	2	2	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	2	2	42
推進員(会員)	14	10	16	24	23	7	18	6	7	17	9	26	11	18	10	16	29	19	15	295

※ 任期 2 年

ウ 研修会

- ・全体研修会 年 2 回
- ・地区別研修会 年 2 回(21 地区)
- ・県主催研修会 年 1 回

エ 活動内容

(ア) 三条市自殺予防対策 啓発活動等

内容	実施日	会場	協力人数(人)
自殺予防のための啓発グッズ及びリーフレットの配布	元. 9. 8(日)	市内スーパーマーケット等 18か所	42

(イ) 三条市生活習慣病予防啓発活動

内容	実施日	イベント	会場	協力人数(人)
生活習慣病予防のPR と啓発グッズの配布	元. 8. 18(日)	北入蔵3丁目自治会 夏祭り	農業体験交流センター	2
	元. 10. 19(土)	J Aにいがた南蒲三 条秋まつり	道の駅 庭園の郷 保内	7

(ウ) 健康推進員だよりの発行

三条市健康推進員だより(第12号:令和2年3月15日発行)

(エ) 地域健康教室

小学校区	年月日	内容	会場	出席者 (人)
			講師名	
嵐南①(条南)	元. 6. 22(土)	笑いヨガ	旧第一中学校武道場 岡 陽子	27
嵐南②(南)	元. 11. 9(土)	ウォーキング講習会	ものづくり学校多目的室 神原 弘美	22
嵐南③(四日町)	元. 9. 12(木)	笑いヨガ	嵐南公民館 岡 陽子	19
一ノ木戸①	元. 10. 10(木)	八幡公園緑道高架下ウォーキングコースを歩き、ステージえんがわを利用しよう	ゴール:ステージえんがわ	6
一ノ木戸②	元. 6. 20(木)	初めての人でもできるピラティス	三条東公民館 坂爪 友樹	16
裏館	元. 10. 2(水)	骨盤ビューティー	中央公民館 水科 江利子	20
	元. 11. 6(水)	簡単セルフマッサージ	中央公民館 米山 真由美	12
上林	元. 9. 28(土)	笑いヨガ	石上公民館 岡 陽子	28
井栗	元. 6. 22(土)	笑いヨガ	井栗小学校ふれあいルーム 岡 陽子	14
旭	元. 11. 16(土)	姿勢改善体操	旭小学校体育館 石田 まり子	19

小学校区	年月日	内容	会場	出席者 (人)
			講師名	
保内	元. 12. 7(土)	食育SATシステムを活用して、 栄養バランスをチェックしよう	大崎公民館保内分館 健康づくり課 食育推進室職員	9
西鱒田	元. 10. 25(金)	簡単セルフマッサージ	総合福祉センター 米山 真由美	8
月岡	元. 7. 6(土)	笑いヨガ	月岡小学校ミテイングルーム 岡 陽子	10
大崎①	元. 9. 1(日)	姿勢改善体操	農業体験交流センター 石田 まり子	37
大崎②	元. 10. 27(日)	身体ほぐしのためのセルフケア ストレッチ	農業体験交流センター 山口 みさ子	18
須頃・大島	元. 10. 25(金)	セルフケアストレッチ	大島公民館 山口 みさ子	15
栄中央	元. 10. 26(土)	初めての太極拳教室	栄体育館 田中 恵子	16
栄北	元. 11. 1(金)	身体ほぐしのためのセルフケア ストレッチ	リージョンセンター 山口 みさ子	6
大面	元. 10. 5(土)	ウォーキング	大面小学校旧体育館 神原 弘美	12
笹岡・長沢 ・大浦	元. 10. 15(火)	笑いヨガ	下田体育館武道場 岡 陽子	54
森町				
飯田				
合計 20回				延 368

(オ) 働き盛りからの筋力トレーニング推進事業

・ちょこっと筋トレ普及啓発協力

内容	年月日	会場	協力人数(人)	参加者(人)
当日の従事協力、 資料配布、誘導、筋トレメニュー 紹介の協力	元. 7. 25(木)	下田公民館	3	15
	元. 9. 19(木)	本成寺公民館	1	13
合計 2回			延 4	28

・健康推進員対象 筋トレ講習会 申込み 18人

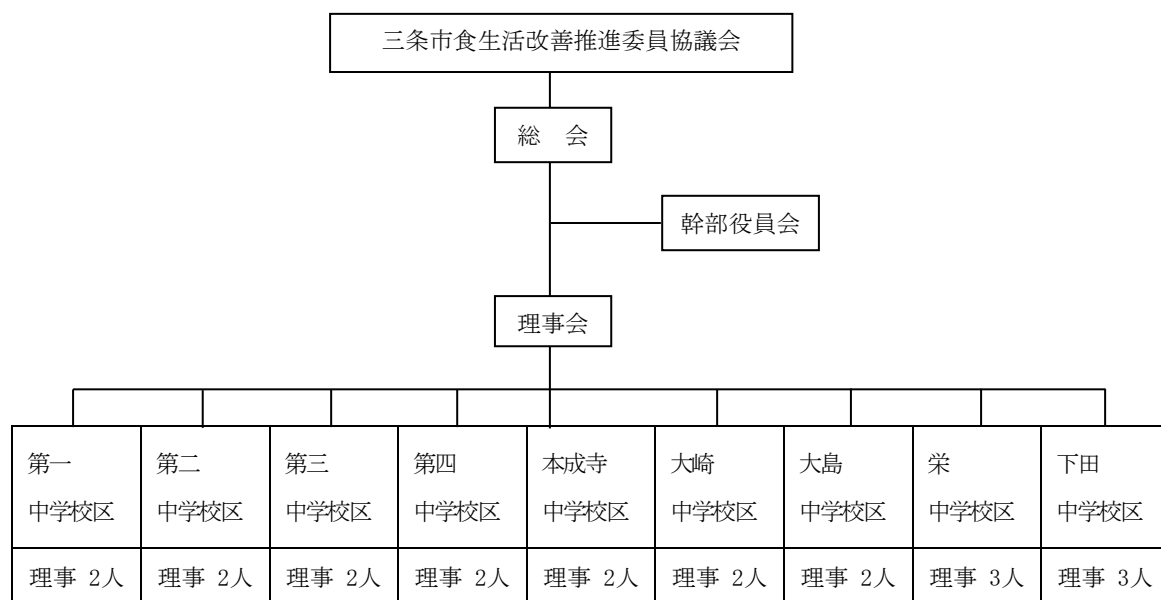
内容	年月日	会場	協力人数(人)
体力測定、身体計測 実技指導、講話	元. 7. 22(月)	総合福祉センター	15
合計 1回			延 15

(2) 食生活改善推進委員協議会活動状況

ア 食生活改善推進委員協議会とは

「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、食生活を通じたボランティア活動で元気で長生きできる健康なまちづくりの推進役として活躍する自主的な組織

イ 組織



ウ 活動

(ア) 地区活動

それぞれの地区の実状に応じた料理講習会、集会等での試食提供、郷土料理伝承活動、施設などへのボランティア活動、会員研修会等の開催

(イ) 協議会主催及び市との共催事業

総会及び研修会の開催、こどもフェスティバル、グループ別活動、ボランティアまつり、栄養教室

(ウ) 他組織からの依頼事業

三条市手をつなぐ育成会、社会福祉協議会、ネットワーク三条等の事業協力、各公民館事業等に協力

(エ) 県および支部協議会の総会・研修会への参加

(オ) 市保健事業等への協力

離乳食ステップアップ教室、生活習慣病予防教室、食育講座、食を通じた生活習慣病予防事業に協力

(カ) 日本食生活協会及び県協議会事業

世代別に取り組む生活習慣病予防のためのスキルアップ事業、おやこの食育教室、県民の食生活改善普及促進事業

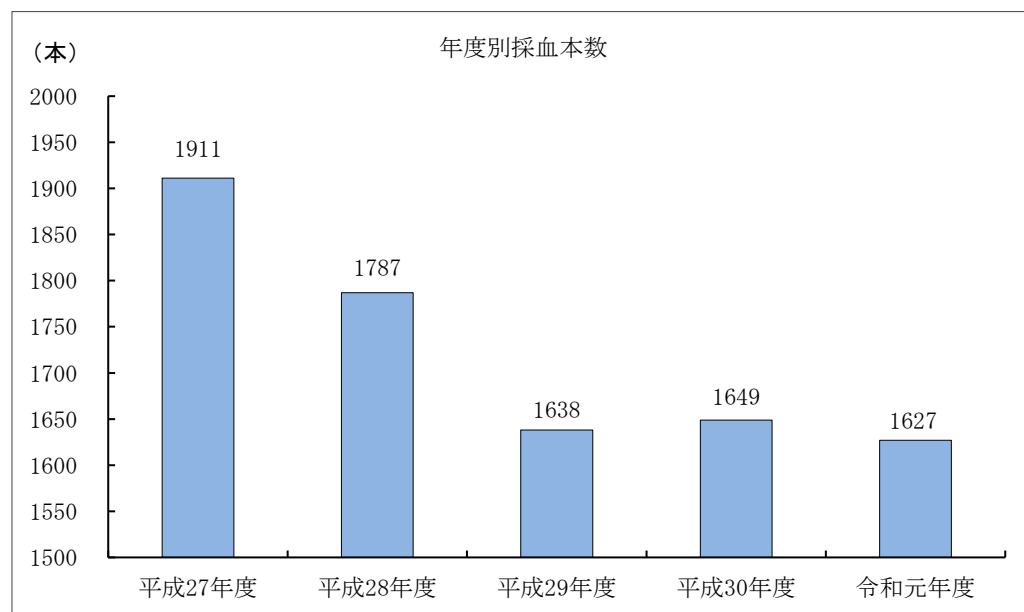
エ 食生活改善推進委員活動実績

項 目	年 度		平成27		28		29		30		令和元	
	会 員 数 (理 事 数)		243 (25)		238 (25)		231 (25)		218 (25)		209 (25)	
地 区 活 動	中 学 校 区	回 数	参 加 人 数	回 数	参 加 人 数	回 数	参 加 人 数	回 数	参 加 人 数	回 数	参 加 人 数	回 数
	第一中学校区	11	149	11	196	14	400	11	214	13	252	13
	第二中学校区	20	224	20	1,063	17	769	14	439	16	794	16
	第三中学校区	9	110	10	210	9	197	10	202	10	203	10
	第四中学校区	7	58	9	97	5	68	6	138	8	91	8
	本成寺中学校区	8	65	10	152	13	175	8	108	11	147	11
	大崎中学校区	18	130	24	374	21	465	22	290	23	327	23
	大島中学校区	8	54	8	89	7	81	9	107	1	3	1
	栄中学校区	10	93	11	150	13	187	10	163	14	230	14
	下田中学校区	28	143	39	434	32	612	49	641	34	443	34
	協議会主催及び 市との共催事業	4	316	3	186	3	212	3	211	3	207	3
他組織からの依頼事業	研修会	2	20	3	3,365	3	1,035	8	636	2	258	2
	他事業	44	241	27	706	15	324	4	499	7	223	7
	県及び支部協議会事業参加	8	300	13	5,650	11	4,704	11	2,838	8	213	8
	市事業への協力	57	100	56	100	44	65	44	63	22	34	22
	そ の 他	30	6,769	30	7,630	36	3,653	33	7,237	28	3,662	28
合 計		264	8,772	274	20,402	243	12,947	242	13,786	200	7,087	200

〔注〕「他組織からの依頼事業」に区分していた公民館事業は、平成25年度から「市事業への協力」分に含めた。

10 献血事業

種類 \ 区分	献 血 者 の 内 訳				実 施 回 数
	申 込 者 数	不 適 格 者 数	採 血 者 数	採 血 数	
200ml	71	19	52	52	30
400ml	1,825	250	1,575	1,575	
計	1,896	269	1,627	1,627	30



第Ⅲ章 保健師・栄養士活動 他

1 保健師活動状況

保健師の活動については、「地域における保健師の保健活動について」（平成 25 年 4 月 19 日厚生労働省健康局長通知）により、国から保健師活動についての指針が示されている。

〈地域における保健師の保健活動に関する指針概要〉

市町村に所属する保健師は、市町村が住民の健康の保持増進を目的とする基礎的な役割を果たす地方公共団体と位置づけられ、住民の身近な健康問題に取り組むこととされていることから、健康増進、高齢者医療福祉、母子保健、児童福祉、精神保健福祉、障害福祉、女性保護等の各分野に係る保健サービス等を関係者と協働して企画及び立案し、提供するとともに、その評価を行うこと。その際、管内をいくつかの地区に分けて担当し、担当地区に責任を持って活動する地区担当制の推進に努めること。また、市町村が保険者として行う特定健康診査、特定保健指導、介護保険事業等に取り組むこと。併せて、住民の参画及び関係機関等との連携の下に、地域特性を反映した各種保健医療福祉計画を策定し、当該計画に基づいた保健事業等を実施すること。さらに、各種保健医療福祉計画の策定にとどまらず、防災計画、障害者プラン及びまちづくり計画等の策定に参画し、施策に結びつく活動を行うとともに、保健、医療、福祉、介護等と連携及び調整し、地域のケアシステムの構築を図ること。

- (1) 実態把握及び健康課題の明確化
- (2) 保健医療福祉計画策定及び施策化
- (3) 保健サービス等の提供
- (4) 連携及び調整
- (5) 評価

保健師の活動指針に基づき、三条市においても母子保健活動、成人保健活動、精神保健活動、介護予防事業、地区組織の育成活動などを実施している。

保健師家庭訪問状況

年度	区分	訪問延べ単 位	訪問世帯 数	訪問 件数	訪 問 件 数 内 訳															そ の 他					
					(結核除く症)	結核	精神保健福祉				心身障がい		成人・老人保健福祉			その他の 疾病		母子					介護認定調査		
							社会復帰	認知症	うつ病	アルコール	その他	39歳以下	40歳以上	39歳以下	40歳以上	39歳以下	40歳以上	65歳以上寝た(再き掲)	難病		その他	妊産婦		乳児	幼児
平成 27	初回訪問 件数	641	600	633	0	0	11	1	7	0	16	0	0	1	75	1	0	0	14	42	406	45	6	0	9
	訪問 延件数			1070	0	45	11	15	0	45	0	0	1	104	2	0	0	29	56	669	71	13	0	11	
28	初回訪問 件数	649	626	689	0	0	3	3	5	1	20	0	0	3	100	3	0	0	18	53	425	41	6	0	11
	訪問 延件数			1024	0	12	8	8	6	46	0	0	3	115	6	0	0	24	68	641	72	8	0	13	
29	初回訪問 件数	541	605	636	0	0	12	0	4	1	15	0	0	2	67	2	0	0	7	28	459	18	12	0	11
	訪問 延件数			889	0	25	0	5	6	30	0	0	2	81	2	0	0	11	31	617	53	15	0	13	
30	初回訪問 件数	509	554	590	0	0	6	1	2	2	18	0	0	1	84	3	0	0	13	39	394	16	6	0	8
	訪問 延件数			813	0	16	1	10	6	45	0	0	1	108	3	0	0	19	59	497	29	7	0	15	
令和元	初回訪問 件数	469	499	541	0	0	4	0	2	3	19	0	0	2	69	2	0	0	13	73	329	16	8	0	3
	訪問 延件数			725	0	15	0	6	8	67	0	0	2	75	2	0	0	16	102	395	24	12	0	3	

[注]1単位は半日

2 栄養士活動状況

区分 年度	母子事業			病態指導			健康づくり			地区組織		
	個別 (人)	集団		個別 (人)	集団		普及啓発 (人)	栄養指導		養育成 (人)	会議	
	回数 (回)	人数 (人)		回数 (回)	人数 (人)			回数 (回)	人数 (人)		回数 (回)	人数 (人)
平成 27	2, 622	60	3, 656	197	9	200	992	448	19, 351	444	21	330
28	2, 247	60	2, 063	272	9	214	509	449	14, 554	316	22	237
29	2, 126	60	2, 426	123	6	155	1, 100	511	15, 534	288	37	540
30	2, 125	60	1, 002	82	7	143	576	291	12, 288	277	39	527
令和元	2, 307	34	785	111	6	143	4, 710	371	14, 235	246	32	309

3 保健センター使用状況

(1) 保健センター（総合福祉センター内）

区 分 年 度		使 用 種 別								
		母 子 健 診	成 人 健 診	健 康 教 育	健 康 相 談	研 修 会	予 防 接 種	そ の 他	外 部 団 体 使 用	計
平成 27	回数	63	0	332	14	1	0	36	1	447
	人数	8,731	0	12,729	1,675	32	0	1,049	84	24,300
28	回数	65	0	333	14	2	0	41	3	458
	人数	8,780	0	13,822	1,615	47	0	1,029	336	25,629
29	回数	78	0	332	1	0	0	35	4	450
	人数	10,248	0	13,478	25	0	0	946	129	24,826
30	回数	76	0	313	1	4	0	31	0	425
	人数	9,901	0	11,754	40	80	0	682	0	22,457
令和元	回数	71	0	277	0	3	0	33	0	384
	人数	9,454	0	11,865	0	83	0	1,195	0	22,597

(2) 栄保健センター

区 分 年 度		使 用 種 別								
		母 子 健 診	成 人 健 診	健 康 教 育	健 康 相 談	研 修 会	予 防 接 種	そ の 他	外 部 団 体 使 用	計
平成 27	回数	0	17	202	14	3	0	37	7	280
	人数	0	2,139	2,173	178	67	0	970	882	6,409
28	回数	0	17	1	15	0	0	63	17	113
	人数	0	2,140	11	243	0	0	1,441	749	4,584
29	回数	0	17	0	17	0	0	29	9	72
	人数	0	2,046	0	229	0	0	637	1,013	3,925
30	回数	0	18	5	13	0	0	24	13	73
	人数	0	2,801	90	204	0	0	207	968	4,270
令和元	回数	0	19	0	14	0	0	32	9	74
	人数	0	2,735	0	205	0	0	1,484	875	5,299

(3) 下田保健センター

区 分 年 度		使 用 種 別								
		母 子 健 診	成 人 健 診	健 康 教 育	健 康 相 談	研 修 会	予 防 接 種	そ の 他	外 部 団 体 使 用	計
平成 27	回数	0	14	260	16	0	0	139	0	429
	人数	0	1,456	2,750	180	0	0	1,820	0	6,206
28	回数	0	11	258	14	0	0	131	3	417
	人数	0	1,510	2,840	211	0	0	1,983	61	6,605
29	回数	0	14	257	16	0	0	139	1	427
	人数	0	1,364	2,470	186	0	0	2,094	27	6,141
30	回数	0	12	104	9	0	0	121	2	248
	人数	0	1,609	1,556	181	0	0	2,078	46	5,470
令和元	回数	0	7	95	13	1	0	25	4	145
	人数	0	461	1,545	197	24	0	428	92	2,747

第Ⅳ章 保 健 衛 生 の う ご き

※ 平成17年5月1日の三条市合併により、それ以前のものは旧三条市のうごきを掲載する。

年	伝染病・結核関係	母子保健	成人・老人保健	精神保健・自殺対策	健康づくり・食育推進	その他
S20	23. 予防接種法施行	23. 児童福祉法により妊婦健診開始 24. 乳児健診開始		25. 精神衛生法施行		
S30	26. 結核予防法施行 26. 結核住民健診開始 34. 日本脳炎・インフルエンザ・百日咳・ジフテリア(二混)予防接種開始 36. 小児マヒ生ワクチン投与開始 36. 全国の保健所で結核管理が制度化された	36. 母子管理体系の確立 36. 乳児6か月健診開始 36. 3歳児健診開始 36. 依頼助産婦による新生児訪問事業開始 37. 産婦健診開始 37. 母親学級開設 37. 離乳食指導会開始 37. 1歳児健診実施 38. 新婚学級開始 38. 幼児健康相談開始	36. 血圧検診開始			39. 三条市母子保健事業県知事表彰 39. 三条市母子保健事業医師会長感謝状
S40	41. 結核患者登録者の家庭訪問 45. 百日咳・ジフテリア・破傷風(三混)予防接種開始	40. 母子保健法の制定により母子健診の実施が制度化された 41. 母子栄養強化制度の発足	41. 循二次検診開始 45. 子宮がん検診開始 47. 胃部検診開始	41. 精神衛生法改正により保健所による精神障害者の訪問開始 45. 三条市ともしび会発足	43. 母子愛育会設立 45. 母子保健推進員制度採用活動開始 46. 母子愛育会・母子保健推進員協議会一本化される	42. 献血事業開始 46. 三条総合保健センター開館

年	伝染病・結核関係	母子保健	成人・老人保健	精神保健・自殺対策	健康づくり・食育推進	その他
S50	49. 結核予防法の改正により ツ反・BCGが1歳から4歳 までに1回開始	48. 妊産婦医療費助成制度発 足 48. 電話育児相談事業開始	49. 循特検診実施 ～54. 49. 家庭看護教室開始 ～61.		49. 母子愛育会・母子保健推 進員協議会分離する	48. 健康実態調査 (本成寺地区) 48. アジア・アフリカ（12か 国）母子保健事業視察来 条 49. 教育映画ロケ「私は母子 保健推進員」
	51. 予防接種法改正・風し ん・麻しん一部加わる				51. 成人病予防展開催 51. 母子保健大会開催 ～56. 51. 栄養教室開催 ～53.（本成寺地区） 52. 地区健康相談会開始 52. 健康展開催 ～53.	51. 血液対策推進協議会設 立
	52. 風しんの予防接種開始	52. 1歳6か月児健診開始 52. 母親学級第二コース開始	52. 老人健康相談開始			
	53. 麻しんの予防接種開始	52. 育児学級開始 52. 安産教室開始 52. 乳児10か月児健診実施 53. 母子栄養食品支給事業 ・妊婦医療費助成事業開 始 54. 療育教室（すぎな会）開 始			53. 国民健康づくりが打ち出 される 53. 三条市健康づくり推進協 議会設立 54. 栄養教室開催 ～60.（全地区） 54. 第一回健康づくり ～61. 市民のつどい開催	53. 保健婦の身分が国保から 市町村へ移管される
	54. 水害のため疫学調査実施		55. 糖尿病検診開始 55. 糖尿病予防教室開始			55. 乳幼児身体発育調査実 施 55. 三条市母子愛育会県知事 表彰 56. 国民栄養調査 (東大崎・松ノ木町)
		57. むし歯予防教室開始	56. 老人保健教室開始 56. 子宮がん施設検診開始		57. 母子愛育会7地区に再編 成 57. 食生活改善推進委員協議 会設立	58. 県民栄養調査 (横町)
			58. 老人保健法施行 一般健康診査に改正			
			58. 糖尿病事後検診開始			

年	伝染病・結核関係	母子保健	成人・老人保健	精神保健・自殺対策	健康づくり・食育推進	その他
		5. 小児肥満予防教室開始 5. 障害児歯科健診開始 5. ラッコの会(すぎな会)発足 5. 親子広場大会実施 6. こどものびのび相談会開始 6. 12 エンゼルプラン策定	4. 基本健診にHDLコレステロール・中性脂肪・γ-GTP・クレアチニン追加 5. 大腸がん検診開始 6. 痴呆老人介護教室開催 6. 乳がん施設検診開始 6. 高脂血症教室開始	5. 精神保健法一部改正 5. 障害者基本法施行 7. 精神保健および精神障害者福祉に関する法律施行 7. ともしび作業所開設 7. 精神障害者保健福祉手帳制度制定 8. 国庫補助金精神障害者小規模作業所運営助成	5. 健康推進員協議会発足(母推・母愛統合) 5. ミニヘルスパイオニアタウン事業開始 6. 管理栄養士配置 6. ウォーキング教室開催 6. 女性の健康診査の中で骨粗鬆症検診実施 6. 食生活改善推進委員協議会「献立カード集」作成 6. 健康&福祉まつり開催 7. 国保骨ドック開始 7. 女性の健診・食生活実態調査実施 7. 「お膳のかたち」による食習慣推奨の取組開始 8. 総合健康づくり推進事業開始(ダンス、気功、エアロビクス教室) 8. 骨の健康相談会開始 8. 広報「健康クッキング」掲載 8. 女性健診「食生活コーナー」設置 9. 国保脳ドック開始 9. 国保健康づくり指導事業(真向法教室)	5. 三条市総合福祉センター(保健センター含む)開館 5. 福祉・保健・医療計画策定 5. 障害者基本法制定
	6. 予防接種法改正 7. 三種混合・麻しん個別接種開始 8. 日本脳炎個別接種(小学1年生まで) 8. 腸管出血性大腸菌感染症を指定伝染病に指定(O157) 9. 風しん個別接種(小学1年生のみ)	8. 幼児一部医療費助成(1歳まで) 8. すこやか学級対象児を7か月児とする 8. 3か月児健診で離乳食集団指導開始 8. 母体保護法 9. 幼児一部医療費助成(2歳まで) 9. 4 母子保健法一部改正 9. 母子保健移譲 9. 10か月児健診栄養個別相談実施 9. 1歳6か月児健診幼児食集団指導実施	9. 糖尿病健康教室開始(健診結果説明会が糖説と一般に分かれる) 9. 胃がん大腸がん検診同時申し込み 9. 基本健診2会場に胃がん検診同時実施 9. 介護保険法成立 9. 調査モデル事業実施	9. 三条市ともしび会賛助会員募集開始 9. 精神障害者医療費助成の拡大	8. 福祉保健医療計画見直し 8. 母子保健計画策定	9. 国民栄養調査(東三条一部) 9. 市食推協議会優良地区組織表彰 9. 4月より地域保健法全面施行

年	伝染病・結核関係	母子保健	成人・老人保健	精神保健・自殺対策	健康づくり・食育推進	その他
H10	11. 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行（4月） 11. 日本脳炎2期（小学4年生）個別接種 11. 二種混合（小学6年生）個別接種 13. 風しん個別接種 ・幼児（アレルギー等で医師が認めた者のみ） ・中学2年生（S62. 4. 2～S62. 10. 1生の生徒の他にS62. 10. 2～S63. 4. 1生の未接種者を行政措置として実施 13. ツ反・BCG個別接種 ・乳幼児（再ツ反及び体調不良等で未接種者のみ） ・学童（体調不良等で未接種者のみ） 13. 予防接種法一部改正 ・高齢者等インフルエンザの施行 ・経過措置による風しん予防接種の対象者の拡大	10. 小児肥満予防教室から子ども健康教室に変更 11. 10か月児健診を10か月児健康相談会コアラらんどに変更 11. 子ども健康教室廃止 12. 2歳児歯科健診開始 12. マタニティ教室第2コースに開業助産婦従事	11. 基本健診2会場の同日胃がん検診廃止 12. 介護保険法施行 12. 保健事業第4次計画 12. A型機能訓練事業2グループで実施 12. B型機能訓練事業開始 13. 骨粗しょう症健診開始 13. A型機能訓練事業1グループで実施	10. 精神保健福祉士法施行 10. ともしび作業所厚生省令第63号に基づく施設に認定 11. ともしび作業所指導員3名体制 11. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部を改正する法律施行 11. 国が「こころの健康づくり週間」開始 11. 精神保健ボランティア講座開催 12. 精神保健ボランティアグループ活動開始 12. 精神障害者医療費助成の拡大	10. 健康推進員協議会「子育てわくわくらんどうほっぷすてっぷひまわりっ子」を作成 11. 基本健診2会場の同日胃がん検診廃止 12. 女性の健康診査の中で貧血検査実施 13. 女性の健康診査の骨量測定をやめ、血液検査を充実（基本健診の血液検査の項目と同様の内容で実施）	10. 地域における保健婦及び保健士の保健活動について（活動指針） 10. 県民栄養調査（八幡町一部） 11. 基幹型在宅介護支援センター開設 12. 健推協議会県母子保健事業優良団体表彰 12. 第3次国民健康づくり対策として「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」が定められる 13. 健推協議会第1回母推全国大会表彰 13. 第2次母子保健計画策定 13. むし歯予防教室を社会福祉課へ移行する 13. 国保総合データーバンク事業開始 13. 食生活改善推進委員協議会20周年記念事業

年	伝染病・結核関係	母子保健	成人・老人保健	精神保健・自殺対策	健康づくり・食育推進	その他
	15. 9.30 経過措置による風しん予防接種を廃止	15. 1歳6か月児健診心理相談員の相談開始	14. 肝炎ウィルス検診開始 14. 健康診査意向調査の開始	14. 精神保健福祉相談開始 14. 精神障害者支援センター開設により総合保健センター開設 14. 精神保健福祉業務市町村に移管 14. 三条市ともしび会事務局を健康福祉課から三条市ともしび会に変更 15. 6 精神障害者支援センターで心の健康づくり相談員による精神保健福祉相談開始 16. 7.1 社会福祉法人 青空福祉会設立 16. 9.30 「ともしび作業所」閉所 16. 10.1 社会福祉法人 青空福祉会が運営主体の精神障害者小規模通所授産施設「ともしび工房」を開所	15. 健康増進計画 を作成 15. 健康推進員協議会「子育てわくわくらんど」改訂 16. 4.1 食育推進室設置 16. 健康と福祉まつり中止 16. さんじょう健康かるた読み札のみ作成 16. しみん朝市開始 16. しみん食育のつどい開催～21. 16. 保育所食育推進事業開始 16. 7.13豪雨災害被災者健康支援事業実施 16. 11～18.8 7.13豪雨災害による応急仮設住宅6か所の健康推進員声かけ訪問実施 17. さんじょう健康かるた完成 17. 女性の健康診査をやめ19歳以上の市民を対象に老人保健事業と同様の基本健康診査を実施 17. 6.10 健康ウォークを実施 17. 温泉保養施設利用助成事業開始 17. 学校食育推進事業開始	14. 5 総合福祉センターで健康相談開始 14. 市食推協議会健康づくり県民大会にて県知事表彰 14. 市食推協議会一中校区食生活改善のつどい優良地区組織表彰 15. 夜間診療所運営事業無休で実施 16. 10.23 新潟県中越大地震による被災市町村への健康支援実施 17. 3 次世代育成支援活動計画策定(母子保健計画を包含) 17.5.1 新三条市誕生 旧三条市・旧栄町・旧下田村が合併 17. 6 食育基本法制定 17. 11 前年7.13豪雨応急仮設住宅入居者に対し中越大地震復興基金事業により新潟県看護協会が行う健康サポーター事業の訪問相談を実施 ～ 18.12
	17. 4.1 ヴァクチン反応検査廃止しBCG直接接種実施(個別接種) ・風しん個別接種 17. 5.30 日本脳炎ワクチン接種の積極的勧奨の差し控え実施 17. 7.29 予防接種法等の一部改正により日本脳炎予防接種3期を廃止	17. 5 2歳6か月 歯科健診開始 布開始(希望者) ・1歳6か月、2歳、2歳6か月、3歳児歯科健診でフッ素塗布	17. 乳がん検診マンモグラフィ併用検診2年に1回となる 17. 「保健事業平成17年度計画」・・・単年度計画 17. 結核住民検診対象者が40歳以上となる			

年	伝染病・結核関係	母子保健	成人・老人保健	精神保健・自殺対策	健康づくり・食育推進	その他
	18. 4 麻しん・風しん混合予防接種（2期）開始 19. 3. 31 結核予防法廃止 19. 4. 1 BCGが予防接種法に基づく接種となる	18. 10 障害者自立支援法施行 子ども発達相談室が児童デイサービスとなる	18. 介護予防健診開始 18. 基本健康診査70歳以上全員施設健診 18. 子宮がん検診2年に1回となる 18. 「保健事業平成18年度計画」・・・単年度計画 18. 歯周疾患検診開始 18. 地域の老健ヘルス等との連携のためのモデル事業を実施 19. 糖尿病予防教室を三条地区2クール実施 19. 基本健診結果説明会の対象者を65歳未満、65歳以上に分けて実施 19. 地域の老健ヘルス等との連携のためのモデル事業終了 19. 前立腺がん検診開始 19. 乳がん検診40～49歳 2方向撮影開始 20. 特定健康診査・特定保健指導実施	18. 4 障害者自立支援法施行 18. 4 精神障害者支援センターに指定管理者制度が導入され、社会福祉法人青空福祉会が指定管理者となる 18. 4 三条市ともしび会と栄相扶会が合併し、三条市すずね会の発足 18. 10 自殺対策基本法施行 19. 6 下田家族会が解散	18. 2 40歳以上の市民を対象とした健康運動教室を開始 18. しみん朝市が自主運営に移行 18. 3 食育推進計画策定 18. 4 食育推進委員会設置 ～ 20. 18. 6 食育メール配信開始 19. 3 健康増進計画 中間評価実施 19. 保育所食育推進事業として、保育所巡回指導開始 19. 学校食育推進事業として、小学校5年生を対象とする血液検査開始	18. 3 高齢者保健福祉計画策定（第3期介護保険事業計画と一体） ※18. 4から65歳以上の介護予防事業を実施（老人保健事業から移行） 18. 3 食育推進基本計画策定（国） 18. 11 食育推進行動計画策定
H20	20. 麻しん・風しん混合予防接種（3期・4期）開始～24.	20. 4. 1子育て支援課設置（保健師、保育士、家庭児童相談員、言語聴覚士等配置） 20. 未熟児訪問事業が三条地域振興局健康福祉環境部（保健所）から市に移管 20. 妊婦健康診査の助成が2回から7回に拡充 20. 子ども発達相談室が社会福祉課から子育て支援課に移管			20. 3 旧健康推進員協議会解散 下田保健推進員協議会解散 20. 3 国民健康保険特定健診等実施計画策定 20. 4 新健康推進員協議会発足（三条・栄・下田を統合）	20. 4 教育委員会に子育て支援課設置。母子保健事業は子育て支援課で実施 20. 食推協議会厚生労働大臣表彰 20. 食推協議会二校区「食生活改善のつどい」優良地区表彰
H21	21. 新型インフルエンザ（A/H1N1）発生によるワクチン接種費用助成を実施（低所得者等を対象とする）	21. 4 妊婦健康診査の助成が7回から14回に拡充 21. 4 こんにちは赤ちゃん訪問事業開始 21. 子ども発達相談室週3日の実施から週5日の実施言語聴覚士による指導開始	21. 女性特有のがん検診推進事業実施 21. 特定保健指導プレ指導開始	21. 地域自殺対策緊急強化事業実施 ～ 26.	21. 3 食育の推進と農業の振興に関する条例制定 21. 4 食育推進及び農業振興審議会設置	21. 9 子育てサポートファイル「すまいるファイル」作成、配付開始 21. 10 子ども・若者総合サポートシステム事業開始

年	伝染病・結核関係	母子保健	成人・老人保健	精神保健・自殺対策	健康づくり・食育推進	その他
H22	22. 日本脳炎未接種者の積極的勧奨が年度毎段階的に開始 22. 子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの費用助成を開始	21. 9 E n j o y パパ手帳作成・配布開始 22. 3 すまいる・子どもプラン策定 22. マタニティ教室（3コース）の内容を見直し、夫婦を対象とするエンジョイパパママ教室（2コース）として新たに実施 22. すまいる心の相談会（臨床心理士による相談）開始 22. 妊婦健康診査にヒト白血球ウイルス-1型抗体検査が追加 22. 親子広場22年度末をもって全地区終了 22. ひまわりランドは12月以降、個別での交流となる			22. 3 「三条市健康ウォーキングロードマップ」を健康推進員協議会と協働で作成配布 22. 12 「三条市健康ウォーキングロードマップ」全版（A1）と各コース（B4）追加作成 22. 第1回しみん食育と農業のつどい開催	22. 2 三条まんま塾（食と農の連携協議会）設立 22. 三条市健康推進員協議会新潟県知事表彰 22. 三条市健康推進員協議会新潟県成人病予防協会理事長表彰
H23	23. 日本脳炎未接種者の接種時期緩和を開始（平成7年6月1日～平成19年4月1日生まれの方は20歳未満まで定期接種可能となる）	23. 妊婦健康診査に性器クラミジア検査、血糖検査が追加 23. 9 すまいるファースト導入 23. 幼保小の連携強化（情報交換会、入学後の授業参観の実施）	23. がん検診推進事業実施（女性特有のがん検診推進事業に新たに大腸がん検診を加えて実施） 23. 半日ミニドック（特定健診と複数のがん検診を同一日に受診）モデル事業を実施	23 うつつスクリーニングを実施	23. 3 健康増進計画中間評価実施 23. 3 第2次三条市食育推進計画策定	23. 3 第2次食育推進基本計画策定（国） 23. 東日本大震災被災者健康支援事業実施 23. 平成23年7月新潟・福島豪雨被災者健康支援事業実施
H24	24. 8 生ポリオ（小児マヒ）ワクチン接種廃止 24. 9 不活化ポリオワクチンが定期接種化 24. 11 四種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ）ワクチンが定期接種化		24. 3 機能訓練事業を廃止 24. 半日ミニドックを実施 24. 特定健康診査で医療機関未受診者への受診勧奨訪問開始 24. 特定保健指導プレ指導で初回面接の予約受付を開始	24. 10 自殺予防対策連絡会設置 24. 12 こころのゲートキーパー養成研修会開始	24. 3 「三条市健康ウォーキングロードマップ第2弾」を健康推進員協議会と協働で作成配布	24. 熱中症予防事業でひと涼みアワード「グッドプラクティス賞」受賞
H25	25. 子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンが定期接種化	25. 4 子どもの育ちサポーターセンター設置（臨床心理士・保健師・保育士・言語聴覚士の配置と増員）	25. 早期介入保健指導開始（若い世代の生活習慣病予備群の対象へ健診会場で保健指導を実施）		25. 3 第2次健康増進計画策定 25. 3 歯科口腔保健計画策定	25. 7 事業所・三条市・協会けんぽ三者間連携協定締結

年	伝染病・結核関係	母子保健	成人・老人保健	精神保健・自殺対策	健康づくり・食育推進	その他
H26	25. 1 長期療養を必要とする疾病にかかった者等の定期予防接種実施 25. 6 子宮頸がん予防ワクチン積極的勧奨差し控え 25. 7 妊娠を希望する女性、妊婦の夫、家族等を対象とした風しん予防接種費用の一部助成を実施 26. 7 妊娠を希望する女性、妊婦の夫、家族等を対象とした風しん予防接種費用の一部助成を実施 26. 10 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種の定期接種開始 26. 水痘ワクチンの定期接種開始（平成26年度中は経過措置として生後36月から60月に至るまでの間にあるものも定期接種対象）	25. 4 妊婦歯科健診開始（集団健診年2回） 25. すまいる心の相談会と子どものびのび相談会をつにし、子どもの発育・子育て相談として開始 25. 4 児童発達支援事業所「子ども発達ルーム」として指定を受ける 26. 年中児発達参観開始 26. 11～児童福祉法改正に伴い相談支援事業所として「子ども発達ルーム」指定を受ける	25. 乳がん検診視触診廃止 25. 歯周疾患検診の対象者（40・50・60・70歳の市民）に20・30歳の市民を追加 25. 肝炎ウイルス検診実施要領の一部改正により、C型肝炎ウイルス検査のHCV抗体検出が省略可能	27. 地域自殺対策強化事業実施	25. 3 国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画策定 25. 6 高齢者の食と暮らしの調査実施 26. まちなかで朝ごはん事業開始 26. 「“ちよこつと”筋トレ」を新潟医療福祉大学准教授の助言・協力を得ながら、健康推進員協議会と協働で作成・普及	25. 熱中症予防事業でひと涼みアワード「優秀賞」受賞 26. 熱中症予防事業でひと涼みアワード「優良賞」受賞
H27		27. 4 子ども発達ルームサービズ利用に係る利用者負担を無料にする 27. 3 マタニティ教室廃止 27. 3 すまいる・子ども若者プラン策定 27. 4 養育支援訪問事業開始 27. 4 受胎調節実地指導員の指定等に関する事務が県から市に権限移譲（申請窓口が市になる。） 27. 4 3歳児健康診査 精神発達面の確認をより正確な方法に変更（大小、長短、色等の理解について、問診票の聞き取りだけでなく、実際に健診会場で確認）	27. 後期高齢者歯科健診開始 7～11月（対象76歳80歳）		27. 3 国民健康保険健康事業実施計画（データヘルス計画）策定 27. 高血圧に関連する生活実態調査実施 27. ”ちよこつと”筋トレ第2弾リーフレット、DVD作成と普及	27. 熱中症予防事業でひと涼みアワード「優秀団結賞」受賞

年	伝染病・結核関係	母子保健	成人・老人保健	精神保健・自殺対策	健康づくり・食育推進	その他
H28	28. 10 B型肝炎ワクチンの定期接種開始	28. 4 妊婦歯科健診年4回に変更 28. 4 妊婦健康診査の変更	28. 糖尿病性腎症重症化予防保健指導の実施		28. 3 三条市食育の推進と農業の振興に関する計画策定	28. 1 三条市食生活改善推進委員協議会合併10周年記念大会実施
H29			29. 4 特定保健指導実施機関(1か所)への特定保健指導(動機付け支援)の業務委託開始	29. 6 相談対応関係課連絡会開始		28. 10 熱中症予防事業でひと涼みアワード「優秀団結賞」受賞 29. 10 熱中症予防事業でひと涼みアワード「優秀啓発賞」受賞
H30	30. 4 里帰り出産などの理由から県外での定期予防接種希望者に接種費用の一部を助成開始		30. 4 特定保健指導実施機関(1か所)への特定保健指導(動機付け支援・積極的支援)の業務委託開始		30. 3 国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画策定	30. 10 熱中症予防事業でひと涼みアワードイベント部門「優秀賞」受賞
H31	31. 4 骨髄移植等により、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できず再度の予防接種を受けることが必要と医師に判断され、任意で再接種される場合に、接種費用の一部を助成開始 31. 4 風しんの抗体検査・風しん第5期定期接種開始			31. 3 自殺対策計画策定	31. 3 第2次健康増進計画(改訂版)策定 31. 3 第2次歯科口腔保健計画策定 31. 3 国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルズ計画)策定 31. 4 共食推進事業開始	
R元		元. 9 保育所(園)等において、年中(4歳)児、年長(5歳)児の希望者にフッ化物洗口を開始	元. 6 特定保健指導初回面接分割実施開始(集団健診受診者)			

令和元年度 保健衛生の動向

発 行 三条市福祉保健部健康づくり課
発行日 令和2年10月

〒955-8686 三条市旭町二丁目3番1号
電 話 0256-34-5511